

事務事業及び予算の執行実績

(令和3年度分「一部、令和4年度分を含む」)

静岡県工業技術研究所

沼津工業技術支援センター

富士工業技術支援センター

浜松工業技術支援センター

目 次

第1 工業技術研究所全体[事務事業]	
I 事務事業の概要	1
1 概況	1
(1) 工業技術研究所の沿革	1
(2) 工業技術研究所全体の事業概要	2
(3) 工業技術研究所及び各工業技術支援センターの状況	3
ア 工業技術研究所（静岡市）	3
(ア) 地域の概要	3
(イ) 事業の概要	3
イ 沼津工業技術支援センター（沼津市）	5
(ア) 地域の概要	5
(イ) 事業の概要	5
ウ 富士工業技術支援センター（富士市）	6
(ア) 地域の概要	6
(イ) 事業の概要	6
エ 浜松工業技術支援センター（浜松市）	7
(ア) 地域の概要	7
(イ) 事業の概要	8
(4) 工業技術研究所及び各工業技術支援センターの施設の概要	9
ア 工業技術研究所（静岡市）	9
イ 沼津工業技術支援センター（沼津市）	9
ウ 富士工業技術支援センター（富士市）	9
エ 浜松工業技術支援センター（浜松市）	9
(5) 組織図	11
ア 工業技術研究所（静岡市）	11
イ 沼津工業技術支援センター（沼津市）	12
ウ 富士工業技術支援センター（富士市）	12
エ 浜松工業技術支援センター（浜松市）	13
2 事務又は事業の目的、計画、実績（成果）及び評価・改善	14
(1) 総務事務	14
(2) 試験研究、調査及び指導事務	16
ア 研究開発	16
(ア) 研究課題	16
(イ) 外部研究員招へい事業	32
(ウ) 特許等の登録及び出願	38
イ 技術相談等	43
(ア) 技術相談	43
(イ) 依頼試験、機器使用及び研究施設等使用	45
(ウ) 研究会の育成	52
(エ) 研修生の受入れ	53
ウ 技術情報提供	56
(ア) 研究報告関係	64
(イ) 研究発表会関係	56
(ウ) 研究所情報等の提供	60
(エ) 研究所の事業広報等	60
(オ) 講習会等	61
(カ) 講師活動	67
(キ) 委員派遣	73
(ク) 産業技術連携推進会議等への派遣	93
(ケ) 学会等への発表、外部発行誌等への投稿及び展示会への出展	104
エ その他	117
(ア) 産学官連携コーディネイト体制強化事業	117
(イ) 資質向上研修	117
オ 評価・改善	118
(3) 事業の根拠法令調	123

目 次

II 職員状況	
1 職員調	124
2 職員の年齢調	130
3 健康管理	131
4 職員配置調	132
第2 工業技術研究所（静岡市）〔財務事務〕	
1 歳入予算執行状況調	134
2 県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	138
3 現金出納調	138
4 保管現金有高調	138
5 預金調	138
6 郵券等受払調	139
7 歳入歳出外現金調	140
8 歳出予算執行状況調	141
9 委託料等歳出予算執行状況節別集計表	147
10 委託料に関する調	150
11 負担金支出調	164
12 土木工事調	168
13 建築工事調	170
14 公有財産調	174
15 借地借家等調	176
16 事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	178
17 行政財産貸付・使用許可調	180
18 備品・図書調	182
19 主要備品調	188
20 生産物受払調	190
第3 試験研究成果一覧表〔研究所全体〕	193

（注）第1・3は、工業技術研究所全体（沼津・富士・浜松工業技術支援センターを含む。）を記載
第2は、工業技術研究所（静岡市）分のみ計上

第1 工業技術研究所全体

[事務事業]

I 事務事業の概要

1 概況

(1) 工業技術研究所の沿革

明治39年	3月	「静岡県工業試験場紙業部、漆器部、庶務部」を静岡市追手町に、「染織部」を浜名郡天神町村馬込（現浜松市）に設置し、同年11月に開場
大正2年	12月	「静岡県工業試験場」を静岡市水落町に移転
大正4年	9月	「染織部」を「静岡県工業試験場浜松分場」に改称
大正8年		「浜松分場」を浜松市北寺島町に移転
大正8年	12月	「静岡県工業試験場」を安倍郡豊田村南安東（後瓦場町、現静岡市葵区太田町）に移転
大正9年	2月	「静岡県工業試験場」を「静岡県静岡工業試験場」に、「浜松分場」を「静岡県浜松工業試験場」に改称
昭和12年	11月	「製紙部」を富士郡今泉村（現富士市今泉）に移転、「静岡県製紙工業試験場」を開設
昭和27年	4月	「静岡県浜松工業試験場」を「静岡県浜松繊維工業試験場」に、「静岡県製紙工業試験場」を「静岡県紙業指導所」に改称
昭和28年	1月	「静岡県静岡工業試験場」を静岡市安倍川町（現葵区駒形通5丁目）に移転
昭和32年	4月	「静岡県紙業指導所」を「静岡県製紙工業試験場」に改称
昭和36年	4月	「静岡県静岡工業試験場」を「静岡県工業試験場」に改称
昭和36年	6月	「静岡県工業試験場浜松分場」を浜松市小池町に設置
昭和38年	1月	「静岡県工業試験場浜松分場」を「静岡県機械技術指導所」と改称
昭和38年	12月	「静岡県製紙工業試験場」を吉原市伝法（後富士市伝法、現富士市永田北町）に移転
昭和42年	6月	「静岡県浜松繊維工業試験場福田技術指導所」を磐田郡福田町（現磐田市大原）に開所
昭和57年	11月	「静岡県工業試験場」を現在地（静岡市葵区牧ヶ谷）に移転
昭和59年	4月	「静岡県工業試験場」を「静岡県工業技術センター」に改称
平成2年	4月	「静岡県工業技術センター」を「静岡県静岡工業技術センター」に改称 「沼津工業技術センター」を現在地（沼津市大岡）に開設
平成3年	4月	「静岡県製紙工業試験場」を現在地（富士市大淵）に移転し、機械・電子部門を加え、「静岡県富士工業技術センター」に改称 「静岡県浜松繊維工業試験場」と「静岡県機械技術指導所」を統合し、光・電子部門を加え、「静岡県浜松工業技術センター」として現在地（浜松市北区新都田1丁目）に移転、開設
平成19年	4月	「沼津・富士・静岡・浜松工業技術センター」を統合し、「静岡県工業技術研究所」とし、「沼津・富士・浜松工業技術センター」を「工業技術支援センター」と名称変更

(2) 工業技術研究所全体の事業概要

地域産業に最も近い技術支援機関として、研究開発、依頼試験・設備使用、技術相談・人材育成、技術情報の提供、産学官連携の促進や周辺地域の公設試験研究機関との連携強化等を通じて、ものづくりを行う県内中小企業の技術開発や課題解決を支援している。

特に、地域に根ざした産業や県の産業振興施策である先端産業育成プロジェクトをはじめとする集積を目指す産業分野の技術（光・照明・音響、製紙、バイオテクノロジー、食品、環境エネルギー、生活製品）、工業全般の基礎となる技術（金属材料、高分子材料、機械・電子、情報通信）において、地域産業の振興、新たな産業の創出などの基礎となる技術力の向上を支援している。

近年は、急速な人口減少による人手不足の顕在化や自動運転などの著しい技術革新への対応など、中小企業を取り巻く環境は大きく変化しており、企業ニーズに対応した支援を推進するため、生産性向上を目的としたI o Tに関する研究支援、電気自動車を始めとする次世代自動車に関する研究支援、新たな素材として期待されるセルロースナノファイバー（CNF）に関する研究支援について、工業技術研究所の各機関が連携した取組を進めている。

県内産業界を一体的に技術支援できる組織体制とするため、平成19年度には沼津・富士・静岡・浜松工業技術センターを統合し、工業技術研究所（静岡市）とし、その下に沼津・富士・浜松工業技術支援センターを配置した。

平成24年9月には工業技術研究所全体で、文部科学省から科研費応募資格を有する研究機関としての指定を受け、企業支援のための技術力向上に努めている。

さらに、これまでの窓口相談を拡充し、研究所及び各工業技術支援センターに平成26年3月から海外展開支援を含めた「ものづくり産業支援窓口」を開設したほか、商工会議所・商工会等との連携により、研究員が直接企業に出向く出張相談の強化を行った。さらに、平成28年10月にはデザイン相談窓口を開設し、デザインに関する相談やデザイナーとのマッチング等の支援を強化した。

これらにより、企業が取り組む研究開発、製品設計・生産、品質管理における技術課題の解決のための支援が強化された。

○ 主要事業

ア 研究開発

新成長戦略研究、経常研究、共同研究、受託研究を行い、地域産業の技術基盤の強化や先端技術の開発による産業支援を行う。

イ 依頼試験・設備使用

地域企業の新製品開発や性能評価のため、依頼試験や試験機器・施設等を開放し、技術支援を行う。

ウ 技術相談・人材育成

中小企業の技術相談や各種研修会・講習会を開催し、地域産業の技術力向上に努める。

エ 技術情報の提供

研究所のウェブサイトやメールマガジン、センターニュース、また各種技術講演会を通じて、地域の中小企業を中心に、製造技術や製品開発に必要な技術情報を提供する。

オ 産学官連携の促進

静岡県工業技術研究所産学官連携推進コーディネータを配置し、地域企業の技術情報の共有化や研究開発の支援などを通じた地域企業、大学、支援機関との連携強化を図っている。

他県の公設試験研究機関との連携を密にするため、関東経済産業局管内の首都圏公設試験研究機関連携体（首都圏テクノナレッジ・フリーウェイ（TKF））や、中部経済産業局管内の中部イノベネットに参画し、情報交換や広域連携による域内企業の支援強化を進めている。また、関東甲信越静岡地域の公設試が連携して中小企業の海外展開を支援する組織（広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP））に参加し、域内企業の海外進出を技術面から支援している。

カ 先端産業創出プロジェクト等の推進

先端産業創出プロジェクト（ファルマバレープロジェクト、フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト、フotonバレープロジェクト、次世代自動車プロジェクト、ふじのくにCNFプロジェクト、マリンオープンイノベーションプロジェクトなど）による産業イノベーション拠点の形成事業や中小企業の成長分野への進出を支援する新成長産業戦略的育成事業と相互に連携することにより、新技術・新製品の開発を促進する。

（3）工業技術研究所及び各工業技術支援センターの状況

ア 工業技術研究所（静岡市）

（ア）地域の概要

当研究所が所在する中部地域は、静岡市を中心に江戸時代から発達した漆塗等の技術と豊富な森林資源を活かし、家具、雛具等の伝統工芸産業が集積している。また、焼津市や静岡市清水区を中心に豊富な農水産物を原料とした全国有数の食品加工産業が集積しており、かつお・まぐろ類缶詰、冷凍水産食品等は、日本一の生産量を誇る。さらに大手医薬品製造者の生産拠点や車載光学機器を中心とした化成品産業が集積している。

中部地域は、先端産業創出プロジェクトにおける「フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト」の中心的な地域であり、平成20年度から始まった「総合食品学講座」の人材育成事業においては、公益財団法人静岡県産業振興財団や静岡県公立大学法人静岡県立大学と共に参画し、既存産業の高度化や新たな食品関連産業の創出に努めている。

また当所が開発した中小食品製造業者向け食品廃棄物のエネルギー利用を目的とした小型メタン発酵プラントについては、その事業化を目指した「静岡県小型メタン発酵プラント事業化推進協議会」が、13の食品加工・製造企業やプラントメーカー等により設立され、食品工場等にパイロットプラントを設置し、有効性や採算性について実証試験を実施した。

車載光学機器産業を中心とした照明関連産業の振興を目的に、平成30年度に照明音響科を設置した。「配光測定装置」は、一般照明用と自動車のヘッドランプ用の2種類を整備しており、全国的にもこれらの設備を揃えている公設試験研究機関は当所だけであり、新たな製品開発を支援している。

（イ）事業の概要

当研究所では、平成19年度に企画調整機能を集約化して企画調整部を設け、研究所と各支援センターが一体となって県内産業界を総合的に支援できるよう、研究所全体の企画調整、

機器整備等の計画策定、技術情報の集約・一元的な発信、産学官の連携強化等を行っている。

金属材料科・化学材料科・機械電子科では、県内中小製造業に対し、構造材料・表面加工技術の向上、ものづくり技術の高付加価値化や製品設計の高度化等共通基盤技術を支援しており、企業との共同研究にも積極的に取り組んでいる。

その中で、金属材料科は次世代自動車向け軽量素材の利用促進を目的に、樹脂へのめっき技術の開発に取り組み、化学材料科では、新成長戦略研究「次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発」をテーマに、難分散性のCNFと樹脂を混合させた原料ペレットの作製や成型条件の最適化に取り組んでいる。

機械電子科では、新成長戦略研究「IoT導入支援のための技術拠点と先進事例モデルの構築」をテーマに企業の生産性向上に向けた支援に取り組むとともに、企業の最新のIoT関連機器を展示する「静岡県IoT推進ラボ」を所内に開設し、講習会や実証実験などを通し、企業にIoTによる生産工程の見える化などを体験する機会を提供している。

照明音響科では、県中部地域に集積する車載光学機器産業を中心とした照明関連産業の振興を図るため、シミュレーションや精密形状測定、配光測定などを活用し、設計、生産、評価と一貫した支援に取り組んでいる。令和3年度から実施している新成長戦略研究「人とコミュニケーションを図る次世代車載装置用樹脂レンズの開発」では、自動運転に必要なコミュニケーションランプの金型製造を可能とするため、大型かつ超精密な加工技術の開発に取り組んでいる。

食品科は、県中部地域に集積している食品産業の振興を図るため、機能性食品に関する研究や人材育成を行い、「フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト」推進の一翼を担っている。令和元年度からは、化粧品・化成品の支援を強化し、県内中小企業の新製品開発の支援に取り組んでいる。また、令和2年度から新成長戦略研究「マリンバイオ産業を振興するための海洋由来微生物を活用した新たな食品開発」に参画し、マリンバイオ産業の創出支援に取り組んでいる。

環境エネルギー科では、排水処理技術やバイオマスを利用したエネルギー回収技術等の研究や支援業務を行っている。平成26～28年度に実施した新成長戦略研究「分散型エネルギー社会に貢献する小型メタン発酵プラントの開発」で試作した小型プラントについて、県内食品・製造企業における実証試験を実施し、普及に向けてデータを情報公開している。また、県単独研究「微細気泡散気方式を利用した省スペース型排水処理装置の開発」では、排水処理の低コスト化・装置のコンパクト化を実現するために、微細気泡散気方式で間欠曝気を行う新たな処理装置の開発を行っている。

ユニバーサルデザイン科では、ユニバーサルデザイン製品・福祉用具・医療機器などの県内関連産業を支援している。人口減少・少子・高齢社会が求める新たな価値の発見と魅力の創造に向けて、人間特性評価・UX・UIなどの研究に取り組んでいる。またデザインに関する相談やデザイナーとのマッチング等の支援にも取り組んでいる。

工芸科では、家具・住宅など県内の生活関連産業を支援している。県産材の需要拡大につながる木製品の付加価値向上や、快適な生活空間の創造に向けて有害物質の評価、木製家具等の強度・耐久性試験などの研究に取り組んでいる。

イ 沼津工業技術支援センター(沼津市)

(ア) 地域の概要

当センターが所在する県東部地域は、戦前海軍工廠に納める精密ネジを作る企業があった。戦後多くのネジ製造企業が独立し、現在では自動車関連の部品製造企業となっている。芝浦機械(株)や(株)リコーといった大企業が存在することから、精密加工を行う企業、プリンター部品を製造する企業も多い。

また、医薬品・医療用機器製造業も集積しており、地域の企業に対する医療用機器分野への参入を支援する取組も行われている。

県では、平成14年9月に開院した県立静岡がんセンターを核とした医療産業から健康産業まで広がる富士山麓先端健康産業集積(ファルマバレー)プロジェクトを推進しており、平成15年4月に、その中核的な支援機関であるファルマバレーセンターが開設された。当センターでは、年間7回程度開催するネットワーク会議にキーマンメンバーとして参加している。令和2年度はコロナ禍により開催回数が激減したが、令和3年度からはオンライン開催を軸に開催されている。平成21年度からは医用機器等開発テーマ実現化会議へ委員を派遣し、この会議を経て令和元年度は「富士山麓から医療機器開発へ」ふじのくに医療機器産業活性化推進事業支援コーディネータとして活動した。平成23年12月には東部地域12市町が内閣府より地域活性化総合特区「ふじのくに先端医療総合特区」として指定を受け、平成25年7月には文部科学省等補助事業「地域イノベーション戦略支援プログラム(国際競争力強化地域)」に採択された。平成28年9月には、県立静岡がんセンター至近に医療健康産業研究開発センターが開設された。平成29年8月に(一財)ふじのくに医療城下町推進機構として設立された財団は平成31年4月より公益財団法人となり、ファルマバレープロジェクトの推進はますます加速している。また、本県と山梨県との医療健康産業政策の連携協定により積極的な情報交換を進めている。

(イ) 事業の概要

当センターは、県東部地域の中小企業の技術力の強化・向上の支援、地域産業界全体の技術振興を目的として設置された試験研究機関である。医療福祉分野等の試験研究や技術支援を通じてファルマバレープロジェクト等の東部地域の新産業育成に貢献するとともに、酵母等の発酵技術、ものづくりの基盤となる機械・電子技術により地域産業を支援している。バイオ科及び機械電子科の2科を設け、バイオ科については、工業技術研究所で唯一のバイオテクノロジー担当部門として、東部地域にとどまらず県下全域を対象としている。

バイオ科では、平成27年度から平成29年度まで県の5研究所と関係業界が協働して行った新成長戦略研究「食の都しずおかのおか微生物を用いた新しい発酵食品ビジネスの創出」でしずおか微生物ライブラリーを構築した。このライブラリーを活かし、新たな発酵ビジネスの創出に貢献している。すなわち、本県の地域資源等から得た有用微生物によって構築されたライブラリーの微生物株の県内企業への分譲が進んでいる。本研究のなかで、発泡性日本酒やオリジナルビールの開発といった新しい取り組みに成功したことを契機に、酒造業界との連携がますます重要になっていく。加えて、令和2年度からは水産・海洋技術研究所が中核研究機関となっている新成長戦略研究「マリンバイオ産業を振興するための海洋由来微生物を活用した新たな食品開発」に参画し、海洋資源の有効活用についての取り組みも開始してい

る。

機械電子科では、平成28年度から平成30年度にかけて、戦略的基盤技術高度化支援事業（経済産業省）（現 成長型中小企業等研究開発支援事業）として「骨端用プレートの高品質・低コスト成形加工技術の開発」を進めた。これに加え、平成30年度から令和2年度にかけて、新成長戦略研究「次世代型インプラントの型鍛造成形を可能にする設計支援技術の開発」を実施し、整形外科用インプラントの型鍛造成形を実現させる上で必要不可欠な、金型や成形条件探索等に費やす開発費を削減させることが出来る独自の設計支援技術を開発した。これをもとに関連企業からの技術相談や受託研究の相談も増加しており、ファルマバレープロジェクトに関連した課題に取り組んでいる。また、令和3年11月にはセンター内に「静岡県IoT推進ラボ サテライト沼津」を開設し、企業のIoT導入の支援を行っている。

センター業務の実施に当たっては、中小企業のニーズを把握することを第一に、企業や商工団体の訪問、企業との意見交換の場の確保等、地元の声の把握に鋭意努めながら進めている。

ウ 富士工業技術支援センター（富士市）

（ア）地域の概要

当センターが所在する富士地域（富士市、富士宮市）は、大消費地である首都圏に近く、富士山麓の豊富な水資源を基に製紙産業が栄え、これを中核とする機械産業が発達し、世界に類を見ない製紙関連産業の技術集積地を形成している。さらに昨今の電子技術を応用した家電、輸送用機械工業などの進出により一大工業地帯を形成し、加えて、富士山麓の清涼な環境の基に特異な精密工業や医療機器・医薬品関連産業の進出による先端産業地帯としても発展している。

しかし、最近の経済のグローバル化に伴い、地域の企業も他社との統合・合併で生き残りを図るなど大きな構造変化が進んでいる。例えば、製紙関連では、富士地域に集中する中小のトイレットペーパーなどを製造する家庭紙製造業は、大手製紙メーカーがこの分野にも参入してきており、生産量は横ばいであるが、競争が厳しくなってきた。また、印刷用紙等では、新型コロナウイルスの影響によるイベント中止やペーパーレス化の進展等により、生産量が大きく減少しているため、大手製紙メーカーの大幅な事業の見直し・集約により、当地での事業が縮小しており、製紙および関連産業への影響が懸念されている。

一方、製紙関連以外の製造業では、富士宮市を中心とする医療機器産業が比較的順調な伸びを保っているが、富士地域の輸送用機械や電気機械及び化学工業関連などは、先行き不透明で、厳しい状況にある。その中で、最近では製紙関連の他、樹脂成形、化成品など様々な分野で新材料として注目されているセルロースナノファイバー（CNF）を利用した新製品開発が進んでおり、富士市がプラットフォームを組織してCNFの研究開発や製品化の支援を進めている。脱炭素社会への移行とデジタルシフトが加速しており、多くの企業がCNF活用やAI・IoTの活用に関心を寄せている。

（イ）事業の概要

当センターは、企業による新成長分野への進出や新規事業分野の開拓にかかる研究開発の他、関連支援機関と連携して、入口（ニーズ、市場性の調査）から製品開発、出口（販

売) までの一貫支援に努めている。また、地域企業の既存技術の高度化、高付加価値新商品の開発を、主に技術面から支援している。

製紙科では、再生紙による家庭紙を主力とした技術開発を行っている。古紙価格の高騰や競争の激化から付加価値の高い機能紙や特殊紙の開発に取組み始めた企業も増えているため、紙リサイクル技術の推進、紙質・製品評価技術の確立、機能性付与技術の開発に重点を置いている。これまでの古紙利用に関する研究では、トイレトペーパーが解れにくくなっている要因や、かさが要求される製品でより低密度化できる処方を探り、工場の実状に併せた改善策を提案し、品質改善に結び付けた。その他古紙の品質低下が原因と考えられる様々な技術相談が寄せられていることから、今後も古紙利用技術の開発は重点的に取り組んでいく。

CNF科は県内企業によるCNF関連産業への参入を支援する中核的役割を担うとともに、次世代の新素材として注目されているCNFの技術窓口として、ふじのくにCNFプロジェクト推進事業を遂行している。令和元年度からのCNFの応用分野として期待される樹脂を対象とした新成長戦略研究「次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発」では、安価で性能の良いCNFの製造方法と樹脂中で分散しやすい混練、成形方法の開発を進めている。また、産学官連携体制強化のため、静岡大学CNFサテライトオフィス及び企業と共同研究を行うCNFラボで構成される「ふじのくにCNF研究開発センター」を運営し、事業化や製品化を推進している。

機械電子科は、当地域における製造品出荷額の上位を占めている機械、電気・電子産業の支援を目的に設置され、通常の業務に加え、センター協議会活動を通して中小企業の技術力の向上に寄与している。平成28年度から畜産技術研究所とともにAIを利用した牛の分娩検知システムの開発を進めており、実用化できる見込みがついている。平成29年度からは次世代自動車等での利用増加が見込まれる軽量、高強度の部品の製造技術確立と実用化を目指す新成長戦略研究「異種材料接合のための新型プラズマ照射装置の開発」に取り組み、開発した試作品による実用化のための技術開発を終え、企業に利用開放している。

今後も産業支援機関や大学と連携して地域企業の新たな成長分野への参入を支援するとともに、センターの持つ技術力を活かして現場ニーズに対応した技術支援を推進していく。

エ 浜松工業技術支援センター（浜松市）

（ア）地域の概要

当センターが所在する西部地域は、トヨタ、ホンダ、スズキ、ヤマハ発動機などの世界的輸送機械メーカー発祥の地であり、自動車や二輪車及び船外機関連企業が集積している。また、ヤマハ、河合楽器製作所、ローランドなどの世界的楽器メーカー、浜松ホトニクスなどの光関連メーカー及び電気機器関連企業等が立地している。また、古くから綿織物の国内有数の産地として盛況を極めてきた。

西部地域は、次世代のリーディング産業の創出と育成を図る「静岡新産業集積クラスター」のなかで、フotonバレープロジェクトの中心となっている。産学官金の連携による地

域企業の新製品開発や新たな市場への進出を支援するとともに、「はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点」や「光産業創成大学院大学」が実施する人材育成などを支援するなど、光・電子技術産業の集積化を推進している。

また、成長産業である次世代自動車、医療機器、航空機産業分野などへの地域企業の参入を促進し、海外成長力の取り込みなどによる地域産業の活性化を図っている。次世代自動車産業については、県内企業で参入を目指した取組が活発化しており、当センターでも関連する試験機器を整備するなど、支援体制の強化に努めている。また、部品部材の開発を支援するため、電気自動車（日産リーフ）の2010年型と2017年型の分解展示を令和元年1月より開始した。

さらに、地域に集積する技術力と地元の素材を結び付けた高付加価値の製品づくりとブランド力の強化、県内外への情報発信や販路開拓を支援するなど、繊維をはじめとする地場産業の振興を図っている。

（イ）事業の概要

当センターでは、地域企業の要望に応じた製品試験、不良品の原因調査などの相談に応じるとともに、企業と共同で新製品の研究開発に取り組んでいる。

光科では、光半導体レーザーや超短パルスレーザーを高度に利用する技術や透過光計測により応力に起因する複屈折率分布を可視化する装置の開発を行い、ものづくりの品質検査等、新たな応用分野の研究開発を進めている。また、平成29年度より参画してきた内閣府革新的研究開発推進プログラム（ImPACT）の中で開発した新型レーザーの試用プラットフォームを、用途開発に利用していただくよう無料開放している。令和3年度からは、次世代自動車への搭載を目的に「コミュニケーションライティングシステム」のためのレンズ開発を行う新成長戦略研究課題（リーダーは本所）がはじまり、光学素子の設計・評価及び樹脂成形用金型転写技術の検討を担当している。

また、光産業創成大学院大学による中核人材育成講座に、派遣講師として協力するなど、レーザー応用技術に携わる人材の育成を支援している。

機械電子科では、精密測定や品質工学に関する技術相談を通じ、モノづくりを支援している他、機械技術に関連する研究会の活動をサポートしている。また、アルミニウム部品の熱変形やウルトラハイテン材のひずみ等を三次元的に計測、評価する技術の開発を進め、地域企業の製品設計、開発力の強化に取り組んでいる。また、令和3年11月にはセンター内に「静岡県IoT推進ラボ サテライト浜松」を開設し、企業のIoT導入の支援を行っている。

一方、電磁波測定、電磁波環境計測関連機器及び耐振耐候試験機等、所有機器を用いて製品の信頼性向上を図り、安全で安心できる電子機器の開発や技術向上を支援している。また、EMC試験における測定の不確かさの算出・管理による測定値の信頼性及び測定技術の向上に向けた研究を通じ、事業者の製品開発を支援している。なお、電子制御化が進む自動車関連産業の需要に対応するための車載機器用EMC試験施設を平成30年度に整備し、県内事業者等による次世代自動車開発関連分野への参入を支援している。

材料科では、次世代自動車に用いられる軽量難加工材に関わる加工・評価やめっき技術を応用した表面処理技術の開発に取り組んでいる。また解析技術の向上・体系化を図り、材料

の成分分析、構造解析、強度試験、破損・欠陥解析などの各種試験や技術相談に迅速かつ的確に対応することにより、企業の新製品開発・技術開発を支援している。

繊維高分子材料科では、令和2年度より県の新成長戦略研究として、次世代自動車などへの採用が期待される軽量高強度材料「炭素繊維強化複合材（CFRP）」の、大量生産に対応した高効率成形技術の確立を目指している。また、当センターが保有する織物サンプルデータベース、電子ジャカード織機などを活用して、コーデュロイやゆかたなどの新製品開発を行う地域企業の技術支援を行っている。

(4) 工業技術研究所及び各工業技術支援センターの施設の概要

ア 工業技術研究所(静岡市)

(ア) 敷地面積	23, 157 m ²		
(イ) 建築面積	7, 659 m ²		
(ウ) 延床面積	13, 091 m ²		
○管理棟	鉄筋コンクリート4階建	2, 250 m ²	(管理部門)
○研究棟	鉄筋コンクリート4階建	4, 130 m ²	(研究部門)
○研修棟	鉄筋コンクリート平屋建	270 m ²	(講習・研修施設)
○実験棟	鉄骨平屋建	2, 719 m ²	(実験施設)
○開放棟	鉄筋コンクリート3階建	1, 680 m ²	(開放試験・共同研究施設等)
○資料館	鉄筋コンクリート2階建	460 m ²	
○付属棟		1, 582 m ²	(設備棟・薬品庫等)

イ 沼津工業技術支援センター(沼津市)

(ア) 敷地面積	19, 958 m ²		
(イ) 建築面積	3, 892 m ²		
(ウ) 延床面積	6, 219 m ²		
○管理・研究・開放棟	鉄筋コンクリート3階建	4, 384 m ²	(管理・研究部門、開放試験)
○実験棟	鉄筋コンクリート平屋建	648 m ²	(実験施設)
○付属棟		305 m ²	(廃水処理施設等)
○インキュベーションセンター	鉄骨平屋建	882 m ²	

ウ 富士工業技術支援センター(富士市)

(ア) 敷地面積	20, 075 m ²		
(イ) 建築面積	4, 433 m ²		
(ウ) 延床面積	8, 801 m ²		
○管理・研究・開放棟	鉄筋コンクリート3階建	5, 346 m ²	(管理・研究部門、開放試験)
○実験棟	鉄筋コンクリート3階建	2, 414 m ²	(実験施設)
○付属施設		165 m ²	(車庫・駐輪場等)
○インキュベーションセンター	鉄骨平屋建	876 m ²	

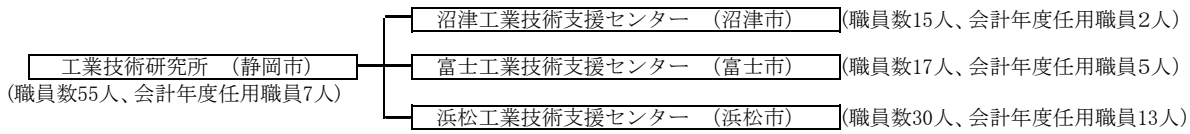
エ 浜松工業技術支援センター(浜松市)

(ア) 敷地面積	28, 238 m ²		
(イ) 建築面積	5, 792 m ²		
(ウ) 延床面積	11, 142 m ²		
○管理研究棟	鉄筋コンクリート4階建	5, 023 m ²	(管理・研究部門)
○開放棟	鉄筋コンクリート2階建	1, 276 m ²	(開放試験・共同研究・講習研修施設)

- 実験棟 鉄筋コンクリート2階建 3, 309 m² (実験施設)
- 附属棟 128 m² (排水処理施設・薬品庫等)
- 車載機器EMCテストサイト 鉄骨平屋建 531 m² (実験施設)
- インキュベーションセンター 鉄骨平屋建 875 m²

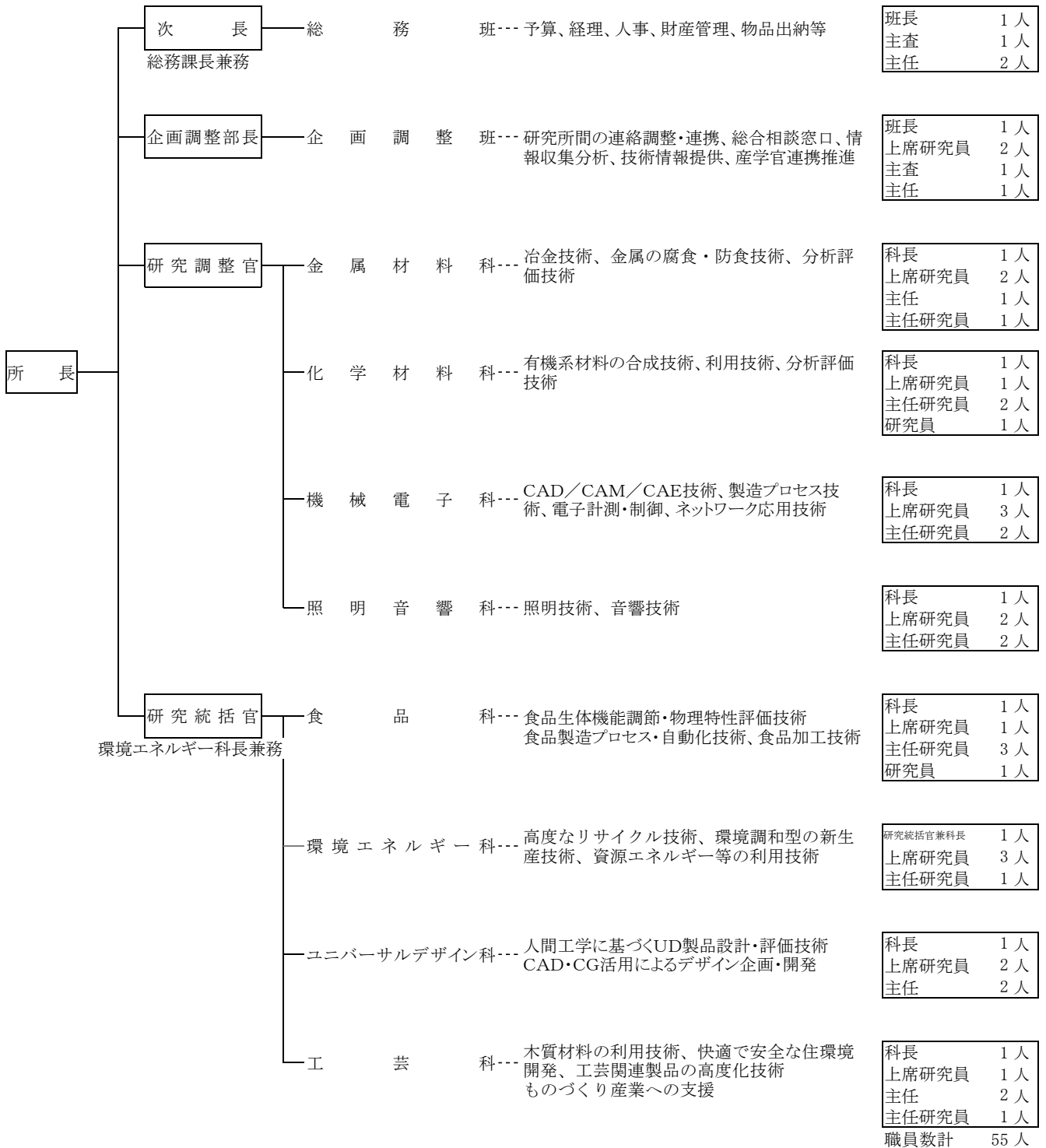
(5) 組織図

令和4年7月31日現在の工業技術研究所の組織及び業務分担は、次のとおりである。
職員総数は事務職員11人、技術職員96人、再任用職員10人、会計年度任用職員27人の計144人である。



ア 工業技術研究所（静岡市）

職員数は事務職員5人、技術職員45人、再任用職員5人、会計年度任用職員7人の計62人である。

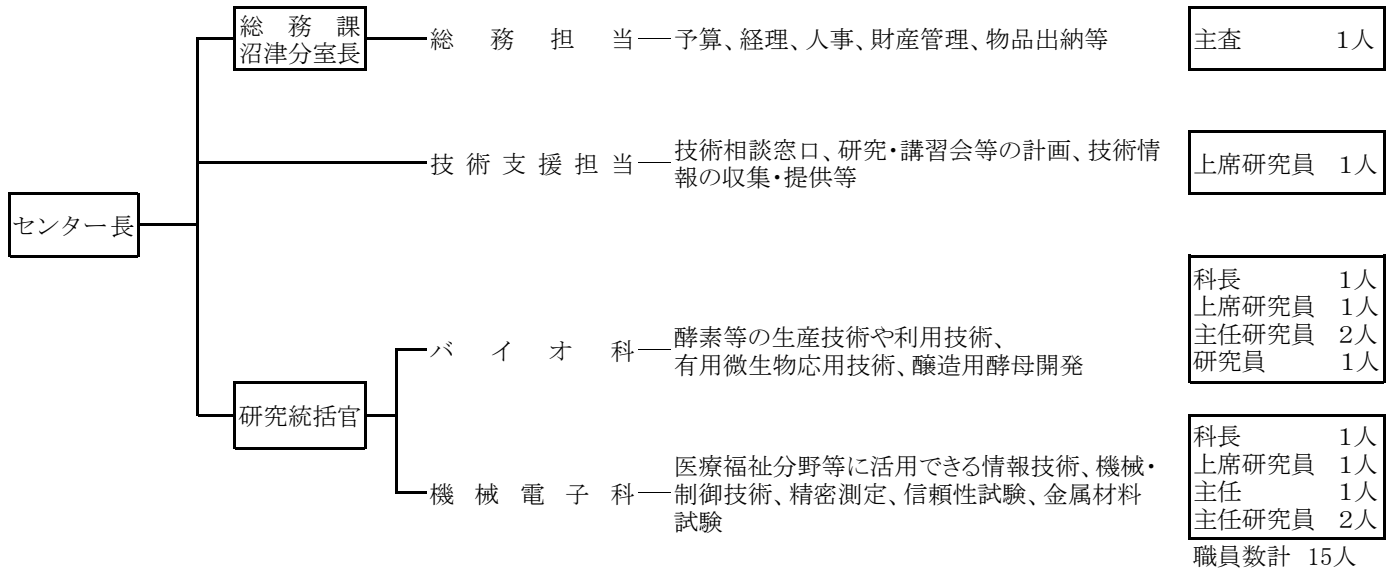


(その他会計年度任用職員等)

職 名	人数
会計年度任用職員	7人

イ 沼津工業技術支援センター(沼津市)

職員数は事務職員 2 人、技術職員12人、再任用職員 1 人、会計年度任用職員 2 人の計17人である。

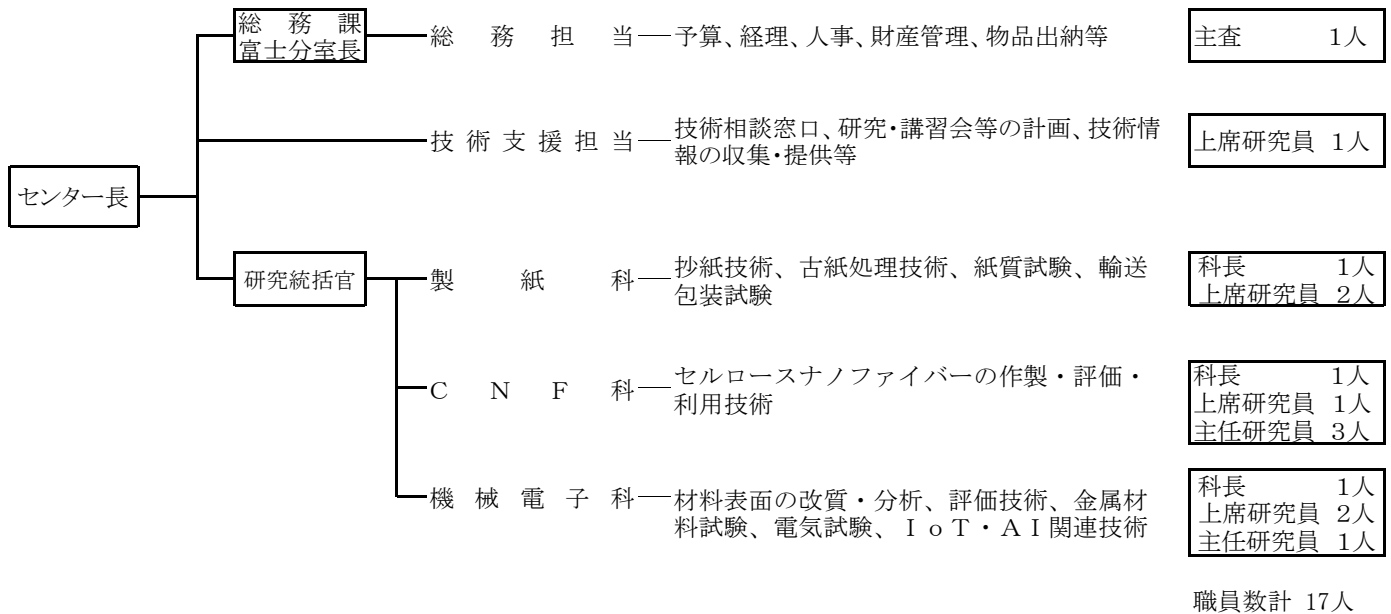


(その他会計年度任用職員等)

職名	人数
会計年度任用職員	2

ウ 富士工業技術支援センター(富士市)

職員数は事務職員 2 人、技術職員15人、会計年度任用職員5人の計22人である。

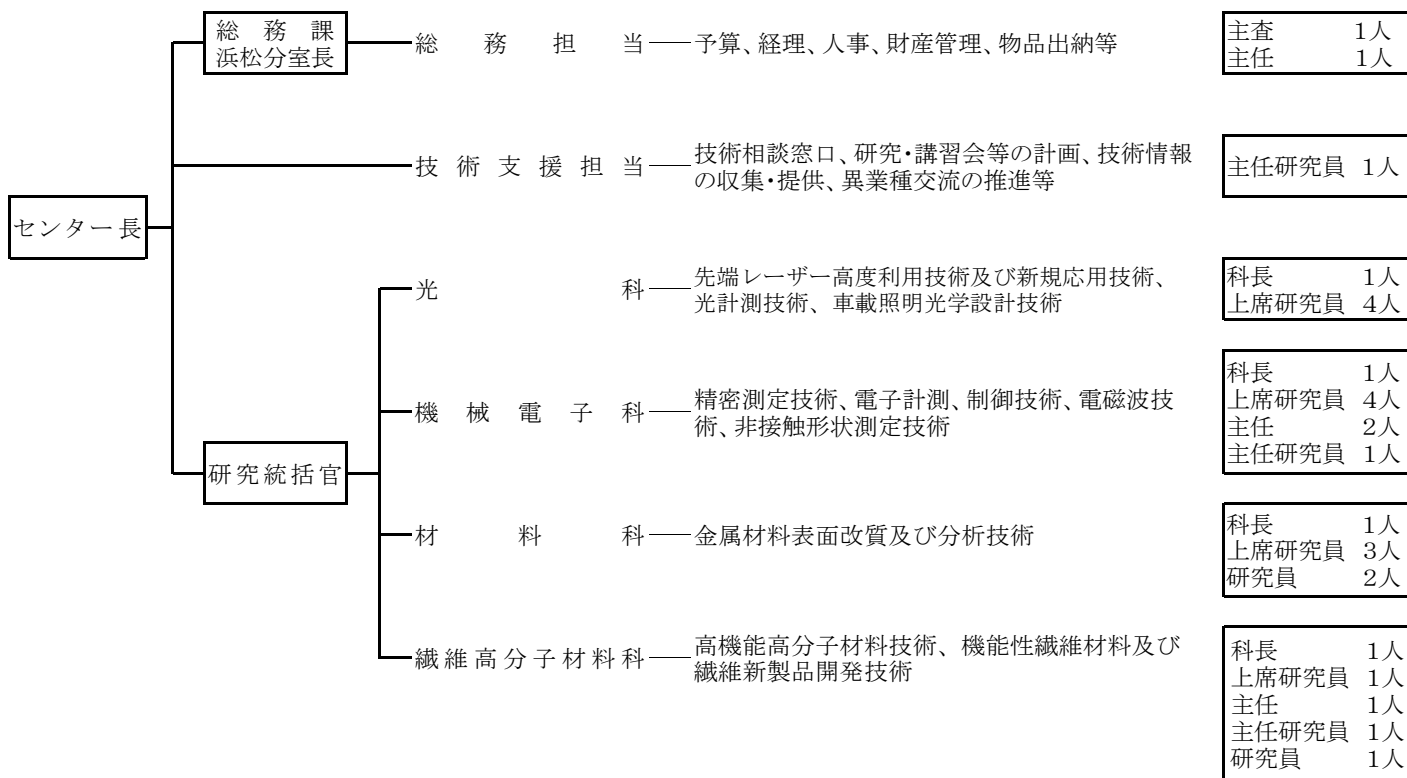


(その他会計年度任用職員等)

職名	人数
会計年度任用職員	5

エ 浜松工業技術支援センター（浜松市）

職員数は事務職員2人、技術職員24人、再任用職員4人、会計年度任用職員13人の計43人である。



職員数計 30人

(その他会計年度任用職員等)

職名	人数
会計年度任用職員	13人

2 事務又は事業の目的、計画及び実績（成果）並びに評価（課題等）及び改善

(1) 総務事務

(目 的)

工業技術研究所総務課及び各工業技術支援センター総務課分室において、人事管理、予算、経理、財産管理、安全衛生・健康管理、職員研修等の業務を行い、職員が快適かつ安心して仕事に専念できる職場環境づくりに努める。

(実 績)

ア 人事管理について

工業技術研究所全体の職員総数は、令和4年7月31日現在で、144人である(事務職員11人、技術職員96人、再任用職員10人、会計年度任用職員27人)。

そのうち、工業技術研究所(静岡市)が62人(事務職員5人、技術職員45人、再任用職員5人、会計年度任用職員7人)、沼津工業技術支援センターが17人(事務職員2人、技術職員12人、再任用職員1人、会計年度任用職員2人)、富士工業技術支援センターが22人(事務職員2人、技術職員15人、会計年度任用職員5人)、浜松工業技術支援センターが43人(事務職員2人、技術職員24人、再任用職員4人、会計年度任用職員13人)である。

職員の配置については、各々の職員が最大限に能力を発揮できるよう専門分野等を考慮し、適切な職場配置に努めている。

イ 予算執行及び財産管理について

予算執行に当たっては、費用対効果を検証し、常にコスト意識を持って効率的な執行に努めている。また、財産管理では、関係法令等を遵守し、適正に取り組んでいる。

ウ 事務の執行について

事業の円滑な推進を図るため、工業技術研究所及び各支援センターにおいて、毎月定期的に幹部職員会議あるいは全体会議を開催し、各科・各スタッフ間の連絡調整及び職員間の意思疎通を図っている。

さらに、工業技術研究所と各支援センター間の連携を密にするため、定期的に所長・センター長会議及び企画調整会議(企画調整部主催)等を開催している。

また、職員の資質向上や研究業務に必要な情報収集等のため、各種団体等が開催する講演会、研修会等にも積極的に参加させ、専門知識や技能の習得等に努めている。

エ 職員の安全衛生・健康管理について

工業技術研究所・各支援センターとも、地理的条件から、自家用車等による通勤者が多く、出張等にも車は欠かせないため、公用車には「安全運転の心得」や「事故発生時対応マニュアル」の配置、職員全員に万が一の時のため「事故対策マニュアル」を配布するなど、交通安全については機会あるごとに周知徹底を図っている。

健康管理については、定期健康診断、人間ドック等の健康診断のほか、特別健康診断(特定化学物質取扱、有機溶剤取扱、放射線等の業務従事者)を年2回実施している。

(評価・改善)

- ・ 交通事故等の防止

交通事故は、工業技術研究所全体で、令和元年度は1件、令和2年度は2件、令和4年度は1件、発生している。令和3年度は発生していない。

工業技術研究所及び各支援センターでは、幹部会議・職員会議、館内放送などにより、繰り返し職員全員に対し交通安全の徹底の呼び掛けを行うなど、意識の高揚を図っている。さらに、職員による交通安全標語の作成、掲示を行うとともに、交通安全講習会の独自開催や研修会への積極的な参加を図っている。

- ・ 労働安全衛生・健康管理

労働安全衛生に関する講習会を年1回実施するなど、職員の労働安全に対する意識の改革に努めている。また、幹部職員等による職場巡視を定期的を実施することにより、業務中における事故防止に努めている。

工業技術研究所全体の職員の健康管理区分は、A区分が2名、C区分が1名、D区分が112名である。

工業技術研究所では、特に、精神面での健康管理を重視し、健康指導課と共催でメンタルヘルスセミナーを開催している。引き続き、時間外勤務の縮減や休暇取得の促進を図るなど、職員の健康管理に努めている。

(2) 試験研究、調査及び指導事務

(目的)

産業構造の変化や技術の進展等への対応が不可欠となっている中小企業支援のため、研究開発や技術相談、依頼試験、設備使用及び講習会、技術情報提供などで中小企業の技術力向上に努めている。

(計画・実績)

計画と実績は下表のとおりである。

ア 研究開発

(ア) 研究課題

(令和4年度は7月31日現在)

	令和3年度	令和4年度
工業技術研究所	36件 (5件※1※2※3)	25件 (4件※2※3※4)
沼津工業技術支援センター	7件 (1件※2)	4件 (1件※2)
富士工業技術支援センター	7件 (1件※1※5)	8件 (1件※5)
浜松工業技術支援センター	19件 (2件※3※4)	17件 (2件※3※4)
総課題件数	69件 (9件※1※2※3※4※5)	54件 (8件※2※3※4※5)

()内は内数

※1 富士工業技術支援センターが統括して、静岡においても実施

※2 水産・海洋技術研究所が統括して、静岡及び沼津においても実施

※3 県単独研究の課題について、個人向け資金(科学研究費補助金)を活用

※4 工業技術研究所が統括して、浜松においても実施

※5 一般共同研究の課題について、個人向け資金(科学研究費補助金)を活用

a 令和3年度研究課題数

	新成長戦略研究	県単独研究	一般共同研究	受託研究		計
				競争的資金による研究	競争的資金以外の研究	
工業技術研究所	6(2)※1※2	6(3)※3	9	6	9	36(5)
沼津工業技術支援センター	1(1)※2	0	2	2	2	7(1)
富士工業技術支援センター	1	1	5(1)※5	0	0	7(2)
浜松工業技術支援センター	2(1)※4	6(1)	3	0	8	19(2)
合計	10(4)	13(4)	19(1)	8	19	69(11)

()内は内数

※1 富士工業技術支援センターが統括して、静岡においても実施

※2 水産・海洋技術研究所が統括して、静岡及び沼津においても実施

※3 県単独研究の課題について、個人向け資金(科学研究費補助金)を活用

※4 工業技術研究所が統括して、浜松においても実施

※5 一般共同研究の課題について、個人向け資金(科学研究費補助金)を活用

(a) 工業技術研究所の研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究	
金属材料科	0	0	3	2	1	6
化学材料科	1 (1) ※ ¹	0	1	0	0	2 (1)
機械電子科	2	1 (1) ※ ³	1	0	0	4 (1)
照明音響科	1 ※ ⁴	0	0	1	0	2
食品科	2 (1) ※ ²	3 (2) ※ ³	0	1	1	7 (3)
環境エネルギー科	0	1	1	1	3	6
ユニバーサルデザイン科	0	0	2	0	0	2
工芸科	0	1	1	1	4	7
合計	6 (2)	6 (3)	9	6	9	36 (5)

()内は内数

※1 富士工業技術支援センターが統括して、静岡においても実施

※2 水産・海洋技術研究所が統括して、静岡及び沼津においても実施

※3 県単独研究の課題について、個人向け資金(科学研究費補助金)を活用

※4 工業技術研究所が統括して、浜松においても実施

(b) 沼津工業技術支援センターの研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究	
バイオ科	1 (1) ※ ¹	0	1	1	1	4 (1)
機械電子科	0	0	1	1	1	3
合計	1 (1)	0	2	2	2	7 (1)

()内は内数

※1 水産・海洋技術研究所が統括して、静岡及び沼津においても実施

(c) 富士工業技術支援センターの研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略 研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究	
製紙科	0	1	0	0	0	1
CNF科	1	0	3	0	0	4
機械電子科	0	0	2 (1) ※ ¹	0	0	2 (1)
合計	1	1	5 (1)	0	0	7 (1)

()内は内数

※1 一般共同研究の課題について、個人向け資金(科学研究費補助金)を活用

(d) 浜松工業技術支援センターの研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略 研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究	
光科	1 (1) ※ ¹	2 (1) ※ ²	1	0	1	5 (2)
機械電子科	0	2	1	0	0	3
材料科	0	2	1	0	5	8
繊維高分子材料科	1	0	0	0	2	3
合計	2 (1)	6 (1)	3	0	8	19 (2)

()内は内数

※1 工業技術研究所が統括して、浜松においても実施

※2 県単独研究の課題について、個人向け資金(科学研究費補助金)を活用

b 令和3年度研究課題名一覧
 (a) 工業技術研究所研究課題名一覧

新・継続開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
継続 R1～	次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発	化学材料科	
継続 R1～	I o T導入支援のための技術拠点と先進事例モデルの構築	機械電子科	
継続 R2～	マリンバイオ産業を振興するための海洋由来微生物を活用した新たな食品開発	食品科	
新規	製造現場のWeb会議に活用できるリモート3Dスキャンの提案	機械電子科	チャレンジ研究枠
新規	人とコミュニケーションを図る次世代車載装置用樹脂レンズの開発	照明音響科	
新規	□□□□□□□□□□機能性成分による腸内マイクロバイオームを介した免疫抑制	食品科	チャレンジ研究枠
県単独研究			
継続 R1～	農業実践例の大規模類似ネットワークに基づくナレッジベースの構築	機械電子科	科学研究費助成事業(学振)
継続 R2～	セルロースナノファイバーによる機能性成分の徐放化と挙動解明	食品科	科学研究費助成事業(学振)
継続 R2～	スキンケア素材の探索と機能性向上を目指した乳酸菌発酵	食品科	地方創生推進交付金(FHCa0I)
新規	豆乳タンパク質の新たな視点による挙動解析と濃縮技術開発	食品科	科学研究費助成事業(学振)
新規	微細気泡散気方式を利用した省スペース型排水処理装置の開発	環境エネルギー科	
新規	県産材の屋外使用に向けた防腐・防蟻処理技術の開発	工芸科	
一般共同研究			
継続 R1～	□□□□□□□□□□に含まれる微小な植物繊維の定量評価法検討	化学材料科	
継続 R2～	エアコン用圧縮機の省エネと小型化を両立する高強度軽量スクロール翼のニアネット鑄造技術の開発	金属材料科	戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン)(経産省)
継続 R2～	静岡県地域企業等へのIoT導入強化に関する研究	機械電子科	つながる工場テストベッド事業(産総研)
継続 R2～	駿河湾由来カロテノイド生産微生物ライブラリーの構築とサプリメント開発への応用	環境エネルギー科	マリンバイオテクノロジーを核としたシーズ創出研究業務委託(県産業イノベーション課)

新・継 開始年	課題名	担当部門署	備考
新規	アルミニウム鋳造品用異種素材の固相接合技術の研究開発	金属材料科	次世代自動車技術革新対応促進助成事業(財団)
新規	バイオマスプラスチックへのめっき技術の開発	金属材料科	
新規	介護サービスの質の向上を目指したトイレ介助機器の開発	ユニバーサルデザイン科	
新規	手術用頭部固定枕の開発	ユニバーサルデザイン科	医療機器等開発助成事業費補助金(ファルマ)
新規	居住空間における木材・木製品等の変色に関する研究	工芸科	
受託研究(競争的資金による研究)			
継続 R2～	複数場の同時制御プロセスによるリサイクル可能な超軽量マルチ部材の開発	金属材料科	先端企業育成プロジェクト推進事業(県新産課)
継続 R2～	フレキシブル面光源の性能評価のための光学特性測定に関する国際標準化	照明音響科	国際標準化事業(経産省)
継続 R2～	□□□□□□□□□□□□□□□□抽出技術の検討	食品科	MaOI事業化促進事業(県産業イノベーション課)
継続 R2～	地産地消型エネルギー循環システム構築を目指した脂質高含有廃棄物からの長期安定的エネルギー回収法の開発	環境エネルギー科	A-STEPトライアウト(JST)
新規	半熔融成形法により作製したヒートシンクの放熱性に関する研究開発	金属材料科	試作品開発助成事業(次世代自動車)(財団)
新規	バイオマス素材を原料とした白金担持炭素材料の開発	工芸科	課題提案型研究助成(スズキ財団)
受託研究(競争的資金以外の研究)			
新規	アルミニウム砂型鋳物の鋳造性に及ぼす鋳型砂に関する研究開発	金属材料科	
新規	オリーブ搾油残渣からの機能性素材の開発	食品科	
新規	蒸留所から発生する高濃度廃液を利用した高効率メタン発酵手法の開発	環境エネルギー科	
新規	廃棄物を用いた微生物による水素発酵最適運転条件の検討	環境エネルギー科	
新規	未利用有機性廃棄物のメタン発酵適性評価	環境エネルギー科	
新規	県産針葉樹材等の外溝部材利用に向けた処理条件の検討	工芸科	

新・継 開始年	課題名	担当部門署	備考
新規	皮革製品に適したツキ板加工技術の開発	工芸科	
新規	木材流動成形物の高強度化と高機能化	工芸科	
新規	連続式賦活炉により製造した木質活性炭の性能 評価	工芸科	

注) 学振：(独)日本学術振興会、FHCaOI：フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト、経産省：経済産業省、産総研：(国研)産業技術総合研究所、県産業イノベ課：静岡県産業イノベーション推進課、財団：(公財)静岡県産業振興財団、ファルマ：ファルマバレーセンター、県新産課：静岡県新産業集積課、JST：(国研)科学技術振興機構、スズキ財団：(公財)スズキ財団

(b) 沼津工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
継続 R2～	マリンバイオ産業を振興するための海洋由来微生物を活用した新たな食品開発	バイオ科	
一般共同研究			
新規	本県独自の清酒用種麹の開発フローの構築	バイオ科	
新規	二軸引張試験を活用した難成形材プレスシミュレーションの高精度化	機械電子科	
受託研究（競争的資金による研究）			
新規	酵素－抗体融合体の作製と評価	バイオ科	産学官連携研究 開発助成事業 (財団)
新規	成形シミュレーションによる成形条件の検討と成形後の材料評価	機械電子科	新成長産業戦略 的育成事業 事 業化推進助成事 業
受託研究（競争的資金以外の研究）			
新規	有用微生物を活用した国産高麗人参エキスの加工技術開発	バイオ科	
新規	医療用金属材料の強度試験方法の検討及び高温成形加工を活用した新たな加工方法の可能性調査	機械電子科	

注) 財団：(公財)静岡県産業振興財団

(c) 富士工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
継続 R1～	次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発	CNF科	
県単独研究			
新規	段ボール古紙を使用した「茶色いトイレトーパー」の開発	製紙科	
一般共同研究			
継続 R1～	□□□□□□□□□□に含まれる微小な植物繊維の定量評価法検討	CNF科	
継続 R1～	CNF製造に関する解繊エネルギーの低減	CNF科	
継続 R1～	古紙等のパルプ繊維を複合化したハイブリッド樹脂におけるCNF分散制御技術の確立	CNF科	
継続 R2～	プラズマ照射による樹脂表界面の新規改質技術の開発	機械電子科	
新規	深層学習を用いた画像解析による牛群中での子牛の疾病検知システムの開発	機械電子科	科学研究費助成事業(学振)

注) 学振：(独) 日本学術振興会

(d) 浜松工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
継続 R2～	新成長分野発展に貢献する軽量高強度材料(CFRP)の高効率成形技術の確立	繊維高分子材料科	
新規	人とコミュニケーションを図る次世代車載用樹脂レンズの開発	光科	
県単独研究			
継続 R2～	ダイヤモンド焼結体(PCD)工具のレーザー加工技術の開発	光科	
継続 R2～	3D熱変形計測技術を応用した次世代自動車用部品の開発プロセスの効率化	機械電子科	
継続 R2～	車載機器EMC試験における測定値のサイト間比較による測定信頼性の向上	機械電子科	
継続 R3～	多波長イメージングによる高速表面粗さ測定法の開発	光科	科学研究費助成事業(学振)
新規	材料評価・解析における技術継承を目指した技術資料集の作成	材料科	
新規	めっきを利用した鉄-アルミニウム接合技術の開発	材料科	
一般共同研究			
継続 R1～	マイクロテスチャエンドミルの主軸反転傾斜切削による超微粒パウダー製造技術の開発	材料科	戦略的基盤技術高度化支援事業(サポイン)(経産省)
継続 R2～	眼鏡レンズのレーザー染色におけるスマート加熱	光科	A-STEP(JST)
新規	高周波焼入ロボットの研究開発	機械電子科	産学官連携開発助成事業(財団)
受託研究(競争的資金以外の研究)			
継続 R2～	生分解性プラスチックの紡糸に関する研究	繊維高分子材料科	
新規	母材表面の外観を維持したレーザー溶着技術の研究	光科	
新規	高粘性液剤混入微小物のフィルトレーション	材料科	
新規	画像判定AIによる各種異物の判定・分類等に関する研究	材料科	
新規	コイル圧縮成形による絶縁被膜への影響	材料科	

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
新規	環境対応型クロムめっきの特性評価	材料科	
新規	熱による多層めっきの拡散挙動の検証	材料科	
新規	高比重成形材を用いた成形品の高弾性率化	繊維高分子材料科	

注) 学振：(独)日本学術振興会、財団：(公財)静岡県産業振興財団、経産省：経済産業省、JST：
(国研)科学技術振興機構

c 令和4年度研究課題数（7月31日現在）

	新成長 戦略研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金 による 研究	競争的 資金 以外の 研究	
工業技術研究所	4 (1) ※ ¹	1 2 (3) ※ ²	3	3	3	2 5 (4)
沼津工業技術 支援センター	1 (1) ※ ¹	0	2	0	1	4 (1)
富士工業技術 支援センター	1	2	5 (1) ※ ⁴	0	0	8 (1)
浜松工業技術 支援センター	3 (1) ※ ³	4 (1) ※ ²	5	0	5	1 7 (2)
合計	9 (3)	1 8 (4)	1 5 (1)	3	9	5 4 (8)

()内は内数

※¹ 水産・海洋技術研究所が統括して、静岡及び沼津においても実施

※² 県単独研究の課題について、個人向け資金（科研費）を活用

※³ 工業技術研究所が統括して、浜松においても実施

※⁴ 一般共同研究の課題について、個人向け資金（科研費）を活用

(a) 工業技術研究所の研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究	
金属材料科	0	2	1	2	1	6
化学材料科	0	2	1	0	0	3
機械電子科	1	0	1	0	0	2
照明音響科	1	1 (1) ※ ²	0	1	0	3 (1)
食品科	2 (1) ※ ¹	3 (2) ※ ²	0	0	0	5 (3)
環境エネルギー科	0	1	0	0	2	3
ユニバーサルデザイン科	0	1	0	0	0	1
工芸科	0	2	0	0	0	2
合計	4 (1)	1 2 (3)	2	3	3	2 5 (4)

()内は内数

※¹ 水産・海洋技術研究所が統括して、静岡及び沼津においても実施

※² 県単独研究の課題について、個人向け資金（科研費）を活用

(b) 沼津工業技術支援センターの研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究	
バイオ科	1 (1) ※1	0	1	0	1	3 (1)
機械電子科	0	0	1	0	0	1
合計	1 (1)	0	2	0	1	4 (1)

()内は内数

※1 水産・海洋技術研究所が統括して、静岡及び沼津においても実施

(c) 富士工業技術支援センターの研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略 研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究	
製紙科	0	1	1	0	0	2
CNF科	1	0	3	0	0	4
機械電子科	0	1	1 (1) ※1	0	0	2 (1)
合計	1	2	5 (1)	0	0	8 (1)

()内は内数

※1 一般共同研究の1課題について、個人向け資金(科研費)を活用

(d) 浜松工業技術支援センターの研究課題の内訳

(単位:件)

	新成長 戦略研究	県単独 研究	一般共同 研究	受託研究		計
				競争的 資金による 研究	競争的 資金以外の 研究	
光科	1 (1) ※1	2 (1) ※2	2	0	0	5 (2)
機械電子科	0	1	2	0	0	3
材料科	1	1	1	0	4	6
繊維高分子材料科	1	0	0	0	1	2
合計	3 (1)	4 (1)	5	0	5	17 (2)

()内は内数

※1 工業技術研究所が統括して、浜松においても実施

※2 県単独研究の課題について、個人向け資金(科研費)を活用

d 令和4年度研究課題名一覧
 (a) 工業技術研究所研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門署	備考
新成長戦略研究			
継続 R2～	マリンバイオ産業を振興するための、海洋由来微生物を活用した新たな食品開発	食品科	
継続 R1～	人とコミュニケーションを図る次世代車載装置用樹脂レンズの開発	照明音響科	
新規	設備、モノ、ヒトの統合的データ分析による生産性の効率化	機械電子科	
新規	静岡発ドライマンナンを用いた培養肉の開発	食品科	チャレンジ研究 枠
県単独研究			
継続 R2～	セルロースナノファイバーによる香り成分の徐放機構の解明及び放散制御技術の開発	食品科	科学研究費助成事業 (学振)
継続 R3～	バイオマスプラスチックへのめっき技術の開発	金属材料科	
継続 R3～	豆乳タンパク質の新たな視点による挙動解析と濃縮技術開発	食品科	科学研究費助成事業 (学振)
継続 R3～	微細気泡散気方式を利用した省スペース型排水処理装置の開発	環境エネルギー科	
継続 R3～	介護サービスの質の向上を目指したトイレ介助機器の開発	ユニバーサルデザイン科	
継続 R3～	居住空間における木材・木製品等の変色に関する研究	工芸科	
継続 R3～	県産材の屋外使用に向けた防腐・防蟻処理技術の開発	工芸科	
新規	摩擦攪拌接合を適用した半熔融成形鋳物継手の技術開発	金属材料科	
新規	カーボンニュートラルに貢献するリサイクル樹脂複合材の開発	化学材料科	
新規	自動車用途向けCNFオレフィン系樹脂の機械的物性向上及び成形性の安定化	化学材料科	
新規	機械学習によるBRDFの高分解能化手法の開発	照明音響科	科学研究費助成事業 (学振)
新規	抗炎症効果のある伊豆特産サクラ葉抽出物の素材化と作用機序解析	食品科	
一般共同研究			
継続 R2～	静岡県地域企業等へのIoT導入強化に関する研究	機械電子科	つながる工場テ ストベッド事業 (産総研)

新・継 開始年	課題名	担当部門署	備考
継続 R3～	アルミニウム鋳造品用異種素材の固相接合技術の研究開発	金属材料科	次世代自動車技術革新対応促進助成事業（財団）
新規	資源循環型システムを施行した樹脂複合材のテラヘルツ波による非破壊検査手法の開発	化学材料科	
受託研究（競争的資金による研究）			
継続 R2～	複数場の同時制御プロセスによるリサイクル可能な超軽量マルチ部材の開発	金属材料科	先端企業育成プロジェクト推進事業（県新産課）
継続 R2～	フレキシブル面光源の性能評価のための光学特性測定に関する国際標準化	照明音響科	国際標準化事業（経産省）
新規	エアコンの省エネ性能を躍進する軽量高剛性スクロールの量産化システムの開発	金属材料科	成長産業戦略的育成事業助成事業 事業化推進助成事業（財団）
受託研究（競争的資金以外の研究）			
新規	ポリプロピレン（PP）/CNF複合材への高密着なめつき技術の開発	金属材料科	
新規	蒸留所から発生する高濃度廃液を利用した高効率メタン発酵手法の開発	環境エネルギー科	
新規	長期の連続式メタン発酵試験によるサプリメント製造残渣の適性評価	環境エネルギー科	

注）学振：（独）日本学術振興会、産総研：（国研）産業技術総合研究所、財団：（公財）静岡県産業振興財団、経産省：経済産業省、県新産課：静岡県新産業集積課

(b) 沼津工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
継続 R2～	マリンバイオ産業を振興するための海洋由来微生物を活用した新たな食品開発	バイオ科	
一般共同研究			
継続 R3～	本県独自の清酒用種麹の開発フローの構築	バイオ科	
継続 R3～	二軸引張試験を活用した難成形材プレスシミュレーションの高精度化	機械電子科	
受託研究（競争的資金以外の研究）			
新規	国産高麗人参エキスの微生物発酵による有効成分変換機構の解明	バイオ科	

(c) 富士工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
新規	プラスチック資源循環実現のためのCNF複合樹脂リサイクル技術の開発	CNF科	政策課題枠
県単独研究			
新規	加温処理による紙の低密度化に関する研究	製紙科	
新規	プラズマ照射によるクロム酸フリーめっき技術の開発	機械電子科	
一般共同研究			
継続 R3～	深層学習を用いた画像解析による牛群中での子牛の疾病検知システムの開発	機械電子	科学研究費助成事業（学振）
新規	廃棄衣料をリサイクルするための製紙技術の開発	製紙科	
新規	マイクロ波減圧乾燥によるCNF濃縮技術の開発	CNF科	
新規	リファイナーを用いた低コストCNF製造技術の開発	CNF科	
新規	自動車用途向けCNFオレフィン系樹脂の機械的物性向上及び成形性の安定化	CNF科	

注) 学振：(独)日本学術振興会

(d) 浜松工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
継続 R2～	新成長分野発展に貢献する軽量高強度材料(CFRP)の高効率成形技術の確立	繊維高分子材料科	
継続 R3～	人とコミュニケーションを図る次世代車載装置用樹脂レンズの開発	光科	
新規	積層造形を活用した新たなものづくり技術の開発に向けた調査研究	材料科	政策課題枠
県単独研究			
継続 R2～	車載機器EMC試験における測定値のサイト間比較による測定信頼性の向上	機械電子科	
継続 R3～	多波長イメージングによる高速表面粗さ測定法の開発	光科	科学研究費助成事業(学振)
新規	EV向けコネクタ・スイッチ用めっきの特性向上に関する研究	材料科	
新規	レーザーピーニングのデータベースの構築	光科	
一般共同研究			
継続 R3～	高周波焼入ロボットの研究開発	機械電子科	産学官連携研究開発助成事業(財団)
継続 R3～	めっきを利用した鉄-アルミニウム接合技術の開発	材料科	助成研究一般発展型(東海財団)
新規	中赤外線レーザーによる樹脂成形品切断技術の開発	光科	
新規	繊維への微細マーキングの高速化	光科	
新規	IoT・機械学習を活用した長期稼働機器の遠隔診断技術の開発	機械電子科	
受託研究(競争的資金以外の研究)			
新規	生分解性プラスチックの紡糸条件の検討と海洋生分解性の評価に関する研究	繊維高分子材料科	
新規	粉末冶金用金属粉末の粉体特性評価	材料科	
新規	撥液めっきにおけるめっき金属種の検討	材料科	
新規	輸送機器用部品向け結晶華飾処理技術の開発	材料科	
新規	蓄熱材の熱物性評価	材料科	

注) 学振：(独)日本学術振興会、経産省：経済産業省、JST：(国研)科学技術振興機構、財団：(公財)静岡県産業振興財団、東海財団：(一財)東海産業技術振興財団

(イ) 外部研究員招へい事業

(目的)

職員の高度技術分野の研究開発能力を向上させ、高度技術関連の研究開発の円滑な推進を図るために、外部研究員を招へいしている。

(実績・計画)

実績及び計画は下表のとおりである。

	令和3年度		令和4年度(7月31日現在)	
	人数	指導時間	人数	指導時間
工業技術研究所	12	81	3(8)	10(48)
沼津工業技術支援センター	6	26	0(6)	0(27)
富士工業技術支援センター	3	37	2(3)	4(35)
浜松工業技術支援センター	5	46	3(6)	10(56)
合計	26	190	8(23)	24(166)

※ 括弧内は計画

a 令和3年度外部研究員
 (a) 工業技術研究所外部研究員

氏名	所属	専門	指導を受ける内容	指導時間
□□□□	田中特許事務所	特許	特許制度・意匠制度・著作権・商標制度について、税関の水際対策について講義	10
□□□	ND精工株式会社	機械工学、光学測定	積分球システムについての説明と測定演習測定誤差に関する講義	10
□□□□	実践女子大学	食品加工学	生豆乳の凍結融解実験、これまでの研究足跡と現在の研究活動について	3
□□□□□	一般社団法人静岡県発明協会	知的財産	特許公報の概要、新規性・進歩性の考え方	2
□□□□	常葉大学	栄養化学、食品機能学	アミノ酸・有機酸等の食品成分の機器分析	6
□□□	福井大学	無機材料、無機工業材料	樹脂改質方法と樹脂めっき技術について	4
□□□□	大阪大学大学院	材料工学	樹脂改質方法と樹脂めっき技術について	4
□□□□	関東学院大学	材料工学	樹脂改質方法と樹脂めっき技術について	4
□□□□	マイクロトラック・ベル株式会社	多孔質体の解析理論	多孔質体の吸着理論、実データ解析、装置を用いた実習	6
□□□□	株式会社イセンシャル	電気回路設計	電気回路シミュレーションソフトの使い方・演習、マイクログリッドの説明と実証実験、研究についての意見交換	10
□□□□	フリーランス	AR モバイルアプリ開発	AR オブジェクトの作成・表示、3Dオブジェクトビューワの作成、深度情報の取得について	14
□□□□	株式会社テクノベル	樹脂の押出混練	混練機の基礎と運用について	8
合計 10 人			合計 81 時間	

(b) 沼津工業技術支援センター外部研究員一覧

氏名	所属	専門	指導を受ける内容	指導時間
□□□□□	呉工業高等専門学校	環境都市工学	ゲノム編集技術について	3
□□□	東京農業大学	醸造学	酒類製造技術及び関連試験手法について	6
□□□□	東京農業大学	醸造学	種麴の開発、麴菌の育種について	3
□□□□	東北大学	生体適合性材料	医療用材料の加工技術、鍛造加工	7
□□□□	東京農工大学大学院	塑性加工法	リンク機構式2軸引張試験機、難成形材料の2軸引張試験について	4
□□□□	理化学研究所	バイオエンジニアリング	三次元内部構造顕微鏡について	3
合計 6 人			合計 26 時間	

(c) 富士工業技術支援センター外部研究員一覧

氏名	所属	専門	指導を受ける内容	指導時間
□□□	(一社) 静岡県紙パルプ技術協会	製紙工学	段ボール古紙を用いたトイレットペーパー開発に関して、これまでの研究結果や実験方法、今後の進め方等について	12
□□□□	東京農工大学大学院	紙パルプ科学、セルロース科学、ナノ材料学	加熱情勢がパルプ・紙に及ぼす影響について、ヘミセルロースに関する基礎及び分析法、	12
□□□	沼津工業高等専門学校	振動工学、信号処理技術	深層学習を用いた異常検知、OpenPoseを用いたモーションキャプチャ、牛のセンサーデータの収集、AutoMLを用いた機械学習	13
合計 3 人			合計 37 時間	

(d) 浜松工業技術支援センター外部研究員一覧

氏名	所属	専門	指導を受ける内容	指導時間
□□□□	静岡文化芸術大学	CAD/CAM	Solidworks による 3DCAD の操作方法と造形、3次元形状の精密測定技術、	24
□□□□	今田技術士事務所	着色材料	眼鏡レンズレーザー染色の原理、凝集ムラ低減方法、染色性向上方法、染料の消化温度、染色時のひずみについて	4
□□□□	福島テック	高分子材料の成形・加工技術	チョップド UDO テープの圧縮成形技術及び形状と成形品の関係、ゴルフヘッドへの CF の適用について	8
□□□□	大阪大学	レーザー工学	眼鏡レンズレーザー染色の条件・制御方法について、A-STEP トライアウト研究成果に関して指導・今後の提案	4
□□□□	スギテクノ	電子回路、デジタル信号処理、コンピュータソフトウェア	AutoML の効果的な活用方法について	6
合計 5 人			合計 46 時間	

b 令和4年度外部研究員（7月31日現在）

(a) 工業技術研究所外部研究員

氏名	所属	専門	指導を受ける内容	指導時間 (計画)
□□□□□	ありなす	分析化学、複合材料、高分子	赤外分光分析を用いた高分子材料の評価法	(4)
□□□□	鳥取大学	糖質化学、糖鎖の化学合成、糖鎖の単離と構造決定	食品・天然物の糖鎖分析に関する手法について	4
□□□□	静岡大学	木材及びその接着技術	ダンピング試験機による木材接着評価について	3 (12)
□□□□□	早稲田大学	人間生活工学、安全人間工学、経営システム工学	安全人間工学の理論と技術	3
□□□□	関東学院大学	材料工学	高密着な樹脂めっき作製方法について	(8)
□□□□	常葉大学	栄養化学、食品機能学	アミノ酸の成分分析	(4)
□□□□	静岡県立大学	食品工学	クリープメーターによる食品の堅さ測定について	(4)
□□□□	静岡大学	地球微生物学	水素回収のメカニズム解明及び分散型エネルギー生産システムについて	(8)
合計 3 人 (計画 8 人)			合計 10 時間 (計画 47 時間)	

(b) 沼津工業技術支援センター外部研究員一覧

氏名	所属	専門	指導を受ける内容	指導時間 (計画)
□□□	(独) 酒類総合研究所	応用微生物学	醸造用酵母に関するゲノム解析及び育種手法について	(3)
□□□□	サレジオ工業高等専門学校	生体高分子材料	生体高分子材料の成型方法及び医療機器への応用について	(4)
□□□	東京農業大学	醸造学	酒類製造技術及び関連試験手法について	(6)
□□□□	東京農業大学	醸造学	製麴試験について	(3)
□□□□	東北大学	生体適合性材料	医療用材料の加工技術について	(4)
□□□□	静岡大学大学院	塑性加工	二軸及び単軸引張試験結果に基づく降伏局面の作成	(7)
合計 0 人 (計画 6 人)			合計 0 時間 (計画 27 時間)	

(c) 富士工業技術支援センター外部研究員一覧

氏名	所属	専門	指導を受ける内容	指導時間 (計画)
□□□	沼津工業高等専門学校	振動工学、信号処理技術	PyTorchの基礎、牛の疾病検知に関する研究、深層学習・機械学習の手法について	(12)
□□□	(一社)静岡県紙パルプ技術協会	製紙工学	研究成果の講評と今後の展開の相談(低密度化の構造的理解、抄紙プロセスへの影響、パルプ繊維の加温処理中の変化)	(7)
□□□□	東京農工大学大学院	紙パルプ科学、セルロース科学、ナノ材料学	加温処理による紙の低密度化に関する指導、製紙概要	4 (16)
合計 2 人 (計画 3 人)			合計 4 時間 (計画 35 時間)	

(d) 浜松工業技術支援センター外部研究員一覧

氏名	所属	専門	指導を受ける内容	指導時間 (計画)
□□□□	福井大学大学院	光学関係	変位・ひずみを光学的に非接触で計測する技術の指導	(5)
□□□□	EMCDOC	EMC 関連	車載機器の EMC 測定試験のノウハウについて	(6)
□□□□	近畿大学	金属材料	金属 3D プリンタの造形と評価方法	3 (12)
□□□□	兵庫県立大学	金属粉末	金属粉末の作製と評価方法	3 (9)
□□□□	福島テック	高分子材料、複合材料	高分子材料の成形加工技術	(12)
□□□□	理化学研究所	高分子材料	高分子材料の成形加工技術	4 (12)
合計 3 人 (計画 6 人)			合計 10 時間 (計画 56 時間)	

(ウ) 特許等の登録及び出願

令和4年7月31日現在出願中の特許等は17件、登録は41件

a 研究所及び各支援センターの出願及び登録件数

	出願中件数	登録件数
工業技術研究所	10	22 ¹⁾
沼津工業技術支援センター	1	1
富士工業技術支援センター	1	3
浜松工業技術支援センター	5 ²⁾	15 ³⁾
合計	17	41

1) 意匠登録2件を含む。(内1件は外国での意匠登録)

2) 外国で特許出願中の4件を含む。

3) 外国登録特許6件を含む。

b 令和3年度及び令和4年度の特許等出願、登録及び消滅件数

	令和3年度			令和4年度(7月31日現在)		
	出願件数	登録件数	消滅件数	出願件数	登録件数	消滅件数
工業技術研究所	2	2	3	0	1	0
沼津工業技術支援センター	1	0	0	0	0	0
富士工業技術支援センター	0	0	2	0	0	0
浜松工業技術支援センター	0	1	0	0	0	0
合計	3	3	5	0	1	0

c 特許等出願・登録の内訳

(a) 工業技術研究所が所有する特許等一覧表

(令和4年7月31日現在)

種別	出願年月日	出願番号	登録年月日	登録番号等	発明の名称	備考
特許	H15. 3. 19	2003-76529	H19. 3. 16	第 3928058 号	給湯器のリモコン装置	共同
特許	H15. 4. 16	2003-111211	H20. 11. 7	第 4213985 号	めっき処理システム	共同
特許	H18. 1. 10	2006-2927	H20. 2. 22	第 4084821 号	アルミニウム合金鋳造素材の製造方法	共同
特許	H18. 3. 31	2006-97778	H26. 1. 10	第 5445886 号	改質された固体表面を形成する方法および改質された固体表面	県単
特許	H18. 4. 19	2006-115842	H23. 11. 4	第 4852679 号	チェックアウト装置	共同
特許	H18. 8. 31	2006-235622	H23. 12. 16	第4882058号	作業支援装置	共同
特許	H18. 8. 31	2006-235623	H24. 8. 3	第5050170号	作業支援装置	共同
特許	H18. 8. 31	2006-235624	H23. 12. 16	第4882059号	袋詰め作業台	共同
特許	H20. 12. 10	2008-313874	H25. 12. 20	第5438954号	入浴用リフト装置	共同
特許	H21. 5. 14	2009-117449	H26. 7. 18	第5578463号	湿球温度と WBGT の予測方法、WBGT 計、および熱中症危険度判定装置	県単
特許	H22. 1. 6	2010-855	H26. 9. 5	第5604877号	体躯接触具	共同
特許	H22. 9. 6	2010-198731	H27. 4. 10	第5724102号	室内照度シミュレーション方法およびシステム	共同
特許	H24. 4. 4	2012-85130	H28. 12. 2	第6048639号	マットレスの製造方法及びマットレスの設計方法	共同
特許	H24. 9. 3	2012-193633	H29. 2. 10	第6086677号	揮発性成分の計測方法及び装置	共同
特許	H28. 3. 30	2016-69585	R2. 8. 14	第6749554号	弾性構造体の製造方法	共同
特許	H28. 8. 3	2016-152600	R2. 9. 7	第6759494号	吸音パネル	共同
特許	H29. 6. 30	2017-129696	—	—	香料組成物並びにその製造方法並びに化粧品	共同
特許	H29. 7. 28	2017-146065	—	—	熱可塑性複合樹脂、該樹脂を用いた3Dプリンタ用フィラメント及びそれらの製造方法	共同
特許	H29. 9. 1	2017-168394	R1. 12. 27	第6634579号	セルロースナノファイバー濃縮、乾燥品の製造方法とセルロースナノファイバー再分散液の製造方法	共同
特許	H30. 3. 7	2018-40490	—	—	活性炭の製造方法	共同
特許	H30. 3. 7	2018-40491	—	—	活性炭の製造方法	共同
特許	R1. 9. 25	2019-174106	R3. 9. 8	6941263	セルロースナノファイバー濃縮、乾燥品の製造方法とセルロースナノファイバー再分散液の製造方法	共同

(b) 沼津工業技術支援センターが所有する特許等一覧表

(令和4年7月31日現在)

種別	出願年月日	出願番号	登録年月日	登録番号等	発明の名称	備考
特許	H28. 2. 17	2016-27547	R2. 6. 15	第6716814号	伸縮セルモジュールおよび緩衝デバイス	共同
特許	R3. 6. 30	2021-108277	—	—	摩擦係数測定方法およびシミュレーション方法、摩擦係数測定装置およびシミュレーション装置、摩擦係数測定プログラムおよびシミュレーションプログラム	県単

注) 県単：県単独出願、共同：企業等との共同出願

(c) 富士工業技術支援センターが所有する特許等一覧表

(令和4年7月31日現在)

種別	出願年月日	出願番号	登録年月日	登録番号等	発明の名称	備考
特許	H23. 3. 25	2011-68446	H27. 4. 10	第5725339号	熱板溶着用治具およびその製造方法、金属部材	共同
特許	H26. 1. 23	2014-10328	H30. 10. 26	第6421304号	撥水性を有する多孔質材及びこれを用いた音響透過材	共同
特許	H27. 9. 26	2015-189029	R2. 2. 7	第6656513号	生体情報監視システム	共同
特許	H31. 2. 21	2019-28955	—	—	セルロースナノファイバーを含んだ紙とセルロースナノファイバーを含んだ紙の製造方法	共同

注) 共同：企業等との共同出願

(d) 浜松工業技術支援センターが所有する特許等一覧

(令和4年7月31日現在)

種別	出願年月日	出願番号	登録年月日	登録番号等	発明の名称	備考
特許	H17. 3. 31	2005-102818	H23. 8. 12	第 4799893 号	被加工糸のレーザーマーキング方法及び装置	共同
特許	H18. 7. 7	2006-188703	H23. 7. 15	第 4782626 号	レーザーマーキング方法	共同
特許	H20. 3. 31	2008-89869	H26. 2. 7	第 5467670 号	染色方法及び染色装置	共同
特許	H21. 8. 10	2009-185647	H21. 12. 25	第 4430131 号	レーザー溶融接合用ベルト素材及びレーザー接合方法	共同
特許	H22. 1. 26	2010-548511	H26. 5. 30	第 5548886 号	レーザーマーキング方法	共同
特許	H24. 6. 4	2012-126739	H28. 9. 23	第 6010349 号	染色方法及び染色装置	共同
特許	H26. 4. 23	2014-088824	H29. 9. 15	第 6205674 号	微細繊維の製造方法	共同
特許	H28. 6. 20	2016-121855	R2. 7. 13	第 6733904 号	焼結体およびその製造方法	共同
特許	H29. 2. 6	2017-19162	R3. 12. 24	第 6999273 号	染色装置及び染色方法	共同
特許	R1. 7. 30	2019-140233	—	—	染色装置及び染色方法	共同
特許 (欧州)	H21. 3. 23	09728217. 2	H24. 6. 20	EP2261419B1	染色方法及び染色装置	共同
特許 (米国)	H22. 9. 21	12/933, 801	H29. 1. 3	9, 534, 344	染色方法及び染色装置	共同
特許 (米国)	H22. 1. 26	13/145, 847	H28. 8. 16	9, 415, 463	レーザーマーキング方法	共同
特許 (中国)	H22. 1. 26	201080005649 . 2	H27. 9. 30	102300717. B	レーザーマーキング方法	共同
特許 (欧州)	H24. 6. 4	12171233. 5	H26. 10. 16	EP2532781B1	染色方法及び染色装置	共同
特許 (米国)	H30. 1. 3	15/861136	R3. 1. 12	10, 889, 935	染色方法及び染色装置	共同
特許 (米国)	R2. 12. 3	17/110767	—	—	染色方法及び染色装置	共同
特許 (欧州)	R1. 7. 30	20188556. 3	—	—	染色方法及び染色装置	共同
特許 (中国)	R1. 7. 30	202010744402 . 8	—	—	染色方法及び染色装置	共同
特許 (タイ)	R1. 7. 30	2001004258	—	—	染色方法及び染色装置	共同

注) 共同：企業等との共同出願

イ 技術相談等

(ア) 技術相談

(目的)

中小企業が直面している生産技術の問題や新素材・新製品開発、先端技術応用など広い範囲にわたり現場あるいは所内において技術指導を実施する。

(実績)

令和3年度及び令和4年度（7月31日現在）の実績は下表のとおりである。

	工業技術研究所		沼津工業技術支援センター		富士工業技術支援センター		浜松工業技術支援センター		合計	
	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4
技術相談	14,369	4,874	2,533	1,029	4,024	1,342	11,089	4,097	32,015	11,342
実地指導	787	419	125	74	163	114	165	71	1,240	678
合計	15,156	5,293	2,658	1,103	4,187	1,456	11,254	4,168	33,255	12,020

a 工業技術研究所の相談件数

所 属	金属材料科		化学材料科		機械電子科		照明音響科	
年 度	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4
技術相談	1,253	474	2,384	883	1,275	391	1,601	598
実地指導	39	21	55	35	70	21	19	8
合計	1,292	495	2,439	918	1,345	412	1,620	606
所 属	食品科		環境エネルギー科		エシオナルデザイン科		工芸科	
年 度	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4
技術相談	2,200	769	1,241	345	1,960	560	2,168	740
実地指導	177	100	273	86	79	60	34	60
合計	2,377	869	1,514	431	2,039	620	2,202	800
所 属	その他		合計					
年 度	R3	R4	R3	R4				
技術相談	287	114	14,369	4,874				
実地指導	41	28	787	419				
合計	328	142	15,156	5,293				

b 沼津工業技術支援センター相談件数

所 属	バイオ科		機械電子科		その他		合計	
	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4
技術相談	311	251	2,143	727	79	51	2,533	1,029
実地指導	60	66	52	5	13	3	125	74
合 計	371	317	2,195	732	92	54	2,658	1,103

c 富士工業技術支援センター相談件数

所 属	製紙科		C N F 科		機械電子科		その他	
	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4
技術相談	1,778	569	767	193	1,417	529	62	51
実地指導	27	23	68	30	50	29	18	32
合 計	1,805	592	835	223	1,467	558	80	83
所 属	合計							
年 度	R3	R4						
技術相談	4,024	1,342						
実地指導	163	114						
合 計	4,187	1,456						

d 浜松工業技術支援センター相談件数

所 属	光科		機械電子科		材料科		繊維高分子材料科	
	R3	R4	R3	R4	R3	R4	R3	R4
技術相談	859	195	3,494	1,560	4,952	1,620	1,350	601
実地指導	15	8	25	7	69	33	22	16
合 計	874	203	3,519	1,567	5,021	1,653	1,372	617
所 属	その他		合計					
年 度	R3	R4	R3	R4				
技術相談	434	121	11,089	4,097				
実地指導	34	7	165	71				
合 計	468	128	11,254	4,168				

(イ) 依頼試験、機器使用及び研修施設等使用

(目的)

企業からの依頼により、製品及び原材料などの各種試験・分析・測定などを行い、試験成績書を発行する。また、企業自ら研究所の設備機器を利用して試験を行う。

(実績)

令和3年度及び令和4年度（7月31日現在）の実績は下表のとおりである。

a 依頼試験の件数及び収入額

	令和3年度		令和4年度	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
依頼試験	40,802	42,779,150	16,634	12,390,190

b 機器使用及び研修施設等使用の時間数及び収入額

		令和3年度		令和4年度	
		時間数	金額(円)	時間数	金額(円)
機器使用		74,669	85,711,180	16,812	27,926,250
研修施設等使用	研修施設	406	579,750	133	204,850
	無響室	252	960,000	87	326,250
	電波暗室	542	3,780,800	259	1,800,050
	車載機器用EMS電波暗室	258	1,393,200	144	777,600
	車載機器用EMI電波暗室	744	3,777,400	308	1,555,400
	BCI試験室（シールドルーム）	256	998,400	107	417,300
	車載機器試験用シールドルーム	232	904,800	60	288,600
合計		77,359	98,105,530	17,910	33,296,300

c 依頼試験内訳（工業技術研究所及び工業技術支援センターの合計）

（令和4年度は7月31日まで）

		令和3年度		令和4年度	
		件数	金額(円)	件数	金額(円)
1 分析	定性分析	1,659	8,947,650	588	3,066,450
	定量分析	653	3,398,190	234	942,840
2 工業用材料	材料強度試験	1,868	4,095,670	180	403,660
	長期性能試験	32,393	7,790,520	14,634	3,536,510
	特殊試験	1,249	8,934,570	212	1,045,980
3 木材工業	木材試験	45	285,370	27	195,750
	塗料試験	30	42,120	4	5,720
	製品試験	442	1,646,610	135	553,800
4 化学工業	金属表面処理試験	77	380,010	16	50,120
	プラスチック及びゴム試験	0	0	0	0
	微生物試験	8	37,350	0	0
	セラミックス試験	0	0	0	0
	熱勘定試験	0	0	0	0
5 機械金属工業	精密測定	234	825,760	31	102,210
	機械器具の検査及び試験	184	1,024,880	191	1,057,820
	金属試験	674	2,548,110	147	587,450
	電気試験	0	0	0	0
6 包装材料	包装材料試験	23	30,590	0	0
7 繊維工業	繊維材料試験	1	3,570	1	3,570
	編織試験	45	144,300	46	124,200
	染色試験	0	0	0	0
	整理仕上加工試験	0	0	0	0
8 製紙工業	原材料試験	30	373,400	19	236,210
	紙質試験	302	782,290	54	160,620
	製紙及び紙加工試験	8	65,520	6	65,520
9 加工	塗装加工	0	0	0	0
	木竹材加工	0	0	1	3,230
10 設計及び調整	機械等の設計及び調整	277	1,143,970	77	231,280
	繊維デザイン	0	0	0	0
	商業及び工業デザイン	46	168,760	1	3,530
11 写真及び複写		532	95,240	28	12,740
12 成績書の複本		22	14,700	2	980
合 計		40,802	42,779,150	16,634	12,390,190

(a) 工業技術研究所の依頼試験実績

(令和4年度は7月31日まで)

		令和3年度		令和4年度	
		件数	金額(円)	件数	金額(円)
1 分析	定性分析	303	3,110,310	110	883,120
	定量分析	399	1,169,350	167	480,820
2 工業用材料	材料強度試験	1,482	3,368,950	93	188,820
	長期性能試験	6,664	1,334,180	8,228	1,938,480
	特殊試験	1,091	7,476,470	185	823,440
3 木材工業	木材試験	45	285,370	27	195,750
	塗料試験	30	42,120	4	5,720
	製品試験	442	1,646,610	135	553,800
4 化学工業	金属表面処理試験	13	94,770		
	プラスチック及びゴム試験				
	微生物試験				
	セラミックス試験				
	熱勘定試験				
5 機械金属工業	精密測定	3	3,420	4	4,560
	機械器具の検査及び試験				
	金属試験	32	199,580	18	120,960
	電気試験				
6 包装材料	包装材料試験				
7 繊維工業	繊維材料試験				
	編織試験				
	染色試験				
	整理仕上加工試験				
8 製紙工業	原材料試験				
	紙質試験				
	製紙及び紙加工試験				
9 加工	塗装加工				
	木竹材加工			1	3,230
10 設計及び調製	機械等の設計及び調製	1	20,510	1	20,140
	繊維デザイン				
	商業及び工業デザイン	46	168,760	1	3,530
11 写真及び複写		32	960		
12 成績書の複本					
合 計		10,583	18,921,360	8,974	5,222,370

(b) 沼津工業技術支援センターの依頼試験実績

(令和4年度は7月31日まで)

		令和3年度		令和4年度	
		件数	金額(円)	件数	金額(円)
1 分析	定性分析	34	196,520	6	33,420
	定量分析	22	82,340	11	45,680
2 工業用材料	材料強度試験	16	38,220	11	73,770
	長期性能試験	6,283	1,821,720	2,972	738,090
	特殊試験	32	158,620	5	7,050
3 木材工業	木材試験				
	塗料試験				
	製品試験				
4 化学工業	金属表面処理試験				
	プラスチック及びゴム試験				
	微生物試験	8	37,350		
	セラミックス試験				
	熱勘定試験				
5 機械金属工業	精密測定	231	822,340	27	97,650
	機械器具の検査及び試験	184	1,024,880	191	1,057,820
	金属試験	338	768,500	22	84,610
	電気試験				
6 包装材料	包装材料試験				
7 繊維工業	繊維材料試験				
	編織試験				
	染色試験				
	整理仕上加工試験				
8 製紙工業	原材料試験				
	紙質試験				
	製紙及び紙加工試験				
9 加工	塗装加工				
	木竹材加工				
10 設計及び調製	機械等の設計及び調製	2	10,980	1	5,490
	繊維デザイン				
	商業及び工業デザイン				
11 写真及び複写		128	29,140	8	1,740
12 成績書の複本					
合 計		7,278	4,990,610	3,254	2,145,320

(c) 富士工業技術支援センターの依頼試験実績

(令和4年度は7月31日まで)

		令和3年度		令和4年度	
		件数	金額(円)	件数	金額(円)
1 分析	定性分析				
	定量分析				
2 工業用材料	材料強度試験	8	19,460		
	長期性能試験	5,639	1,379,970	368	97,200
	特殊試験				
3 木材工業	木材試験				
	塗料試験				
	製品試験				
4 化学工業	金属表面処理試験				
	プラスチック及びゴム試験				
	微生物試験				
	セラミックス試験				
	熱勘定試験				
5 機械金属工業	精密測定				
	機械器具の検査及び試験				
	金属試験				
	電気試験				
6 包装材料	包装材料試験	23	30,590		
7 繊維工業	繊維材料試験				
	編織試験				
	染色試験				
	整理仕上加工試験				
8 製紙工業	原材料試験	30	373,400	19	236,210
	紙質試験	302	782,290	54	160,620
	製紙及び紙加工試験	8	65,520	6	65,520
9 加工	塗装加工				
	木竹材加工				
10 設計及び調製	機械等の設計及び調製				
	繊維デザイン				
	商業及び工業デザイン				
11 写真及び複写					
12 成績書の複本		22	14,700	2	980
合 計		6,032	2,665,930	449	560,530

(d) 浜松工業技術支援センターの依頼試験実績

(令和4年度は7月31日まで)

		令和3年度		令和4年度	
		件数	金額(円)	件数	金額(円)
1 分析	定性分析	1,322	5,640,820	472	2,149,910
	定量分析	232	2,146,500	56	416,340
2 工業用材料	材料強度試験	362	669,040	76	141,070
	長期性能試験	13,807	3,254,650	3,066	762,740
	特殊試験	126	1,299,480	22	215,490
3 木材工業	木材試験				
	塗料試験				
	製品試験				
4 化学工業	金属表面処理試験	64	285,240	16	50,120
	プラスチック及びゴム試験				
	微生物試験				
	セラミック試験				
	熱勘定試験				
5 機械金属工業	精密測定				
	機械器具の検査及び試験				
	金属試験	304	1,580,030	107	381,880
	電気試験				
6 包装材料	包装材料試験				
7 繊維工業	繊維材料試験	1	3,570	1	3,570
	編織試験	45	144,300	46	124,200
	染色試験				
	整理仕上加工試験				
8 製紙工業	原材料試験				
	紙質試験				
	製紙及び紙加工試験				
9 加工	塗装加工				
	木竹材加工				
10 設計及び調製	機械等の設計及び調製	274	1,112,480	75	205,650
	繊維デザイン				
	商業及び工業デザイン				
11 写真及び複写		372	65,140	20	11,000
12 成績書の複本					
合 計		16,909	16,201,250	3,957	4,461,970

d 機器使用等の内訳

(a) 工業技術研究所の機器使用等の実績

(令和4年度は7月31日まで)

		令和3年度		令和4年度	
		時間数	金額(円)	時間数	金額(円)
機器使用		28,885	24,627,960	2,992	6,519,070
研修施設等使用	研修施設	84	79,200	52	58,300
	無響室	71	281,250	23	86,250
合 計		29,040	24,988,410	3,067	6,663,620

(b) 沼津工業技術支援センターの機器使用等の実績

(令和4年度は7月31日まで)

		令和3年度		令和4年度	
		時間数	金額(円)	時間数	金額(円)
機器使用		7,922	6,946,120	850	1,401,110
研修施設		28	32,200	26	50,400
合 計		7,950	6,978,320	876	1,451,510

(c) 富士工業技術支援センターの機器使用等の実績

(令和4年度は7月31日まで)

		令和3年度		令和4年度	
		時間数	金額(円)	時間数	金額(円)
機器使用		5,140	9,232,930	1,253	2,725,060
研修施設		163	244,150	27	38,150
合 計		5,303	9,477,080	1,280	2,763,210

(d) 浜松工業技術支援センターの機器使用等の実績

(令和4年度は7月31日まで)

		令和3年度		令和4年度	
		時間数	金額(円)	時間数	金額(円)
機器使用		32,722	44,904,170	11,717	17,281,010
研修施設等使用	研修施設	131	224,200	28	58,000
	無響室	181	678,750	64	240,000
	電波暗室	542	3,780,800	259	1,800,050
	車載機器用EMS電波暗室	258	1,393,200	144	777,600
	車載機器用EMI電波暗室	744	3,777,400	308	1,555,400
	B C I 試験室(シールドルーム)	256	998,400	107	417,300
	車載機器試験用シールドルーム	232	904,800	60	288,600
合 計		35,066	56,661,720	12,687	22,417,960

(ウ) 研究会の育成

(目的)

講習会や講演会、工場見学会等を通じて技術向上に努める研究会を支援する。

a 工業技術研究所（令和4年7月31日現在）

研究会名	発足年月	会員数
静岡県プレス技術研究会	昭和44年 6月	37社
静岡県食品技術研究会	昭和47年12月	111社・個人・団体
静岡県資源環境技術研究会	昭和44年11月	74社・人
静岡県プラスチック技術研究会	平成 2年 6月	33社
静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会	平成 7年 5月	36社

b 沼津工業技術支援センター（令和4年7月31日現在）

研究会名	発足年月	会員数
静岡県東部精密技術研究会	平成 2年 6月	36社・団体
静岡県バイオテクノロジー研究会	昭和59年 9月	28社

c 富士工業技術支援センター（令和4年7月31日現在）

研究会名	発足年月	会員数
静岡県紙パ技術研究フォーラム	昭和62年 9月	10社

d 浜松工業技術支援センター（令和4年7月31日現在）

研究会名	発足年月	会員数
浜松機械技術研究会	昭和39年12月	62社
表面技術研究会	昭和60年 8月	38社
浜松繊維加工技術研究会	平成 7年 7月	13社
浜松品質工学会	平成 9年 3月	25人
浜松EMC研究会	平成20年 6月	21社
浜松地域CFRP事業化研究会	平成21年 4月	47社
はままつ超ハイテン研究会	平成28年 6月	13社

(エ) 研修生の受入れ

(目的)

民間及び学生、大学院生等を研修生として受け入れることで、民間企業等の人材育成、学生の就業体験、試験研究機関の研究業務活性化及び大学教育の一層の拡充を図るとともに、県内産業の発展及び本県の科学技術進展に寄与する。

(実績)

令和3年度及び令和4年度の研修生受入れは以下のとおりである。

単位：人

	令和3年度			令和4年度 (7月31日現在)		
	一般 研修	就業体験 研修	連携 大学院	一般 研修	就業体験 研修	連携 大学院
工業技術研究所	6	0	0	4	0	0
沼津工業技術 支援センター	2	0	0	0	0	0
富士工業技術 支援センター	0	0	0	0	0	0
浜松工業技術 支援センター	0	0	0	0	0	0
合計	8	0	0	4	0	0

a 令和3年度研修生の詳細
 (a) 工業技術研究所の研修生

一般研修			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
食品科	海洋性乳酸菌を用いた食品開発	令和3年4月1日～ 令和4年3月31日	県内大学 □□□□
食品科	シカ肉のアミノ酸測定、GCにおい嗅ぎ分析、走査型電子顕微鏡による組織観察	令和3年7月1日～ 令和3年3月31日	県内大学 □□□□
食品科	マグロ肉の脂肪酸分析	令和3年8月23日～ 令和4年3月31日	県内大学 □□□□□
工芸科	タッピング法による木質材料の損失係数測定法の習得	令和3年6月1日～ 令和4年3月31日	県内大学 □□□□
工芸科	タッピング法による木質材料の損失係数測定法の習得	令和3年6月1日～ 令和4年3月31日	県内大学 □□□□
工芸科	タッピング法による木質材料の損失係数測定法の習得	令和3年6月1日～ 令和4年3月31日	県内大学 □□□□
就業体験研修（インターンシップ）			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			
連携大学院関係			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			

(b) 沼津工業技術支援センターの研修生

一般研修			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
バイオ科	リアルタイム PCR の操作および解析手法の習得、遺伝子抽出操作および検量線の作成方法の習得	令和3年5月24日～ 令和4年2月22日	県内企業 □□□□
バイオ科	リアルタイム PCR の操作および解析手法の習得、遺伝子抽出操作および検量線の作成方法の習得	令和3年5月24日～ 令和4年2月22日	県内企業 □□□□
就業体験研修（インターンシップ）			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			
連携大学院関係			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			

b 令和4年度研修生の詳細（7月31日現在）

(a) 工業技術研究所の研修生

一般研修			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
食品科	シカ肉のアミノ酸測定、GC におい嗅ぎ分析、走査型電子 顕微鏡による組織観察	令和4年4月1日～ 令和5年3月31日	県内大学 □□□□
食品科	発酵により産生される化合物 の同定並びに有用性の評価	令和4年5月1日～ 令和5年3月31日	県内大学 □□□□
工芸科	接着性能に関する評価方法を 取得する他	令和4年5月1日～ 令和5年3月31日	県内大学 □□□
工芸科	接着性能に関する評価方法を 取得する他	令和4年5月1日～ 令和5年3月31日	県内大学 □□□□
就業体験研修（インターンシップ）			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			
連携大学院関係			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			

ウ 技術情報提供

(目的)

当研究所の業務内容又は職員が収集した技術情報及び研究成果等を、県内企業に役立つ形で提供する。

(実績)

令和3年度及び令和4年度実績は以下のとおりである。

(ア) 研究報告関係

(令和4年度は7月31日現在)

項目等	令和3年度	令和4年度
研究成果事例集	展示会での閲覧及び協議会等で配布 ホームページに掲載	展示会での閲覧及び協議会等で配布 ホームページに掲載
工業技術研究所研究報告	1,100部	800部 (予定)

(イ) 研究発表会関係

項目等		令和3年度	令和4年度	
研究発表会	工業技術研究所	開催年月日	R4.3.10-11	R5.3(予定)
		参加者数	195人	—
		要旨集	Webで公開	—
	沼津工業技術支援センター	開催年月日	工技研と合同開催	R5.3(予定)
		参加者数	—	—
		要旨集	—	—
	富士工業技術支援センター	開催年月日	R4.3.9	R5.3(予定)
		参加者数	74人	—
		要旨集	Webで公開	—
浜松工業技術支援センター	開催年月日	R3.3.8	R5.3(予定)	
	参加者数	87人	—	
	要旨集	Webで公開	—	

a 令和3年度の研究発表会の実績

(a) 令和3年度静岡県工業技術研究所研究発表会の実績（令和4年3月10日－令和4年3月11日）

テーマ名	発表者
コミュニケーションライティングの実用化に向けた映像投影技術の開発と評価方法の確立	豊田敏裕
図形を投影するマイクロプリズムアレイの設計	志智 亘
機械学習による反射率測定データの高分解能化 －畳み込みフィルタを使ったアップサンプリング手法－	田代知範
非接触表面形状測定機における傾斜面の測定性能評価 －白色干渉計と共焦点顕微鏡の特性比較－	柳原 亘
高精度自由曲面測定機を用いた非球面レンズの測定事例	大澤洋文
工業技術研究所のIoT導入支援について －静岡県IoT推進ラボ第三期の紹介－	赤堀 篤
中小企業へのIoT導入支援の実例 －モデル工場の導入事例－	岩崎清斗
ポータブルIoT導入パックの開発（Ⅱ）	望月建治
製造現場のWeb会議に活用できるリモート3Dスキャンの提案	岩崎清斗
新成長分野発展に貢献する軽量高強度材料（CFRP）の高効率成形技術の確立	鈴木重好
新成長分野発展に貢献する軽量高強度材料（CFRP）の高効率成形技術の確立 －UDテープ製造技術の確立－	森田達弥
「次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発」の概要	大竹正寿
PP/CNF複合材料における水分含有率と線膨張係数のCNF濃度依存性	稲葉彩乃
PPの形態が無水マレイン酸変性PPを含むCNF複合材料の物性に及ぼす影響	菅野尚子
PP/CNF複合材料を用いた自動車部品の試作	小泉雄輔
PP/CNF複合材への高密着めっきの作製 －エッチング後の表面性状と密着力の関係－	田中宏樹
ポリ乳酸へのめっき技術の開発	望月玲於
異なる成形法で作製したアルミニウム合金の摩擦攪拌接合継手の組織と特性	岩澤 秀
セルロースナノファイバーによる香り成分の徐放機構の解明及び放散制御技術の開発	石橋佳奈
静岡県内の鹿肉の食利用	渡瀬隆也
サーキュラー・ファンクショナル・フードの開発 －水産未活用資源抽出物がマウス免疫系に与える影響－	長房秀幸
海洋由来乳酸菌を用いた発酵甘酒の開発Ⅰ －メタボロミクス解析による有用乳酸菌探索－	浅沼俊倫
海洋由来乳酸菌を用いた発酵甘酒の開発Ⅱ －甘酒用乳酸菌の選抜とその性質－	袴田雅俊
海洋由来乳酸菌を用いた発酵甘酒の開発Ⅲ －GC-MSによる香気特性解析－	松野正幸
安定した清酒醸造に向けた麴の品質評価について －分析事例の紹介－	鈴木雅博
海洋由来微生物を活用したサワービールの開発Ⅰ －最適乳酸菌の選抜－	横澤 賢

海洋由来微生物を活用したサワービールの開発Ⅱ ー最適酵母の選抜及びベンチスケール試作ー	勝山 聡
駿河湾由来のカロテノイド生産微生物の探索	室伏敬太
小型メタン発酵プラントを用いた高温メタン発酵試験への対応	井口大輔
トイレ介助機器開発に向けた利用現場調査	易 強
看護師にとって使いやすいカフ圧管理機器の開発	大賀久美
居住空間での木製品の変色要因の検討	渡邊雅之
県産材の屋外使用に向けた防腐・防蟻処理技術の開発	菊池圭祐

(b) 令和3年度富士工業技術支援センター研究発表会の実績（令和4年3月9日）

テーマ名	発表者
「次世代自動車軽量化のための CNF 複合材の開発」の概要	大竹正寿
CNF 利用製品の開発支援 ～関連機器のご紹介～	中島大介
X線CTによる樹脂/CNF複合材の分散性評価	田中翔悟
新型リファイナーを用いたCNF製造の試み	河部千香
段ボール古紙を使用した「茶色いトイレトペーパー」の開発	齊藤和明
プラズマ照射による樹脂表界面の新規改質技術の開発	高木 誠

(c) 令和3年度浜松工業技術支援センター研究発表会の実績（令和4年3月8日）

テーマ名	発表者
新成長分野発展に貢献する軽量高強度材料（CFRP）の高効率成形技術の確立	鈴木重好
新成長分野発展に貢献する軽量高強度材料（CFRP）の高効率成形技術の確立 －UDテープ製造技術の確立－	森田達弥
レーザーピーンフォーミングにおける走査方法の影響	鷺坂芳弘
カラーイメージングによる表面粗さ測定法の開発 －品質工学による測定系の最適化－	中野雅晴
マイクロプリズムアレイによる図形投影光学素子の設計・検討	志智 亘
装飾用3価クロムめっきの評価解析	長田貴将
材料評価・解析における技術継承を目指した技術資料集の作成 －判定・判別が難しいFT-IRデータの読み方－	吉岡正行
X線を利用した鉄鋼の硬さ測定法の注意点	小粥基晴
計測用X線CTの活用事例	太田幸宏
非接触三次元ひずみ・変形測定機及び適用事例の紹介 －自動車樹脂部品熱変形及びプレス機変形測定への応用－	長津義之
車載機器EMCテストサイトを紹介します －アンテナ照射試験が垂直100V/mで20MHzから試験可能です－	上野貴康

(ウ) 研究所情報等の提供

(令和4年度は7月31日現在)

刊行物名	令和3年度		令和4年度	
	発行部数 (部)	ホームページ 掲載	発行部数 (部)	ホームページ 掲載
工業技術研究所各科紹介チラシ	—	○	—	○
沼津工業技術支援センターニュース	—	—	—	○ (予定)
富士工業技術支援センターニュース	—	○	—	—
富士工業技術支援センター利用案内	—	—	—	—
浜松工業技術支援センターニュース	2,000	○	1,500	○
静岡県工業技術情報	—	○	—	○
静岡県工業技術研究所年報	—	○	—	○ (予定)
静岡県工業技術研究所メールマガジン (2週間に1回発行)	26回	—	12回	—

(エ) 研究所の事業広報等

(目的)

一般県民に当研究所の業務を理解してもらうとともに、科学技術への興味を持ってもらうため、見学者の受入れや「工業技術研究所フェア」を開催する。

(実績)

令和3年度及び令和4年度の実績・結果は以下のとおりである。

(令和4年度は7月31日現在)

項 目 等			令和3年度	令和4年度
見学の受入	工業技術研究所		499人	157人
	沼津工業技術支援センター		29人	3人
	富士工業技術支援センター		143人	11人
	浜松工業技術支援センター		403人	117人
「県民の日」	工業技術研究所	開催年月日	R3.8.6—R3.8.31	R4.8.5 (予定)
		参加者数	—	—
研究所 フェア	沼津工業技術 支援センター	開催年月日	R3.8.20	R4.8.5 (予定)
		参加者数	—	—
及び センター フェア	富士工業技術 支援センター	開催年月日	R3.8.61	R4.8.5 (予定)
		参加者数	—	—
	浜松工業技術 支援センター	開催年月日	R3.8.20	R4.8.5 (予定)
		参加者数	20人	—

※ 令和3年度は、4機関合同でオンライン開催とし、静岡・富士はYoutubeでの動画公開、沼津はオンライン技術教室、浜松はオンライン施設公開を行った。

(オ) 講習会等

(目的)

企業経営者及び技術者に新技術等の情報を提供するよう、外部講師の招へい等により、講習会及び講演会を実施する。

(実績)

令和3年度及び令和4年度の実績は以下のとおりである。(令和4年度は7月31日現在)

	令和3年度		令和4年度	
	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数
工業技術研究所	21	968	5	168
沼津工業技術支援センター	3	82	3	63
富士工業技術支援センター	8	166	1	17
浜松工業技術支援センター	19	462	4	51
合計	51	1,678	13	299

a 令和3年度

(a) 工業技術研究所の実績

年月日	件名	会場	参加人数 ^(※)	共催等
R3.6.22	わかりやすいIoTを用いた現場実装講座	工業技術研究所	10	静岡県IoT活用研究会
R3.9.16		浜松工業技術支援センター	8	
R3.12.17		沼津工業技術支援センター	8	
R3.7.16	食品技術研修会	第268回 Web開催及び札の辻クロスホール	92	静岡県食品技術研究会 静岡県食品産業協議会
R3.10.26		第269回 Web開催	102	静岡県食品技術研究会 静岡県食品産業協議会
R4.1.13		第271回 Web開催及び札の辻クロスホール	99	静岡県食品技術研究会、静岡県食品産業協議会、静岡大学食品・生物産業創出拠点
R4.3.16		第272回 Web開催	86	静岡県食品技術研究会 静岡県食品産業協議会
R3.7.29	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会講習会	第1回 Web開催	15	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会
R3.10.1		第2回 Web開催	16	
R3.12.7		第3回 Web開催	14	
R3.2.16		第4回 Web開催	19	

年月日	件名	会場	参加人数 ^{※)}	共催等
R3. 9. 8	IoT大学連携講座	Web開催	10	静岡県IoT活用研究会
R3. 12. 10		浜松工業技術支援センター	10	
R4. 2. 24		Web開催	8	
R3. 9. 29	第10回排水処理技術セミナー	Web開催	94	静岡県資源環境技術研究会 静岡県環境保全協会 静岡市資源環境保全推進協力会
R3. 12. 3	第25回分析技術研修会	Web開催	51	静岡県資源環境技術研究会、(一財)静岡県計量協会環境計量証明部会
R3. 12. 22	技術講習会「微小部蛍光X線分析の基礎と実際」	工業技術研究所	28	静岡県プラスチック技術研究会、静岡県資源環境技術研究会
R3. 12. 22	分析技術講習会	工業技術研究所	31	静岡県プラスチック技術研究会、静岡県資源環境技術研究会
R4. 2. 1	静岡県つながる工場テストベッド事業お披露目会	Web開催	70	(国研)産業技術総合研究所
R4. 2. 22	脱炭素経営に関する学習会「中小企業における脱炭素経営の取組み方」	Web開催	58	静岡県資源環境技術研究会、静岡県プラスチック技術研究会
R4. 3. 24	化粧品開発につながる基礎研究フォーラム	Web開催	139	静岡県立大学、(公財)静岡県産業振興財団
実施回数 21回			参加者数 968人	

※) Web開催については、接続端末数

(b) 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	件名	会場	参加人数 ^{※)}	共催等
R3. 6. 30	令和3年度静岡県バイオテクノロジー研究会特別講演会	Web開催	21	静岡県バイオテクノロジー研究会
R3. 11. 18	令和3年度静岡県バイオテクノロジー研究会見学会	Web開催	20	静岡県バイオテクノロジー研究会
R3. 11. 30	セミナー「5軸加工と金属積層でモノづくりの高度化を加速する」	沼津工業技術支援センター	41	沼津センター協議会、静岡県東部精密技術研究会
実施回数 3回			参加者数 82人	

※) Web開催については、接続端末数

(c) 富士工業技術支援センターの実績

年月日	件名	会場	参加人数 ^{※)}	共催等
R3. 6. 11	静岡県紙パ技術研究フォーラム勉強会	富士工業技術支援センター	6	静岡県紙パ技術研究フォーラム
R3. 7. 15	紙関連技術講演会	富士工業技術支援センター	第1回	(一社)静岡県紙パルプ技術協会
R3. 12. 1			第2回	
R4. 3. 15			第3回	
R3. 11. 29	非接触温度センサー活用セミナー	Web開催	8	富士センター協議会機械・電子部会
R4. 2. 8	CFRP 材料の開発動向と量産成形の最前線	Web開催	27	富士センター協議会機械・電子部会
R4. 3. 1- R4. 3. 31	ふじのくにCNFプロジェクトCNF技術者研修	富士工業技術支援センター	11	富士センター協議会
R4. 3. 18	CNF実践セミナー	富士工業技術支援センター	9	富士センター協議会、富士市CNFプラットフォーム、富士市
実施回数 8回			参加者数 166人	

※) Web開催については、接続端末数

(d) 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	件名	会場	参加人数 ^{※)}	共催等
R3. 4. 22	浜松品質工学研究会定例会	Web開催	15	浜松品質工学研究会
R3. 5. 27			13	
R3. 6. 17			15	
R3. 7. 29			16	
R3. 8. 26			18	
R3. 9. 28			12	
R3. 10. 28			20	
R3. 11. 25			12	
R3. 12. 23			12	
R4. 1. 27			22	
R4. 2. 24			16	
R4. 3. 24			23	
R3. 6. 8			パラメータ設計入門講座	
R3. 7. 15	目視外検査の自動化	Web開催	67	浜松機械技術研究会
R3. 7. 15	ロボット導入を成功させるために重要なこと	Web開催	28	浜松機械技術研究会
R3. 11. 1	Solidworks活用セミナー	Web開催	31	浜松機械技術研究会
R3. 11. 12	はままつ超ハイテン研究会講演会2021「超ハイテン材料による自動車づくりの新潮流」	静岡大学工学部佐鳴会館	49	はままつ超ハイテン研究会
R3. 12. 1	切削工具の基礎	Web開催	67	浜松機械技術研究会
R3. 12. 9	3Dスキャンデータの形状・幾何公差検査	Web開催	8	浜松機械技術研究会
実施回数 19 回			参加者数 462 人	

※) Web開催については、接続端末数

b 令和4年度（7月31日現在）

(a) 工業技術研究所の実績

年月日	件名	会場	参加人数 ^{※)}	共催等
R4. 4. 26	光学部品計測セミナー	工業技術研究所	20	工業技術研究所
R4. 4. 27	走査型電子顕微鏡の概要と活用事例	工業技術研究所	36	静岡県プレス技術研究会
R4. 6. 7	わかりやすいIoTを用いた現場実装講座	工業技術研究所	10	静岡県IoT導入推進コンソーシアム
R4. 6. 23	食品技術研修会 第272回例会	Web開催及び札の辻クロスホール	91	静岡県食品技術研究会、静岡県食品産業協議会
R4. 7. 27	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会第1回講習会	Web開催	11	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会
実施回数 5 回			参加者数 168 人	

※) Web開催については、接続端末数

(b) 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	件名	会場	参加人数 ^{※)}	共催等
R4. 6. 30	令和4年度静岡県バイオテクノロジー研究会特別講演会	Web開催	22	静岡県バイオテクノロジー研究会
R4. 7. 15	セミナー「IoT技術の導入で変わるモノづくり現場」	沼津工業技術支援センター	28	沼津センター協議会
R4. 7. 22	ひずみゲージ活用セミナー	沼津工業技術支援センター	13	沼津センター協議会
実施回数 3 回			参加者数 63 人	

※) Web開催については、接続端末数

(c) 富士工業技術支援センターの実績

年月日	件名	会場	参加人数	共催等
R4. 5. 26	静岡県紙パ技術研究フォーラム技術勉強会	富士工業技術支援センター	17	静岡県紙パ技術研究フォーラム
実施回数 1 回			参加者数 17 人	

(d) 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	件名	会場	参加人数※)	共催等
R4. 5. 20	浜松品質工学研究会定例会	Web開催	15	浜松品質工学研究会
R4. 6. 17			15	
R4. 7. 29			12	
R4. 7. 15	パラメータ設計入門講座	Web開催	9	浜松品質工学研究会
実施回数 4 回			参加者数 5 1 人	

※) Web開催については、接続端末数

(カ) 講師活動

(目的)

企業経営者及び技術者等に新技術等の情報を提供するよう、講習会及び講演会等で職員が講演を実施する。

(実績)

令和3年度及び令和4年度の実績は以下のとおりである。(令和4年度は7月31日現在)

	令和3年度		令和4年度	
	活動回数	参加者数	活動回数	参加者数
工業技術研究所	25	595	2	39
沼津工業技術支援センター	6	264	3	68
富士工業技術支援センター	2	57	0	0
浜松工業技術支援センター	15	853	0	0
合計	48	1,769	5	107

a 令和3年度

(a) 工業技術研究所の実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数※	主催	講師氏名			
R3. 6. 22	わかりやすいIoTを用いた現場実装講座	工業技術研究所	10	静岡県IoT活用研究会	岩崎清斗			
R3. 8. 5	総合食品学講座	静岡産業経済会館	10	(公財)静岡県産業振興財団	長房秀幸 石橋佳奈			
R3. 9. 30					食品の劣化と保存のポイント	19	浅沼俊倫	
					食品の機器分析実習(LC)		10	松野正幸
					食品の機器分析実習(GC)			渡瀬隆也
R3. 10. 5					小型食品加工機器実習	9	浅沼俊倫	
					食品の機器分析実習(LC)		10	松野正幸
					食品の機器分析実習(GC)			渡瀬隆也
R3. 10. 12					小型食品加工機器実習	7	14	山下里恵 渡瀬隆也 浅沼俊倫 松野正幸 袴田雅俊 長房秀幸 石橋佳奈
					微生物基礎実習			13
R3. 10. 14					微生物基礎実習	13		
R3. 8. 24	IoT入門研修会～導入事例の紹介と機器の実演～	Web開催	21	北海道立工業技術センター	赤堀 篤			
R3. 8. 27	第68回日本食品科学工学会大会シンポジウム「地域食品研究のエクセレンス」	Web開催	70	日本食品科学工学会大会	渡瀬隆也			
R3. 9. 8	IoT大学連携講座(実装成果発表会in静岡)	Web開催	10	静岡県IoT活用研究会	岩崎清斗			
R3. 9. 16	わかりやすいIoTを用いた現場実装講座	浜松工業技術支援センター	8	静岡県IoT活用研究会	岩崎清斗			
R3. 9. 17	ものづくり研究部会	Web開催	20	日本生理人類学会	大賀久美			
R3. 11. 13	フードサイエンス講座(微生物に関連したトラブルシューティング、発酵食品開発ストーリー)	工科短期大学校静岡岡キャンパス	15	静岡県立工科短期大学校	袴田雅俊			

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数※	主催	講師氏名
R3. 11. 19	第11回産業振興フェア inいわた 静岡県研究所と企業のオンライン交流会	Web開催	44	磐田市 磐田商工会議所 磐田市商工会	田中佳伸 中山 洋
R3. 12. 8	地域食材学B	Web開催	106	静岡県立大学	渡瀬隆也
R3. 12. 10	IoT大学連携講座（実装成果発表会in浜松）	浜松工業技術支援センター	10	静岡県IoT活用研究会	岩崎清斗
R3. 12. 13	第31回日本MRS年次大会 エコものづくりセッション	Web開催	50	日本MRS	菊池圭祐
R3. 12. 15 ～17	静岡県創エネ・蓄エネ技術開発推進協議会 令和3年度視察会	Web開催	5	静岡県創エネ・蓄エネ技術開発推進協議会	太田良和弘
R3. 12. 17	わかりやすいIoTを用いた現場実装講座	沼津工業技術支援センター	8	静岡県IoT活用研究会	竹居 翼
R4. 2. 1	静岡県つながる工場テストベッド事業お披露目会	Web開催	70	工業技術研究所	赤堀 篤
R4. 2. 8	照明技術の基礎知識と目視検査への活用セミナー	Web開催	37	公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構、フォトンバレーセンター	田代知範
R4. 2. 24	IoT大学連携講座（実装成果発表会in沼津）	Web開催	8	静岡県IoT活用研究会	竹居 翼
活動回数 25回			参加者数 595人		

※) Web開催については、接続端末数

(b) 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数※	主催	講師氏名
R3. 10. 1	幾何公差（実践活用編）	沼津工業技術支援センター	2	工科短期大学校沼津キャンパス	本多正計 船井 孝
R3. 10. 21	三次元測定機の取扱について	南部化成（株）裾野事業所	3	南部化成（株）裾野事業所	船井 孝
R3. 11. 19	第11回産業振興フェア in いわた 静岡県研究所と企業のオンライン交流会	Web開催	44	磐田市 磐田商工会議所 磐田市商工会	鬼久保郁雄
R3. 11. 30	セミナー「5軸加工と金属積層でモノづくりの高度化を加速する」	沼津工業技術支援センター	41	沼津センター協議会	是永宗祐
R4. 2. 23	令和3年度誉富士セミナー	静岡県酒造組合	114	静岡県誉富士普及推進協議会	勝山 聡
R4. 3. 4	第70回水産加工技術セミナー／マリンオープンイノベーション機構研修会	静岡県水産・海洋技術研究所	60	静岡県、（一財）マリンオープンイノベーション機構	岩原健二
活動回数 6 回			参加者数 264 人		

※) Web開催については、接続端末数

(c) 富士工業技術支援センターの実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数※	主催	講師氏名
R3. 10. 28	センター入居企業支援連絡会	Web開催	13	ファルマバレーセンター	大竹正寿
R3. 11. 19	第11回産業振興フェア in いわた 静岡県研究所とのオンライン交流会	Web開催	44	磐田市 磐田商工会議所 磐田市商工会	飯野 修
活動回数 2 回			参加者数 57 人		

※) Web開催については、接続端末数

(d) 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数※	主催	講師氏名
R3. 6. 10	経営システム工学	静岡大学	39	静岡大学	針幸達也
R3. 6. 25	ポスター作成スキルアップ講座	浜松工業高校	20	浜松工業高校	吉岡正行
R3. 6. 25	令和3年度新任研究員交流会	工業技術研究所	25	産業イノベーション推進課	田光伸也
R3. 6. 29	第41回機器分析講座（赤外分光法の基礎と応用）	Web開催	150	静岡理工科大学	吉岡正行
R3. 9. 8	レーザー中核人材 映像実習1	Web開催	40	光産業創成大学院大学	山下清光
R3. 9. 21 ～22	デジタル化等促進在職者訓「3D-CAD&3Dプリンター活用法」	浜松工業技術支援センター	5	浜松技術専門校（テクノカレッジ）	小粥基晴 長田貴将
R3. 9. 30	デジタル化等促進在職者訓「TIG溶接と試験・検査法」	浜松工業技術支援センター	3	浜松技術専門校（テクノカレッジ）	植松俊明
R3. 10. 20	レーザー中核人材 映像実習2	FUSE（ザザシティー浜松内）	40	光産業創成大学院大学	鷺坂芳弘 山下清光
R3. 11. 18	中部レーザ応用技術研究会第112回研究会	Web開催	33	中部レーザ応用技術研究会	鷺坂芳弘
R3. 11. 19	第11回産業界振興フェアinいわた 静岡県の研究所とのオンライン研究会	Web開催	44	磐田市 磐田商工会議所 磐田市商工会	宮原鐘一
R3. 12. 13	令和3年度第4回企業懇話会	Web開催、磐田商工会議所	32	磐田商工会議所	吉岡正行
R4. 1. 12	光だから出来る3次元計測器を使いこなそう	森町総合体育館館森アリーナ	52	浜松地域イノベーション推進機構 フotonバレーセンター	渥美博安
R4. 2. 10	残留応力Webinar	Web開催	230	ルステック工業株式会社	小粥基晴
R4. 3. 3 ～25	JKA導入機器普及講習セミナー	Web(ふじのくにネットテレビ・Youtube)	105	浜松工業技術支援センター	吉岡正行
R4. 3. 15	塑性加工学会レーザ加工分科会第1回技術セミナー 医療材料加工分科会第6回研究会	Web開催	35	塑性加工学会レーザ加工分科会、医療材料加工分科会	鷺坂芳弘
活動回数 15 回			参加者数 853 人		

※) Web開催については、接続端末数

b 令和4年度（7月31日現在）

(a) 工業技術研究所の実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名
R4. 6. 7	わかりやすいIoTを用いた現場実装講座	工業技術研究所	10	静岡県IoT導入推進コンソーシアム	岩崎清斗
R4. 7. 28	総合食品学講座 D1 (機能性食品パイロットプラントの紹介・視察)	工業技術研究所	29	公益財団法人静岡県産業振興財団	山下里恵 松野正幸 袴田雅俊 長房秀幸 石橋佳奈 堀池隼雄
活動回数 2 回			参加者数 39 人		

(b) 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名
R4. 5. 15	門池地区連合自治会講演会	門池地区センター	10	門池地区連合自治会	勝山 聡
R4. 6. 7	第6回静岡クラフトビールの会	御殿場高原ビール株式会社グランテール	45	静岡クラフトビールの会	横澤 賢
R4. 7. 22	ひずみゲージ活用セミナー	沼津工業技術支援センター	13	沼津工業技術支援センター	是永宗祐
活動回数 3 回			参加者数 68 人		

(キ) 委員派遣

(目的)

委嘱を受けた場合に職員を委員として出席させ、知見や新技術の情報等を提供する。

(実績)

令和3年度及び令和4年度の実績は以下のとおりである。(令和4年度は7月31日現在)

	令和3年度		令和4年度	
	派遣回数	延べ派遣者数	派遣回数	延べ派遣者数
工業技術研究所	69	69	22	22
沼津工業技術 支援センター	26	36	10	21
富士工業技術 支援センター	31	31	20	20
浜松工業技術 支援センター	105	105	25	27
合計	231	241	77	90

a 令和3年度

(a) 工業技術研究所の実績

年月日	委員会等の名称	会場	主催	派遣者氏名
R3. 4. 15	経営革新計画承認審査	県庁	静岡県	鈴木敬明
R3. 4. 21	(公社) 日本鑄造工学会軽合金研究部会	(Web)	(公社) 日本鑄造工学会軽合金研究部会	岩澤 秀
R3. 5. 21	静岡情報産業協会総会	(Web)	静岡県情報産業協会	杉山直人
R3. 5. 27	機能性表示食品等研究開発推進事業審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産業振興財団	杉山直人
R3. 6. 3	令和3年度総合食品学講座推進委員会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産業振興財団	山下里恵
R4. 3. 2				
R4. 6. 3	令和3年度食品等開発助成事業及び化粧品等研究開発推進事業審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産業振興財団	山下里恵
R3. 6. 7	ISO国内委員会	(Web)	(一財) 日本規格協会	柳原 亘
R3. 8. 27				
R3. 12. 15				
R4. 3. 1				
R3. 6. 8	新成長産業戦略的育成事業助成事業審査会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産業振興財団	杉山直人
R3. 6. 9	令和3年度大学発ベンチャー事業化加速・推進事業費補助金審査委員会	(Web)	静岡県	田中伸佳
R3. 6. 11	加工食品輸出スタートアップ支援事業助成金審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産業振興財団	杉山直人
R3. 6. 14	医療機器産業基盤強化推進事業助成金審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産業振興財団	杉山直人
R3. 6. 17				
R3. 6. 15	静岡市産学共同研究委託事業選考審査会	静岡市産学交流センター	静岡市産学交流センター	鈴木敬明
R3. 6. 16	次世代自動車技術革新対応促進助成事業審査会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産業振興財団	杉山直人
R3. 6. 18	(公社) 日本鑄造工学会東海支部工場見学会	(Web)	(公社) 日本鑄造工学会東海支部工場見学会	岩澤 秀
R3. 7. 29				
R3. 10. 1				

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 11. 26	(公社) 日本鑄造工学会東海支部工場見学部会	(Web)	(公社) 日本鑄造工学会東海支部工場見学部会	岩澤 秀
R3. 12. 24				
R4. 2. 9				
R4. 2. 23				
R3. 6. 23	静岡市産学交流センター運営委員会	静岡市産学交流センター	静岡市産学交流センター	鈴木敬明
R3. 6. 24	静岡県環境放射能測定技術会	(Web)	静岡県	杉山直人
R3. 9. 8				
R3. 11. 18				
R3. 6. 25	日本食品科学工学会中部支部運営委員会	(Web)	日本食品科学工学会中部支部	渡瀬隆也
R3. 12. 11		グランシップ		
R3. 7. 1	静岡地域産学連携コーディネータ会議 (第1回)	静岡市産学交流センター	静岡市産学交流センター	鈴木敬明
R3. 7. 2	文献情報委員会	(Web)	(一財) 法人照明学会	田代知範
R3. 8. 2				
R3. 8. 25				
R3. 10. 29				
R3. 12. 17				
R4. 3. 1				
R3. 7. 9	令和3年度海洋技術開発促進事業費補助金審査委員会	(Web)	静岡県	田中伸佳
R4. 3. 15				
R3. 7. 13	令和3年度マリンオープンイノベーション事業化促進事業費補助金審査委員会	(Web)	静岡県	田中伸佳
R4. 3. 14				
R3. 8. 4	JIS原案作成委員会	(Web)	(一社) 日本規格協会	柳原 亘
R3. 9. 30				
R3. 12. 24				

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R4. 3. 29	JIS原案作成委員会	(Web)	(一社) 日本規格協会	柳原 亘
R3. 8. 16	令和3年度食品等開発助成事業審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産業振興財団	山下里恵
R3. 8. 20	令和3年度水素エネルギー関連ビジネス参入支援業務委託 提案選定委員会	(Web)	エネルギー政策課	太田良和弘
R3. 9. 3	2021グッドデザインしずおか一次審査	(Web)	静岡県	杉山直人
R3. 11. 22	2021グッドデザインしずおか二次審査			
R3. 9. 13	令和3年度 グリーン科学技術研究所外部評価委員会	(Web)	グリーン科学技術研究所	杉山直人
R3. 9. 14	県科学技術振興表彰選考委員会	(Web)	静岡県	杉山直人
R3. 9. 27	「ふじのくに未来のエネルギー推進会議」総合戦略検討作業部会	(Web)	エネルギー政策課	太田良和弘
R3. 11. 17				
R4. 1. 12				
R3. 10. 21	令和3年度第69回静岡県学生児童発明くふう展	静岡県産業経済会館	(一社) 法人静岡県発明協会	多々良哲也
R3. 11. 16	静岡理科大学30周年記念式典	ホテルクラウンパレス浜松	静岡理科大学	杉山直人
R3. 11. 17	県科学技術振興表彰式	県庁	静岡県	杉山直人
R3. 11. 18	静岡県環境放射能測定技術会	(Web)	静岡県	杉山直人
R3. 11. 30	経営革新承認審査	県庁	静岡県	鈴木敬明
R3. 12. 7	静岡市産学交流センター運営委員会	静岡市産学交流センター	静岡市産学交流センター	鈴木敬明
R4. 1. 10	焼津水産ブランド審査会(専門審査員)	(Web)	焼津商工会議所	山下里恵
R4. 1. 19	医療用ガウン生産実証業務委託企画提案審査委員会	県庁	静岡県	杉山直人
R4. 1. 26	第1回関東技術交流分科会幹事会	(Web)	関東技術交流分科会	鈴木敬明
R4. 2. 15	マリンオープンイノベーションプロジェクト戦略推進委員会	(Web)	静岡県	杉山直人
R4. 2. 16	新成長産業戦略的育成事業助成事業推進会議	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産業振興財団	杉山直人

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R4. 2. 17	フーズ・ヘルスケア オープンイノベーションプロジェクト戦略検討委員会	(Web)	静岡県	杉山直人
R4. 2. 18	静岡市福祉用具検討会	(書面)	静岡市	小松 剛
R4. 2. 24	新成長産業戦略的育成事業助成事業継続審査会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産業振興財団	杉山直人
派遣回数 69 回			派遣人数 (延べ) 67 人	

(b) 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 5. 7	令和3年静岡県杜氏研究会	ホテルアソシア静岡	静岡県杜氏研究会	勝山 聡 鈴木雅博
R3. 5. 14	令和3年静岡県清酒鑑評会	沼津工業技術支援センター	静岡県酒造組合	大川勝正 勝山 聡 鈴木雅博
R3. 5. 19	令和3年度富士山麓産業支援ネットワーク会議	(Web)	(公財) ふじのくに医療城下町推進機構ファルマバレーセンター	飯塚千佳世
R3. 7. 27				
R3. 9. 30				
R3. 11. 17				
R4. 1. 19				
R4. 3. 18				
R3. 5. 21	令和3年静岡県清酒鑑評会表彰式	ホテルアソシア静岡	静岡県酒造組合	大川勝正 鬼久保郁雄 勝山 聡 鈴木雅博
R3. 6. 17	静岡県誉富士普及推進会議幹事会	(書面)	静岡県誉富士普及推進会議幹事会	大川勝正
R3. 6. 18	2021年度富士山麓アカデミック&サイエンスフェア実行委員会	(Web)	2021年度富士山麓アカデミック&サイエンスフェア実行委員会	飯塚千佳世
R4. 1. 25				
R3. 7. 2	令和3年度静岡化学工学懇話会	(書面)	静岡化学工学懇話会	鬼久保郁雄
R3. 7. 30	静岡県創業者育成施設使用承認資格審査に係る事前ヒアリング	(Web)	静岡県	鬼久保郁雄 飯塚千佳世
R3. 10. 5				
R3. 10. 25				
R3. 8. 12	静岡県東部地域技術振興協議会	(書面)	静岡県東部地域技術振興協議会	大川勝正
R3. 8. 19	静岡県創業者育成施設使用室変更に係るヒアリング	沼津インキュベーターセンター	静岡県	鬼久保郁雄 飯塚千佳世
R3. 8. 23	静岡県創業者育成施設入居審査委員会	(Web)	静岡県	大川勝正
R3. 10. 26				

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 9. 14	静岡県科学技術振興表彰選考委員会	(Web)	静岡県	大川勝正
R3. 10. 1	令和3年度名古屋国税局酒類鑑評会品質評価会	名古屋国税局鑑定官室	名古屋国税局	勝山 聡
R3. 11. 9				
R4. 3. 15				
R4. 2. 25	令和3事務年度全国市販酒類調査	名古屋国税局鑑定官室	名古屋国税局	勝山 聡
R4. 3. 10	愛知県新酒品評会	あいち産業科学技術総合センター食品技術センター	愛知県酒造組合	勝山 聡
派遣回数 26回			派遣人数(延べ) 36人	

(c) 富士工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 4. 22	岳南地域地下水利用会議対策協議会令和3年度第1回委員・幹事合同会議	富士市役所	岳南地域地下水利用会議対策協議会	飯野修
R3. 5. 19	令和3年度富士山麓産業支援ネットワーク会議	(Web)	(公財) ふじのくに医療城下町推進機構ファルマバレー センター	三宅健司
R3. 7. 27				
R3. 9. 30				
R3. 11. 17				
R4. 1. 19				
R4. 3. 18				
R3. 6. 18	2021年度富士山麓アカデミック&サイエンスフェア実行委員会	(Web)	2021年度富士山麓アカデミック&サイエンスフェア実行委員会	三宅健司
R4. 1. 25				
R3. 8. 3	CNF活用試作品開発事業補助金審査委員会	県庁	新産業集積課	佐野禎彦
R3. 8. 3	富士市SDGsものづくり事業支援補助金審査	富士市役所	富士市	飯野 修
R3. 8. 11	富士ブランド推進会議	富士商工会議所	富士商工会議所	佐野禎彦
R3. 8. 19	県紙パルプ技術協会理事会	ホテルグランド富士	県紙パルプ技術協会	佐野禎彦
R3. 12. 15				
R4. 3. 16				
R3. 9. 14	県科学技術振興表彰審査会	(Web)	静岡県	佐野禎彦
R3. 9. 30	「紙パルプの技術」編集委員会	(書面)	(一社) 静岡県紙パルプ技術協会	杉本芳邦
R4. 2. 17				
R3. 10. 13	紙パルプ技術協会木材科学委員会	(Web)	紙パルプ技術協会	佐野禎彦
R3. 12. 7				
R4. 3. 3				

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 11. 2	富士市CNF関連産業推進懇話会	富士市役所	富士市	佐野禎彦
R3. 11. 11	富士市産業経済問題懇話会	富士商工会議所	富士市	飯野 修
R4. 3. 24				佐野禎彦
R3. 11. 22	県紙業振興大会	ホテルグランド富士	県紙業協会	佐野禎彦
R3. 12. 21	富士市立博物館協議会	富士山かぐや姫ミュージアム	富士市立博物館	佐野禎彦
R4. 3. 25				
R4. 1. 20	サンフロント21懇話会役員会	沼津リバーサイドホテル	サンフロント21懇話会	佐野禎彦
R4. 3. 14		サンフロント		
R4. 3. 28	ふじのくに先端医療総合特区地域協議会	(Web)	ふじのくに先端医療総合特区地域協議会	佐野禎彦
R4. 3. 30	富士市工業振興会議	富士市消防防災庁舎	富士市	佐野禎彦
派遣回数 31 回			派遣人数 (延べ) 31 人	

(d) 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 4. 14	電線総合技術センター適合性評価委員会	(電子的手段)	(一社) 電線総合技術センター	宮原鐘一
R3. 4. 25		(Web)		
R3. 5. 23		(Web)		
R3. 5. 30		(電子的手段)		
R3. 6. 20		(Web)		
R3. 7. 8		(電子的手段)		
R3. 7. 20		(Web)		
R3. 8. 24		(Web)		
R3. 9. 1		(電子的手段)		
R3. 9. 26		(Web)		
R3. 10. 13		(電子的手段)		
R3. 10. 17		(電子的手段)		
R3. 10. 28		(電子的手段)		
R3. 11. 11		(電子的手段)		
R3. 11. 25		(Web)		
R3. 4. 19	HFP定例会	浜松商工会議所会館	(一社) 静岡県繊維協会	鈴木一之
R3. 5. 20				
R3. 6. 22				
R3. 7. 20				
R3. 8. 24				
R3. 9. 20				
R3. 10. 18				
R3. 12. 20				
R4. 1. 17				
R4. 2. 9				
R4. 3. 14				

年月日	委員会等の名称	会場	主催	派遣者氏名
R3. 5. 12	戦略的基盤技術高度化支援事業（テーマ：難加工材の微細・高精度成形を可能にする温間順送プレス工法の開発）研究実務者会議	(株)南部製作所	(公財) 浜松地域イノベーション推進機構	木野浩成
R3. 6. 15		(Web)		
R3. 9. 21		(Web)		
R3. 10. 22		(株)南部製作所		
R3. 12. 1		(株)南部製作所		
R3. 5. 18	KECシェアードミーティング	(Web)	KEC関西電子工業振興センター	山田浩文
R3. 6. 8				
R3. 7. 7				
R3. 7. 15				
R3. 5. 20	随時級・基礎級技能検定実技試験検定委員	(株)ヤマテ工業	静岡県職業能力開発協会	田光伸也
R3. 6. 4		(株)村松製作所		
R3. 6. 7		(有)太陽メッキ工業所		
R3. 7. 12		三美鍍金工業(株)		
R3. 7. 12		丸長鍍金(株)		
R3. 7. 14		タイコエレクトロニクスジャパン合同会社		
R3. 7. 21		電化工業(株)		
R3. 7. 26		(有)鷺津メッキ工業所		
R3. 8. 19		(株)ミヤキ		
R3. 8. 25		丸長鍍金(株)浜松工場		
R3. 10. 19		三光製作(株)		
R3. 11. 2		大佑工業(株)		
R4. 1. 17		丸長鍍金(株)浜松工場		
R4. 2. 4		神谷理研(株)		
R4. 3. 22		(株)ミヤキ		

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 5. 24	A-SAP採択審査会	フotonバレーセンター	(公財) 浜松地域 イノベーション推 進機構	松田稔
R3. 8. 26		(Web)		
R3. 11. 2		フotonバレーセンター		
R3. 6. 3	戦略的基盤技術高度化支援 事業 (テーマ: 次世代自動 車向け軸付きはすば歯車の 冷間鍛造新製法にかかる研 究開発) 研究実務者会議	金田工業 (株)	(公財) 浜松地域 イノベーション推 進機構	木野浩成
R3. 9. 16		(Web)		
R3. 12. 15		金田工業(株)		
R3. 6. 9	はままつ知財研究会総会	(書面)	(公財) 浜松地域 イノベーション推 進機構	松田稔
R3. 6. 14	技術委員会 第一分科会	(Web)	中部エレクトロニ クス振興会	山田浩文
R3. 6. 16				
R3. 8. 17				
R3. 9. 14				
R3. 11. 15				
R3. 12. 16				
R3. 6. 15	静岡化学工学懇話会役員会	(書面)	静岡化学工学懇話 会	松田稔
R3. 7. 2	静岡化学工学懇話会総会	(書面)		
R3. 6. 21	令和3年度光・電子技術活用 促進事業費補助金審査会	静岡大学イノベーシ ョン社会連携推進機 構	(公財) 浜松地域 イノベーション推 進機構	宮原鐘一
R3. 8. 25		(Web)		
R3. 6. 30	令和3年度医工連携スター トアップ支援事業審査会	アクトシティ浜松 コンgresセンター	はままつ次世代 光・健康医療産業 創出拠点	宮原鐘一
R4. 2. 23	令和3年度医工連携スター トアップ支援事業成果報告 会	ホテルクラウンパレ ス浜松		
R3. 7. 16	戦略的基盤技術高度化支援 事業 (テーマ: 次世代自動 車向け軸付きはすば歯車の 冷間鍛造新製法にかかる研 究開発) 研究推進委員会	金田工業(株)引佐工場	(公財) 浜松地域 イノベーション推 進機構	木野浩成
R4. 2. 17		金田工業(株)本社		

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 7. 20	戦略的基盤技術高度化支援事業（テーマ：難加工材の微細・高精度成形を可能にする温間順送プレス工法の開発）研究推進委員会	(株)南部製作所	(公財) 浜松地域イノベーション推進機構	木野浩成
R4. 2. 16				
R3. 7. 21	試作部品等製作委託制度審査会	次世代自動車センター	(公財) 浜松地域イノベーション推進機構	松田稔
R3. 9. 9				
R3. 7. 26	静岡理科大学モータードライブ応用研究会役員会	静岡理科大学	静岡理科大学	吉岡正行
R3. 7. 30	静岡理科大学モータードライブ応用研究会総会			
R3. 7. 28	静岡理科大学金型研究会役員会及び総会	静岡理科大学	静岡理科大学	吉岡正行
R3. 8. 16	IoT通信プラットフォーム開発委託審査会	(Web)		宮原鐘一
R3. 9. 2	塑性加工学会編集委員会	(Web)	塑性加工学会	鷺坂芳弘
R3. 11. 17				
R3. 12. 26				
R4. 1. 25				
R4. 3. 21				
R4. 1. 25	塑性加工学会編集委員会リーダー会議			
R4. 3. 21				
R3. 9. 13	車載EMC計測技術開発WG	(Web)	直轄産業振興センターADOX福岡	山田浩文
R3. 11. 9				
R3. 11. 25～26				
R3. 12. 8		(Web)	KEC関西電子工業振興センター	
R4. 1. 23				
R4. 1. 25				
R4. 2. 9				

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 9. 20	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点第79回事業運営委員会 ワーキング会議	(Web)	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点	山下清光
R3. 11. 25				
R4. 1. 17				
R4. 3. 14				
R3. 9. 30	レーザー中核人材企画運営会議	(Web)	光産業創成大学院大学	鷺坂芳弘
R4. 3. 3				
R3. 11. 16	浜松ものづくりマイスター現地調査	浜松市役所	(公財)浜松地域イノベーション推進機構	松田 稔
R3. 12. 5	JIS溶接技能者評価試験立会委員	浜松技術専門校	静岡県溶接工業協同組合	木野浩成
R4. 3. 6				
R4. 3. 9	KECシェアードミーティング	(Web)	KEC関西電子工業振興センター	山田浩文
R4. 3. 22	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点 令和3年度 第1回事業運営委員会	浜松商工会議所会館	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点	山下清光
R4. 3. 23	はままつ知財研究会幹事会	アクトシティ浜松コングレスセンター	(公財)浜松地域イノベーション推進機構	松田 稔
派遣回数 105回			派遣人数(延べ)	105人

b 令和4年度（7月31日現在）

（a）工業技術研究所の実績

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R4. 4. 18	鑄造工学会 東海支部 工場見学会	(Web)	日本鑄造工学会	岩澤 秀
R4. 5. 10				
R4. 5. 23				
R4. 5. 27	静岡情報産業協会総会	(Web)	静岡県情報産業協会	杉山直人
R4. 6. 1	『シズオカ カグ アワード2022』審査	ツインメッセ静岡	静岡県家具工業組合	多々良哲也
R4. 6. 2	中小企業研究開発助成事業助成金審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産業振興財団	杉山直人
R4. 6. 3	産学共同研究委託事業選考審査会	B-nest	静岡市産学交流センター	田中伸佳
R4. 6. 14				
R4. 6. 8	次世代自動車技術革新対応促進助成事業助成金審査会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産業振興財団	杉山直人
R4. 6. 10	食品等開発助成事業・化粧品等研究開発推進事業助成金審査会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産業振興財団	油上 保
R4. 6. 14	鑄造工学会 軽合金部会	(Web)	日本鑄造工学会	岩澤 秀
R4. 6. 15	静岡エネルギー・環境懇談会総会	ホテルアソシア静岡	静岡エネルギー・環境懇談会	杉山直人
R4. 6. 16	加工食品輸出スタートアップ支援事業助成金審査会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産業振興財団	杉山直人
R4. 6. 20	文献情報委員会	(Web)	(一社) 照明学会	田代知範
R4. 6. 24	静岡市産学交流センター運営委員会	B-nest	静岡市産学交流センター	田中伸佳
R4. 6. 24	ISO国内委員会	(Web)	(一社) 日本規格協会	柳原 亘
R4. 6. 29	医療機器産業基盤強化推進事業助成金審査委員会	静岡県産業経済会館	(公財) 静岡県産業振興財団	杉山直人
R4. 7. 7	全国食品関係試験研究場所長会第1回役員会	(Web)	全国食品関係試験研究場所長会	杉山直人
R4. 7. 13	MaOI事業化助成事業審査委員会	(Web)	静岡県	油上 保
R4. 7. 15	海洋技術開発補助金審査委員会	(Web)	静岡県	油上 保
R4. 7. 19	第1部会国内小委員会	(Web)	日本照明工業会	田代知範

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R4.7.20	静岡市新商品等開発事業補助金審査会	静岡市役所	静岡市	中山 洋
派遣回数 22回			派遣人数(延べ) 22人	

(b) 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R4. 5. 10	令和4年静岡県杜氏研究会 新酒研究会	沼津工業技術支援セ ンター	静岡県杜氏研究会	勝山 聡 鈴木雅博
R4. 5. 18	令和4年静岡県清酒鑑評会	沼津工業技術支援セ ンター	静岡県酒造組合	大川勝正 勝山 聡 鈴木雅博
R4. 5. 18	令和4年度富士山麓産業支 援ネットワーク会議	(公財) ふじのくに 医療城下町推進機構 ファルマバレー セ ンター	(公財) ふじのくに 医療城下町推進 機構ファルマバレ ー センター	飯塚千佳世
R4. 7. 20		(Web)		
R4. 6. 7	第6回静岡クラフトビール の会	御殿場高原ビール グランテーブル	第6回静岡クラフ トビールの会	鬼久保郁雄 杉本芳邦 勝山 聡 横澤 賢
R4. 6. 13	令和4年静岡県清酒鑑評会 表彰式	ホテルアソシア静岡	静岡県酒造組合	大川勝正 鬼久保郁雄 杉本芳邦 勝山 聡 鈴木雅博
R4. 6. 21	静岡県誉富士普及推進会議 幹事会	(Web)	静岡県誉富士普及 推進会議幹事会	大川勝正
R4. 6. 22	静岡県創業者育成施設(沼 津インキュベートセンタ ー)使用承認資格審査に係 る事前ヒアリング	沼津工業技術支援セ ンター	静岡県	鬼久保郁雄 飯塚千佳世
R4. 6. 27	2022年度富士山麓アカデミ ック&サイエンスフェア第 1回実行委員会	(Web)	2022年度 富士山麓 アカデミック&サイ エンスフェア実 行委員会	飯塚千佳世
R4. 7. 14	静岡大学人文社会科学部教 育研究支援員	—	静岡大学人文社会 科学部	勝山 聡
派遣回数10回			派遣人数(延べ)	21人

(c) 富士工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R4. 4. 20	静岡県紙パルプ技術協会運営委員会	ホテルグランド富士	(一社) 静岡県紙パルプ技術協会	櫻川智史
R4. 4. 22	岳南地域地下水利用対策協議会令和4年度第1回委員・幹事合同会議	富士市役所	岳南地域地下水利用対策協議会	飯野 修
R4. 4. 27	富士市CNF関連産業創出事業に係るアドバイザーボード	富士市役所	富士市	櫻川智史
R4. 4. 27	富士市SDGsものづくり事業支援補助金審査委員会	富士市役所	富士市	櫻川智史
R4. 5. 11	静岡県紙パルプ技術協会第1回理事会	ホテルグランド富士	(一社) 静岡県紙パルプ技術協会	櫻川智史
R4. 5. 12	紙パルプ技術協会木材科学委員会	(Web)	(一社) 静岡県紙パルプ技術協会	櫻川智史
R4. 5. 17	静岡県紙業協会通常総会	ホテルグランド富士	(一社) 静岡県紙業協会	櫻川智史
R4. 5. 18	令和4年度富士山麓産業支援ネットワーク会議	静岡県医療健康産業研究開発センター	(公財) ふじのくに医療城下町推進機構ファルマバレーセンター	三宅健司
R4. 7. 20		(Web)		
R4. 6. 6	紙パルプ試験規格委員会	(Web)	紙パルプ技術協会	深沢博之
R4. 7. 14				
R4. 6. 7	静岡県紙パルプ技術協会総会	ホテルグランド富士	(一社) 静岡県紙パルプ技術協会	櫻川智史
R4. 6. 8	岳南地域地下水利用対策協議会	ふじさんめっせ	(一社) 静岡県紙パルプ技術協会	櫻川智史
R4. 6. 13	CNF活用試作品開発事業費補助金に係る審査委員会	(Web)	静岡県	櫻川智史
R4. 6. 13	富士ブランド推進会議	富士商工会議所	富士商工会議所	櫻川智史
R4. 6. 23	紙パルプ技術協会研究発表会審査	(Web)	紙パルプ技術協会	櫻川智史
R4. 6. 27	富士山麓アカデミック&サイエンスフェア2022第1回実行委員会	(Web)	富士山麓A&Sフェア2022実行委員会	三宅健司
R4. 6. 30	編集委員会	(書面)	紙パルプ技術協会	深沢博之
R4. 7. 6	紙パルプ技術協会木材科学委員会	(Web)	紙パルプ技術協会	櫻川智史

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R4. 7. 13	富士市SDGsものづくり 事業支援補助金審査委員会	(書面)	富士市	櫻川智史
派遣回数 20回			派遣人数(延べ) 20人	

(d) 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R4. 4. 21	随時級・基礎級技能検定実 技試験検定委員	三光製作(株)	静岡県職業能力開 発協会	田光伸也
R4. 7. 22				鈴木一之
R4. 5. 11	新規EMC規格対応WG	(Web)	KEC関西電子工業振 興センター	山田浩文
R4. 6. 10				
R4. 7. 7				
R4. 5. 17	はままつ次世代光・健康医 療産業創出拠点第79回事業 運営委員会 ワーキング会 議	浜松医科大学	はままつ次世代 光・健康医療産業 創出拠点	山下清光
R4. 7. 19				
R4. 5. 19	車載機器計測精度分析WG	(Web)	KEC関西電子工業振 興センター	山田浩文
R4. 6. 8				
R4. 7. 25				
R4. 5. 20	HFP定例会	浜松商工会議所会館	(一社) 静岡県織 維協会	鈴木重好 大木結以
R4. 6. 21				鈴木重好
R4. 7. 22				鈴木重好 大木結以
R4. 5. 20	静岡化学工学懇話会 令和 4年度役員会・総会	スズキ歴史館	静岡化学工学懇話 会	松田 稔

年月日	委員会等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R4. 5. 24	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点令和4年度第1回事業運営委員会	浜松市役所	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点	山下清光
R4. 5. 27	フotonバレーセンターA-SAP産学官金連携イノベーション推進事業採択審査会	(公財)浜松地域イノベーション推進機構 フotonバレーセンター	(公財)浜松地域イノベーション推進機構	松田 稔
R4. 6. 5	J I S 溶接技能者評価試験立会員	浜松技術専門学校	(一財)日本溶接協会 中部地区溶接技術検定委員会	木野浩成
R4. 6. 10	レーザー中核人材企画会議	(Web)	光産業創成大学院大学	鷺坂芳弘
R4. 6. 15	第1分科会	(Web)	中部エレクトロニクス振興会	山田浩文
R4. 6. 15	令和4年度光・電子活用チャレンジ事業費補助金審査会	静岡大学イノベーション社会連携推進機構	(公財)浜松地域イノベーション推進機構	宮原鐘一
R4. 7. 1	はままつ知財研究会 2022年度総会	(書面)	はままつ知財研究会	松田 稔
R4. 7. 7	令和4年度医工連携スタートアップ支援事業審査会	アクトシティ浜松	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点	宮原鐘一
R4. 7. 11	次世代自動車センター令和4年度試作品等製作委託事業第1回審査会	(公財)浜松地域イノベーション推進機構 次世代自動車センター浜松	(公財)浜松地域イノベーション推進機構	松田 稔
R4. 7. 22	2022年度先端精密技術研究会総会及び幹事会	ホテルクラウンパレス浜松	先端精密技術研究会	長谷川和宏
R4. 7. 25	令和4年度モータードライブ応用研究会総会及び役員会	ホテルクラウンパレス浜松	モータードライブ応用研究会	木野浩成
派遣回数 25 回			派遣人数 (延べ) 27 人	

(ク) 産業技術連携推進会議等への派遣

(目的)

(国研)産総研及び他都道府県公設試との協力体制を強化し、機関相互の試験研究を効果的に推進するため、職員を委員として派遣する。

(実績)

令和3年度及び令和4年度の実績は以下のとおりである。(令和4年度は7月31日現在)

	令和3年度		令和4年度	
	派遣回数	延べ派遣者数	派遣回数	延べ派遣者数
工業技術研究所	42	59	10	30
沼津工業技術支援センター	11	11	4	7
富士工業技術支援センター	8	12	3	3
浜松工業技術支援センター	20	26	6	6
合計	81	108	23	46

a 令和3年度

(a) 工業技術研究所の実績

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 4. 28	産技連 関東甲信越静地域 部会企画調整分科会	(Web)	産技連	鈴木敬明 油上 保
R3. 7. 8				
R3. 4. 26	つながる工場テストベッド 事業打合せ	(Web)	工業技術研究所	赤堀 篤
R3. 8. 31		工業技術研究所		
R3. 12. 21				
R4. 2. 1				
R3. 5. 26	産技連LS-BT分科会	(Web)	産業技術連携推進 会議	渡瀬隆也
R3. 6. 10	デザイン分科会	(Web)	山口県	小松 剛 易 強 多々良哲也
R3. 11. 11 ～12		まつもと市民芸術館	長野県	小松 剛 多々良哲也
R3. 6. 21	中部イノベネット運営委員 会	(Web)	中部イノベネット	杉山直人
R3. 7. 7	産技連東海北陸地域地域産 技連及び東海・北陸地域部 会合同総会	(Web)	産技連東海北陸地 域産技連 産技連東海・北陸 地域部会	杉山直人
R3. 7. 15	静岡県-産総研との連携に 係る連絡会議	(Web)	産総研	鈴木敬明
R3. 9. 27				
R3. 12. 8				
R4. 3. 3				
R3. 7. 21	令和3年度 関東甲信越地 区食品醸造研究会	(Web)	農研機構	袴田雅俊
R3. 8. 23	産総研企画調整分科会	(Web)	産総研	鈴木敬明
R3. 9. 24	令和3年度中部公設試験 研究機関長会・研究者表彰 式	(Web)	中部科学技術セン ター	杉山直人

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 9. 24	産業技術連携推進会議ナノテクノロジー・材料部会第15回木質科学分科会	(書面)	産業技術連携推進会議ナノテクノロジー・材料部会木質科学分科会	長澤 正
R3. 9. 27	静岡県-産総研との連携に係る連絡会議	(Web)	産総研	鈴木敬明
R3. 12. 8				
R4. 3. 3				
R3. 10. 15	産業技術連携推進会議製造プロセス部会第27回表面技術分科会	(Web)	(地独) 東京都立産業技術研究センター	田中宏樹 望月玲於
R3. 10. 22	T K F 及び M T E P 会議	(Web)	T K F、M T E P	杉山直人
R3. 10. 28 ~29	情報技術分科会音・振動研究会	(Web)	産技連	木野直樹
R3. 10. 29	産技連関東甲信越静地域部会総会	(Web)	産技連関東甲信越静地域部会	杉山直人 鈴木敬明
R3. 10. 29	全国食品関係試験研究場所長会 中部・近畿ブロック会議	(Web)	全国食品関係試験研究場所長会	杉山直人 油上 保 山下里恵
R3. 12. 24				
R3. 11. 11	産業技術連携推進会議 製造プロセス部会 第28回塗装工学分科会	(Web)	産業技術連携推進会議 製造プロセス部会塗装工学分科会	渡邊雅之
R3. 11. 11	産業技術連携推進会議 ナノテクノロジー・材料部会 第 59 回 高分子分科会	(Web)	あいち産業科学技術総合センター産業技術センター	菅野尚子 稲葉彩乃
R3. 11. 26	2021年度産業技術連携推進会議 東海・北陸地域部会 機械・金属分科会	(Web)	三重県工業研究所	長谷川和宏 岩澤 秀
R3. 12. 9	産技連 情報・電子デバイス分科会	(Web)	産技連情報・電子デバイス分科会	中山 洋
R3. 12. 9	令和3年度産業技術連携推進会議 東海・北陸地域部会 情報・電子デバイス分科会	(Web)	岐阜県産業技術総合センター	赤堀篤
R3. 12. 9	計測分科会光放射計測研究会	(Web)	産技連	豊田敏裕 田代知範 柳原 亘
R3. 12. 24	全国食品関係試験研究場所長会 中部ブロック会議	(Web)	全国食品関係試験研究場所長会	杉山直人

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R4. 1. 26	産技連関東甲信越静地域部 会第1回関東技術交流分科 会幹事会	(Web)	産技連関東甲信越 静地域部会	鈴木敬明
R4. 1. 28	令和3年度 FHCaOI産学官 金連携会議	(Web)	新産業集積課	山下里恵 浅沼俊倫
R4. 1. 28	業技術連携推進会議 環 境・エネルギー部会・分科 会・研究会合同総会	(Web)	産業技術連携推進 会議 環境・エネ ルギー部会・分科 会・研究会	太田良和弘 井口大輔
R4. 2. 1	静岡県つながる工場テスト ベッド事業お披露目会	(Web)	工業技術研究所	赤堀 篤
R4. 2. 9	第62回産技連総会	(Web)	産技連	杉山直人
R4. 3. 4	全国食品関係試験研究場所 長会総会	(Web)	全国食品関係試験 研究場所長会	杉山直人
R4. 3. 16	産技連関東甲信越静地域部 会第1回関東技術交流分科 会	(Web)	産技連関東甲信越 静地域部会	鈴木敬明
派遣回数 42回			派遣人数(延べ) 59人	

注) 産技連：産業技術連携推進会議
農研機構：(国研)農業・食品産業技術総合研究機構
産総研：(国研)産業技術総合研究所
TKF：首都圏テクノナレッジフリーウェイ
MTEP：広域首都圏輸出製品技術支援センター

(b) 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 4. 23	静岡県-産総研との連携に係る連絡会議	(Web)	産総研	鬼久保郁雄
R3. 7. 15				
R3. 8. 27				
R3. 11. 16				
R3. 12. 8				
R4. 3. 3				
R4. 3. 25				
R3. 7. 7	2021年度産技連 東海北陸地域産技連 東海・北陸地域部会総会	(Web)	東海北陸地域産技連 東海・北陸地域部会	大川勝正
R3. 9. 24	令和3年度中部公設試験研究機関長会	(Web)	中部科学技術センター	大川勝正
R3. 10. 29	産技連関東甲信越静地域部会総会	(Web)	産技連関東甲信越静地域部会 産技連 関東甲信越静地域部会 関東経産局 産総研	大川勝正
R4. 2. 9	令和3年度第62回産技連推進会議総会	(Web)	産業技術連携推進会議 事務局	大川勝正
派遣回数 11回			派遣人数(延べ) 11人	

注) 産技連：産業技術連携推進会議
産総研：(国研)産業技術総合研究所

(c) 富士工業技術支援センターの実績

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 7. 7	産技連東海北陸地域地域産技連及び東海・北陸地域部会合同総会	(Web)	産技連東海北陸地域産技連 産技連東海・北陸地域部会	佐野禎彦
R3. 9. 24	中部公設試験研究機関機関長会	(Web)	(公財) 中部科学技術センター	佐野禎彦
R3. 7. 15	静岡県-産総研との連携に係る連絡会議	(Web)	産総研	飯野 修
R3. 9. 27				
R3. 12. 8				
R4. 3. 3				
R3. 10. 29	産技連関東甲信越静地域部会総会	(Web)	産技連関東甲信越静地域部会	佐野禎彦
R3. 11. 18	令和3年度 産技連 製造プロセス部会 精密微細加工分科会 積層造形研究会	(Web)	産技連	本間信行
R3. 12. 10 ~27	産技連ナノテクノロジー・材料部会紙・パルプ分科会	(Web)	産技連ナノテクノロジー・材料部会紙・パルプ分科会	佐野禎彦 飯野修 杉本芳邦 深沢博之 齊藤和明
R4. 2. 9	産技連総会	(Web)	産技連	佐野禎彦
派遣回数 8 回			派遣人数 (延べ) 12 人	

注) 産技連：産業技術連携推進会議

産総研：(国研)産業技術総合研究所

(d) 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R3. 5. 27	産技連 繊維分科会 東海地域連絡会総会	(電子メール)	産技連ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会	鈴木一之
R3. 6. 2	第8回コンポジットハイウェイコンソーシアムカンファレンス	(Web)	コンポジットコンソーシアムハイウェイ事務局	松田 稔
R3. 6. 17	産技連 繊維分科会 総会	(電子メール)	産技連ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会	鈴木一之
R3. 6. 21	炭素繊維高度利活用技術研究会	(Web)	産技連東海・北陸地域部会 機械・金属分科会 炭素繊維高度利活用技術研究会	鈴木一之 針幸達也 鈴木重好 森田達弥 大木結以
R3. 7. 7	東海北陸地域産術連 地域部会・合同総会	(Web)	産総研中部センター	松田 稔
R3. 7. 20	CHC実務担当者WG	(Web)	コンポジットハイウェイコンソーシアム事務局	鈴木一之
R3. 9. 1				
R3. 9. 24	中部公設試験研究機関 機関長会議	(Web)	中部科学技術センター	松田稔
R3. 9. 27	静岡県-産総研との連携に係る連絡会議	(Web)	産総研	宮原鐘一
R3. 12. 8				
R3. 10. 29	東甲信越静岡地域産技連推進会議 産技連関東甲信越静岡地域部会総会	(Web)	関東経済産業局 産総研	松田 稔
R3. 11. 18 ~19	令和3年度産技連 製造プロセス部会 精密微細加工分科会 積層造形研究会	山梨県立図書館 山梨県産業技術センター	山梨県産業技術センター	木野浩成
R3. 12. 14	繊維分科会 東海地域連絡会 地域企画委員会	(電子メール)	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会	鈴木一之
R4. 1. 7	繊維分科会 幹事会	(電子メール)	ナノテクノロジー・材料部会 繊維分科会	鈴木一之
R4. 1. 20 ~21	産技連知的基盤部会EMC技術講習会	埼玉県産業技術総合センター	産技連知的基盤部会	上野貴康
R4. 2. 8	産技連東海北陸部会 企業支援策等説明会	(Web)	産総研中部センター	松田稔
R4. 2. 9	第62回産技連議総会	(Web)	産総研	松田稔

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R4. 2. 9	炭素繊維高度利活用技術研究会	(電子メール)	東海・北陸地域部 会 機械・金属分 科会 炭素繊維高 度利活用技術研究 会	鈴木一之 鈴木重好 森田達弥
R4. 3. 1	炭素繊維高度利活用技術研究会	(Web)	東海・北陸地域部 会 機械・金属分 科会 炭素繊維高 度利活用技術研究 会	鈴木重好
R4. 3. 16	産技連関東技術分野会	(Web)	産総研	松田稔
派遣回数 20回			派遣人数 (延べ) 26人	

注) 産技連：産業技術連携推進会議
産総研：(国研)産業技術総合研究所

b 令和4年度（7月31日現在）
 (a) 工業技術研究所の実績

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R4. 4. 6	産総研IC 説明会	(Web)	産総研	田中伸佳
R4. 4. 23	つながる工場テストベッド 事業報告会	(Web)	産総研	赤堀 篤 望月 紀寿 望月 健治 大澤洋文 岩崎清斗 松下五樹
R4. 5. 28				
R4. 6. 26				
R4. 7. 24				
R4. 5. 26	静岡県-産総研との連携に 係る連絡会議	(Web)	産総研	田中伸佳
R4. 7. 14				
R4. 6. 6	産技連 企画調整分科会	(Web)	産技連	田中伸佳
R4. 6. 28	中部イノベネット運営委員 会	(Web)	中部イノベネット	杉山直人
R4. 7. 6	産技連東海北陸地域地域産 技連及び東海・北陸地域部 会合同総会	(Web)	産技連東海北陸地 域産技連 産技連東海・北陸 地域部会	杉山直人
派遣回数 10 回			派遣人数 (延べ) 30 人	

注) 産技連：産業技術連携推進会議
 農研機構：(国研) 農業・食品産業技術総合研究機構
 産総研：(国研) 産業技術総合研究所

(b) 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R4. 5. 26	静岡県-産総研連絡会議	(Web)	産総研	鬼久保郁雄
R4. 7. 14				
R4. 6. 28	産総研・産技連L S - B T 合同研究発表会産総研ライ フサイエンス分科会発表会	(Web)	産総研	鬼久保郁雄 杉本芳邦 勝山 聡 高木啓詞
R4. 7. 6	産技連東海北陸地域地域産 技連及び東海・北陸地域部 会合同総会	(Web)	産技連東海北陸地 域産技連 産技連東海・北陸 地域部会	大川勝正
派遣回数 4 回			派遣人数 (延べ) 7 人	

注) 産技連：産業技術連携推進会議
産総研：(国研)産業技術総合研究所

(c) 富士工業技術支援センターの実績

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R4. 5. 26	静岡県-産総研連絡会議	(Web)	産総研	飯野 修
R4. 7. 14				
R4. 7. 6	産技連東海北陸地域地域産 技連及び東海・北陸地域部 会合同総会	(Web)	産技連東海北陸地 域産技連 産技連東海・北陸 地域部会	櫻川智史
派遣回数 3 回			派遣人数 (延べ) 3 人	

注) 産技連：産業技術連携推進会議
産総研：(国研)産業技術総合研究所

(d) 浜松工業技術支援センターの実績

年月日	会議等の名称	会 場	主 催	派遣者氏名
R4. 5. 19	繊維分科会 東海地域連絡 会総会	(電子メール)	産技連ナノテクノ ロジー・材料部会 繊維分科会	鈴木重好
R4. 5. 26	静岡県-産総研連絡会議	(Web)	産総研	宮原鐘一
R4. 7. 14				
R4. 6. 7	CHC全体会議	(Web)	東海・北陸地域部 会 機械・金属分 科会 炭素繊維高 度利活用技術研究 会	鈴木重好
R4. 6. 30	繊維分科会 総会	(電子メール)	産技連ナノテクノ ロジー・材料部会 繊維分科会	鈴木重好
R4. 7. 6	産技連東海北陸地域地域産 技連及び東海・北陸地域部 会合同総会	(Web)	産技連東海北陸地 域産技連 産技連東海・北陸 地域部会	松田 稔
派遣回数 6 回			派遣人数 (延べ) 6人	

注) 産技連：産業技術連携推進会議
産総研：(国研)産業技術総合研究所

(ケ) 学会等への発表、外部発行誌等への投稿及び展示会への出展

(目的)

研究者や技術者及び企業経営者等に新技術等の情報を提供するため、学会や展示会等で発表するとともに、学会誌や専門誌等に投稿する。

(実績)

令和3年度及び令和4年度の実績は以下のとおりである。(令和4年度は7月31日現在)

	令和3年度				令和4年度			
	学会等発表回数 (ポスター発表含む)	学会誌等投稿	一般誌投稿	展示会出展	学会等発表回数 (ポスター発表含む)	学会誌等投稿	一般誌投稿	展示会出展
工業技術研究所	10	5	6	0	5	0	1	1
沼津工業技術支援センター	1	4	1	11	1	3	0	0
富士工業技術支援センター	1	1	2	11	0	1	0	0
浜松工業技術支援センター	13	0	3	0	2	0	0	1
合計	25	10	12	22	8	4	1	2

a 令和3年度の学会発表及び投稿等の実績

(a) 工業技術研究所の実績 (※はポスター発表)

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
R3. 5. 14	植物抽出物の有する光保護作用のスクリーニングおよび皮膚透過性改善を指向した製剤の開発	日本薬剤学会第36年会	—	袴田雅俊 三宅健司 山下里恵
R3. 5. 25	チーズ製造に適した駿河湾由来乳酸菌の選抜※	I S - B T 合同研究発表会	—	袴田雅俊
R3. 5. 26	ロコモ改善加工食品の開発			渡瀬隆也
R3. 9. 21	光学シミュレーションによる積分球のSRDFの検討	2021年度(第54回)照明学会全国大会	2021年度(第54回)照明学会全国大会予稿集	豊田敏裕 田代知範
R3. 10. 31	依頼講演: 海洋由来乳酸菌を用いた発酵甘酒のメタボロミクス解析	第52回中部科学関係学協会支部連合秋季大会(静岡)	第52回中部科学関係学協会支部連合秋季大会 予稿集	浅沼俊倫
	依頼講演: セルロースナノファイバーによる香りの放散挙動及び機構解明			石橋佳奈
R3. 11. 10	茶の実油の脂肪酸組成と品種の関係	茶業学会研究発表会	—	渡瀬隆也
R3. 11. 11	デザインマッチング事業・研究・デザイン機器の紹介※	2021年度 産業技術連携推進会議 ライフサイエンス部会 第29回デザイン分科会	—	多々良哲也
R3. 11. 30	PPの形態が無水マレイン酸変性PPを含むCNF複合材料の物性に及ぼす影響	成形加工シンポジア'21	プラスチック成形加工学会	菅野尚子
R4. 3. 16	豆乳の凍結融解分画に対するpHおよび塩濃度の条件検討	日本農芸化学会 2022年度大会	—	松野正幸
学会誌及び専門誌への投稿				
R3. 4. 8	Carotenoid Nostoxanthin Production by Sphingomonas sp. SG73 Isolated from Deep Sea Sediment	—	Mrine Drugs	室伏敬太
R3. 6. 15	互跪姿勢による疲労感の軽減効果—酪農業における搾乳中の作業姿勢の提案—	—	人間工学	大賀久美
R3. 9. 30	高輝度発光面が動的刺激への応答特性に与える影響	—	照明学会誌	田代知範

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
R4. 2. 15	医療従事者によるユーザビリティテストにおける「思考発話法」と「インパクト分析」の有効性の検証	—	人間工学	大賀久美
R3. 11. 5	Pore Structures and Electric Double Layer Properties of Activated Carbon Derived from Demineralized Spent Coffee Grounds	—	電気化学会誌Electrochemistry	菊池圭祐
一般誌等への投稿				
R3. 5. 20	産学共同開発で、かつお節の香りやうま味を濃縮したエキスを商品化	—	ビジネスレポート	渡瀬隆也
R3. 7. 22	スマートフォンを活用した酸素ボンベ残量モニタの開発	—	月刊 J E T I	竹居 翼
R3. 8. 31	光源データの配光測定方法の違いがヘッドアップディスプレイの表示シミュレーションに与える影響		月刊 J E T I	豊田敏裕
R3. 11. 15	地域産学官連携によって育てた静岡バラプロジェクトの紹介	—	産学官連携ジャーナル	山下里恵
R4. 1. 1	(「地域食品機能性素材の発掘と商品開発」特集内) ウンシュウミカン(果汁)	—	月刊 食品工場長	松野正幸
R4. 3. 1	発酵を通じた食品・ヘルスケア分野の取り組み	—	FoodStyle21	袴田雅俊
展示会への出展				
実績なし				
合計件数 21 件		学会等発表 10 件・投稿等 11 件・展示会 0 件		

(b) 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	項目	発表会名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
R3. 10. 28	欠損導入によるグルタミン酸脱炭酸酵素の改良	第73回 日本生物工学会大会	—	高木啓詞
学会誌及び専門誌への投稿				
R3. 7. 19	Glutathione fermentation by <i>Millerozyma farinosa</i> using spent coffee grounds extract and seawater	—	Bioresource Technology Reports Volume 15, September 2021, 100777	岩原健二
R3. 8. 20	Degree of Muscle-and-Tendon Tonus Effects on Kinesthetic Illusion in Wrist Joints towards Advanced Rehabilitation Robotics	—	Robotica	本多正計
R3. 9. 21	Design of a full-consensus glutamate decarboxylase and its application to GABA biosynthesis	—	ChemBioChem	高木啓詞
R3. 12. 9	Draft Genome Sequence of <i>Lactiplantibacillus plantarum</i> NMZ-1139, isolated from mash of whisky	—	Microbiology Resource Announcements	高木啓詞 勝山 聡 鈴木雅博 横澤 賢 岩原健二
一般誌等への投稿				
R3. 12. 1	微生物ライブラリーを活用した静岡県内産業の活性化	—	NBRCニュース	岩原健二
展示会への出展				
R3. 10. 13 ~10. 15	食の都しずおかの微生物を用いた新しい発酵食品ビジネスの創出	BioJapan2021 NITE ミニ講演会	—	岩原健二
R3. 11. 11	医療機器開発を支援するための鍛造シミュレーションシステムの構築	富士山麓産学官金連携 フォーラム2021	—	本多正計 飯塚千佳世
	海洋資源からのサワービール及び生配系清酒用乳酸菌の選抜			
	静岡県工業技術研究所沼津工業技術支援センターにおける医療機器開発支援			本多正計

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
R3. 11. 12 ～13	しずおか有用微生物ライブラリーを活用した静岡サワービールの開発（Ⅲ）一試作品の製造及び評価一	第11回産業振興フェア inいわた	—	バイオ科 機械電子科
	鍛造シミュレーションの高精度化に向けた取り組み一 生体適合性材料（チタン合金）の材料特性データの活用一			
R3. 11. 25	海洋資源からのサワービール及び生醗系清酒用乳酸菌の選抜	第16回静岡県東部テクノフォーラムin沼津高専	—	本多正計 飯塚千佳世
	静岡酵母HD-1と麹菌の組み合わせが清酒の主室に及ぼす影響			
	医療機器開発を支援するための鍛造シミュレーションシステムの構築			
	データアルゴリズムを活用した画像認識AIにおける効率的学習手法の開発			
R4. 1～ R4. 2	食の都しずおかの微生物を用いた新しい発酵食品ビジネスの創出	関西ビジネスマッチング2021		岩原健二
合計件数 17 件		学会等発表 1 件・投稿等 5 件・展示会 11 件		

(c) 富士工業技術支援センターの実績

年月日	項目	発表会名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
R3. 6. 24	トイレトペーパーほぐれやすさ試験機の技術開発	第88回紙パルプ研究発表会	—	齊藤将人 齊藤和明 深沢博之 杉本芳邦
学会誌及び専門誌への投稿				
R3. 5. 1	再生紙の低密度化に関する研究	—	紙パルプ技術タイムス	齊藤和明 深沢博之 齊藤将人 杉本芳邦
一般誌等への投稿				
R3. 11. 12	CNFに関する地域企業支援の取り組みの現状	—	セルロースナノファイバー研究と実用化の最前線	飯野 修
R4. 3. 22	リファイナーを用いたCNF製造の試み	—	月刊J E T I	河部千香
展示会への出展				
R3. 10. 16	次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発	富士市CNFプラットフォームビジネスマッチング会	—	大竹正寿
	リファイナーを用いたCNF製造の試み			河部千香
R3. 11. 11	異種材料接合のための新型プラズマ照射装置の開発	富士山麓産学官金連携フォーラム	—	高木 誠
	センター紹介			三宅健司 高木 誠
R3. 11. 12 ～13	次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発	第11回産業振興フェアinいわた	—	大竹正寿
	新型プラズマ照射装置「ぷらじろう」			高木 誠
R3. 12. 1～ R4. 2. 28	次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発	ふじのくにCNF総合展示会	—	大竹正寿
	リファイナーを用いたCNF製造の試み			河部千香

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
R3. 12. 7 ~ R3. 12. 9	次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発	ナノセルローズ展（エコプロ2021）	—	大竹正寿
	リファイナーを用いたCNF製造の試み			河部千香
R4. 1. 26 ~1. 28	次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発	国際ナノテクノロジー総合展	—	大竹正寿
合計件数 15 件		学会等発表 1 件・投稿等 3 件・展示会 11 件		

(d) 浜松工業技術支援センターの実績 (※はポスター発表)

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
R3. 5. 26	マイクロチップレーザによる高張力鋼の残留応力と疲労特性の改善	ショットピーニング技術協会2021年度学術講演会	講演資料	鷺坂芳弘
R3. 6. 4	サブナノ秒マイクロチップレーザを用いたレーザーピーンフォーミング (第7報 照射密度の影響)	2021年度塑性加工春季講演会	講演論文集	鷺坂芳弘
R3. 9. 15	小型レーザーを使用したレーザーピーニングの高張力鋼への適用	日本機械学会M&M2021材料力学カンファレンス	講演論文集	鷺坂芳弘
R3. 9. 21	マイクロチップレーザによる高張力鋼の残留応力と疲労特性の改善	2021年度精密工学会秋季大会講演会	講演論文集	鷺坂芳弘
R3. 9. 21	光学シミュレーションによる積分球のSRDFの検討	2021年度照明学会全国大会	講演論文集	志智 亘
R3. 9. 23	カラーイメージングによる表面粗さ推定に関する研究	2021年度精密工学会秋季大会講演会	講演論文集	中野雅晴
R3. 9. 24	THz波による樹脂の光学異方性計測に関する研究			太田幸宏
R3. 10. 10	Improvement of residual stress and fatigue properties of high strength steel by low pulse energy microchip laser	Photonics Asia 2021	—	鷺坂芳弘
R3. 10. 30	レーザーピーンフォーミングにおける曲げ角のばらつき要因	第72回塑性加工連合講演会	講演論文集	鷺坂芳弘
R3. 12. 2	Dependence of Diffraction Efficiency on Temperature in Plastic Diffractive Lens for LED Lighting	The 6th International Symposium of Biological Engeneering	要旨集	志智 亘
R3. 12. 11	炭素繊維強化複合材(CFRP)の高効率成形技術～細断したUDテープを用いた圧縮成形条件の検討～	第34回東海支部若手繊維研究会	—	森田達弥
R4. 3. 1	回折樹脂レンズの医療用照明応用に向けた検討	2021年度生体医歯工学共同研究拠点成果報告会	予稿集	志智 亘
R4. 3. 17	カラーイメージングによる表面粗さ推定に関する研究 (第2報)	2022年度精密工学会春季大会講演会	講演論文集	中野雅晴

学会誌及び専門誌への投稿				
実績なし				
一般誌等への投稿				
R3. 6. 1	「金型づくりにおける熱ひずみ・熱変形の計測」	金型づくりにおける計測技術の再前線	型技術誌 2021年6月号	長津義之 針幸達也
R3. 7. 22	共焦点顕微鏡と接触式測定機で測定した表面粗さの等価性評価	—	月刊 J E T I	中野雅晴
R4. 3. 1	不具合解析及び品質管理におけるアルマイト皮膜の評価方法—表面及び断面観察について	—	アルミニウム研究会誌	田光伸也 吉岡正行 植松俊明
展示会への出展				
実績なし				
合計件数 16 件		学会等発表 13 件・投稿等 3 件・展示会 0 件		

b 令和4年度の学会発表及び投稿等の実績（7月31日現在）

(a) 工業技術研究所の実績（※はポスター発表）

年月日	項目	発表会名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
R4.6.12	水産未利用資源抽出物投与がマウス免疫系に与える影響	第76回日本栄養・食糧学会大会	予稿集	長房秀幸
R4.6.29	海洋由来乳酸菌を用いた発酵甘酒の開発※	第20回産総研・産技連LS-BT合同研究発表会	—	袴田雅俊
R4.6.29	海洋由来微生物による発酵甘酒の香気特性※			松野正幸
R4.7.22	セルロースナノファイバーを用いた自動車用湿式摩擦材の開発※	セルロース学会第29回年次大会	セルロース学会第29回年次大会講演要旨集	菅野尚子
	セルロースナノファイバーの繊維長による香りの放散挙動			石橋佳奈
学会誌及び専門誌への投稿				
実績なし				
一般誌等への投稿				
R3.7.22	高密着な樹脂めっきの作製-ポリカーボネイト, PP/CNF複合材へのめっき技術の検討-	—	月刊JETI	田中宏樹
展示会への出展				
R3.6.1 ~3	—	シズオカ [KAGU] メッセ2022	—	田村克浩 村松重緒 菊池圭祐 増田康利 田村克浩
合計件数 7 件		学会等発表 5 件・投稿等 1 件・展示会 1 件		

(b) 沼津工業技術支援センターの実績

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
R4. 6. 28	海洋由来微生物を活用したサワービールの開発	産総研・産技連L S - B T 合同研究発表会産総研ライフサイエンス分科会発表会 (Web)	—	勝山 聡 横澤 賢 鈴木雅博
学会誌及び専門誌への投稿				
R4. 5. 15	県内分離乳酸菌を活用したサワービールの開発	—	日本食品科学工学会誌	勝山 聡 鈴木雅博 横澤 賢 高木啓詞
R4. 6	Novel constitutive equation for predicting dynamic recrystallization during hot working considering the efficiency of power dissipation	—	Metallurgical and Materials Transactions A	是永宗祐 本多正計
R4. 7. 25	海洋由来乳酸菌を用いた豆乳ヨーグルトの開発!	—	生物工学会誌	バイオ科
一般誌への投稿				
実績なし				
展示会への出展				
実績なし				
合計件数 4 件		学会等発表 1 件・投稿等 3 件・展示会 0 件		

(c) 富士工業技術支援センターの実績

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
実績なし				
学会誌及び専門誌への投稿				
R4.5.1	段ボール古紙を使用した「茶色いトイレトーパー」の開発	—	紙パルプ技術タイムス	齋藤和明 深沢博之 杉本芳邦
一般誌への投稿				
実績なし				
展示会への出展				
実績なし				
合計件数 1 件		学会等発表 0 件・投稿等 1 件・展示会 0 件		

(d) 浜松工業技術支援センターの実績 (※はポスター発表)

年月日	項 目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
R4. 6. 5	サブナノ秒レーザーピーンフォーミングによる張出し成形 (第一報 変形モードの影響)	2021年度塑性加工春季講演会	講演論文集	鷺坂芳弘
R4. 7. 22	セルロースナノファイバーを用いた自動車用湿式摩擦材の開発※	セルロース学会第29回年次大会	—	木野浩成
学会誌及び専門誌への投稿				
実績なし				
一般誌への投稿				
実績なし				
展示会への出展				
R4. 7. 21	熱可塑性チョップドUDテープカット材の成形—静岡県での取り組み—※	NCC次世代複合材研究会プレゼン会	—	鈴木重好
合計件数 3 件		学会等発表 2 件・投稿等 0 件・展示会 1 件		

エ その他

(ア) 産学官連携コーディネート体制強化事業

(目的)

公益財団法人静岡県産業振興財団を中心に実施する地域企業、大学、支援機関の連携強化事業に参画し、技術情報の共有化や研究開発、産業振興を図る。

(実績)

実績は下表のとおりである。

(令和4年度は7月31日現在)

項目	令和3年度	令和4年度
他支援機関等へのコーディネートによる支援	42件	9件
他支援機関からの技術支援要請への対応	212件	67件
研究開発助成事業など支援事業の申請に関わるコーディネート	19件	20件
工業技術研究所や大学等のシーズ紹介、事業への共同申請等のコーディネート	85件	29件
他支援機関等より依頼された事業評価、審査等への対応	57件	27件
新産業集積クラスターなど重点分野への技術支援	147件	57件
合計	562件	209件

注) 各項目の件数は研究所及び3支援センターの数値を合計したものである。

(イ) 資質向上研修

(目的)

研修を通して研究職員の技術や知識を向上させることで、研究の推進を図るとともに、中小企業等の技術相談に対応できるようにする。

(実績・計画)

下表のとおり資質向上研修を実施した。

(令和4年度は7月31日現在)

	令和3年度	令和4年度
	件数	件数(計画)
工業技術研究所	20件	8件(17件)
沼津工業技術支援センター	5件	1件(5件)
富士工業技術支援センター	2件	5件(6件)
浜松工業技術支援センター	8件	6件(11件)
合計	35件	20件(39件)

オ 評価・改善

(ア) 工業技術研究所

a 試験研究

令和3年度は、一般共同研究、受託研究（競争的資金（国、国立研究開発法人、財団法人等が実施する研究開発助成事業等）を含む）が2/3を占めており、地域のニーズ、産業界の要望に応える課題設定ができたものと考えている。

また、新成長戦略研究について、本県の海洋生物資源を活用した産業振興を目的とした「マリンバイオ産業を振興するための海洋由来微生物を活用した新たな食品開発」（令和2年度開始）、自動車から路面への画像投影を可能とするレンズの開発を目指す「人とコミュニケーションを図る次世代車載装置用樹脂レンズの開発」（令和3年度開始）は順調に取り組みが進んでいる。また、令和4年度より新たに、IoT技術の導入の次のステップとしてヒトやモノの動きを通して工場全体の効率化を図る「設備、モノ、ヒトの統合的データ分析による生産性の効率化」に参画し、研究を開始している。

このように、企業の要望に合わせた研究や地域企業・業界の発展を支援する波及性の高い研究課題を設定し実施している。

b 技術相談等

令和3年度の技術相談は15,156件実施し、前年度に比べて959件増加した。現場における技術相談件数はほぼ前年並みとなっていることから、引き続き新型コロナウイルスの感染拡大の影響により企業訪問が困難な状況は続くものの、Web会議システムを利用した遠隔技術相談等によるオンラインの対応が増えているものと思われる。

各科の状況を見ると、金属材料科及び機械電子科で微減しているものの、他の6科は増加しており、特に化学材料科、食品科、工芸科は200件以上増加しており、全体の件数増加に寄与しているものと思われる。

新型コロナウイルス感染拡大が続く中でも、中小企業への支援活動を継続的に行なうため、令和2年度にWeb会議システムを導入し、研究所へ来所することなく技術相談に対応できる環境を整備した。実地指導件数がほぼ前年度並みでありながら全体件数が増加したのは、Web会議が一般的に普及した影響もあるものの、これら遠隔技術相談システムがより認知されてきた結果であると思われる。

c 依頼試験・機器等使用・研修施設等使用

令和3年度の依頼試験件数は10,583件で、前年度に比べ5,641件減少した。また、収入額は18,921千円で、163千円の微増となった。これは長期性能試験の件数が大きく減少したものの、より単価が高い特殊試験が増加したことでその収入減を補ったものと思われる。

また令和3年度の機器等使用及び研修施設等については、使用時間数が29,040時間、収入は24,988千円で、前年度に比べそれぞれ14,659時間、12,494千円の増加であった。時間・収入額共に令和元年度から令和2年度へかけての減少幅を上回る増加を示した。

令和3年度は、社会的に引き続き新型コロナウイルス感染拡大の影響は残るものの、自粛一辺倒ではなく必要であれば積極的に来所を検討する企業姿勢の変化の現れと考える。

今後も地域企業・業界のニーズに応えられるよう機器の導入・更新、維持管理に努めてく。

d 研修生の受入れ

令和3年度は、大学から6人の研修生を受け入れ、前年度から2人増加した。今後も研究所が持つ技術を普及させるため、企業に研修生制度を紹介するとともに、就業体験研修生や大学院生も積極的に受入れていく。

e 技術情報提供

令和3年度の講習会・講演会については、21件開催し参加者数は延べ946人で、前年度よりも開催件数が6件、参加者が68人増加した。また研究発表会については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から昨年度に引き続き、Web会議システムを活用したオンライン開催とした。これにより、これまで参加が難しかった遠方からの参加もみられた。

講師活動は、令和3年度は24回実施し、参加者数は505人で、前年度と比較して12回、125人増加した。学会・専門誌・展示会における発表・投稿・展示については、令和3年度は20件で、前年度と比較して4件増加した。

講習会・講演会、講師活動については、前年度から引き続きWebによる開催が中心であったが、社会的にWebイベントが広く普及した影響で、開催件数、活動回数共に増加した。同様に学会・展示会等についても、Web開催が普及した影響で増加している。

今後も講習会・講演会については、地域企業・業界の要望に合わせた幅広い分野で実務的なテーマ

を設定し、参加者数の増加に努めるとともに、研究所の技術や研究成果を企業等へPRするよう、講師活動や学会発表・展示会出展を積極的に実施していく。

その他、ホームページによる各種情報提供に加え、2週間に一度程度の頻度で研究所や県の最新情報を記したメールマガジンを配信している。登録者数は順調に増加し1,000を超え、いち早く企業に必要な情報を提供できていると考えている。

f 産学官連携の促進

研究所全体で、産学官連携推進コーディネータの活動は、令和3年度は562件で、前年度から4件増加した。前年度に引き続き、Web会議システムの活用など、新型コロナウイルスが感染拡大する中でも他支援機関等と連携した企業支援活動を継続し、新たな産業創出にむけた取り組みができていていると考えている。

また、公益財団法人静岡県産業振興財団が実施する新成長産業分野への助成事業について、助成先への技術的な助言やコーディネート活動による支援を行っている。今後も引き続き産学官連携の促進を図っていく。

(イ) 沼津工業技術支援センター

a 試験研究

機械電子科で平成28年度から開始した戦略的基盤技術高度化支援事業（経産省）の「骨端用プレートの高品質・低コスト成形加工技術の開発」は平成30年度までの3年間で実施し、製品の品質、低コスト化につながる成果を得た。また、平成30年度から3年間で実施した新成長戦略研究「次世代型インプラントの型鍛造成形を可能にする設計支援技術の開発」では整形外科用インプラントの型鍛造成形を実現させる上で必要不可欠な、金型や成形条件探索等に費やす開発費を削減させることが出来る独自の設計支援技術（一部は特許出願中）を開発した。この設計支援技術を活用することで、試験用インプラントの開発期間を3年から1年へ、また試作開発費を7割以上削減させることが可能となった。このようにファルマバレープロジェクトの促進に積極的に取り組んでいる。

バイオ科では令和2年度に引き続き水産・海洋技術研究所が中核研究機関となっている新成長戦略研究「マリンバイオ産業を振興するための海洋由来微生物を活用した新たな食品開発」に参画し、微生物産業の持続的発展と新たな展開に力を入れている。令和3年度には本研究の成果として得られた海洋微生物を利用したサワービールの試験販売を開始した。また、従来から取り組んできた有用微生物を用いた日本酒・ビール等の新規発酵食品開発については、開発した酵母株を企業、団体等へ分譲し順調に実績を伸ばしている。さらに令和3年度からは3年間の計画で麴に関する研究も開始し、本県の清酒造りに適した独自の麴菌株選抜基準を設定し、これまでに無かった本県独自の清酒醸造用種麴の開発フローを構築した。開発した種麴は、共同研究機関にて製造し、県内酒造メーカーのみを対象に販売する予定である。

b 技術相談等

令和2年度は2,795件の実施に対して令和3年度は2,658件であり、ほぼ横ばいである。令和4年度の7月末までの実績は1,103件であり、昨年度より増加しており年間換算すると令和4年度も同程度か微増の件数となる見込みである。そのうち現地指導については令和2年度の100件に対し、令和3年度は125件と増加している。令和4年度は7月末現在で74件となっていることかからこのペースが続けば令和4年度は大幅に増加するものと思われる。その一方で、引き続きオンラインでの技術相談を積極的に取り入れることで、新型コロナウイルス対策としてのみでなく、従来は来所が難しかった遠隔地からのニーズの取り込みを図る。今後も引き続き広く地域産業界の技術的な課題の解決などに役立つことを目標に、コロナ対策を講じたうえで、状況が許せば企業にも訪問するなどして、業界ニーズ・要望に対応していく。

c 依頼試験・機器等使用・研修施設等使用

依頼試験については、令和3年度は7,828件となり、令和2年度と比べ、件数では361件増加したが、収入では4,990千円となり、令和2年度と比べ2,172千円の減少となった。令和2年度は機械器具の検査及び試験による収入額が非常に大きく、件数に対し収入額が大きかったことが理由として考えられる。

また、機器等使用及び研修施設等使用については、令和3年度は7,950時間となり、前年度と比べ延べ使用時間で451時間、収入では2,530千円の減少となった。ただし、令和2年度はコロナ禍で事業活動に支障をきたした県内中小企業等を対象に機器使用料等の減免措置制度を設けており、減免分を除いた実収入と比較すると、令和3年度は661千円の増加となっている。従来から、依頼試験・機器等使用についての企業のニーズに対しては可能な限り積極的に対応するようにしている。今後も機器の維持管理や導入・更新に積極的に取り組み、地域ニーズや業界の要望に応えられるよう努めるとともに

に、利用促進のためにもセンターのPRを実施していく。

d 研修生の受入れ

近年、継続して一定数の受入れを行っている。令和3年度については民間企業から2名を受け入れている。コロナ禍により、企業訪問や展示会への出展が制限される可能性があるが、機会をとらえ、かつオンラインも活用しながら積極的なPRに努め、地域人材の育成に貢献していく。

e 技術情報提供

講習会・講演会については、令和3年度の実施回数は3回、参加者数は82人であった。コロナ禍により、令和3年度は全3回のうち2回をオンライン開催としたが、1回は新型コロナウイルス感染に最新の注意を払いながら、対面方式で開催した。令和4年度は7月末の段階で既に開催3回、参加63名となっていることから、令和3年度と比較して増加が期待される。今後も引き続き、情報提供方法の改善要素を模索しつつ、地域企業のニーズに対応した新技術等の情報を積極的に発信していく。

学会・専門誌・展示会への発表・投稿・出展については、令和3年度は21件であり、令和2年度より5件増加した。成果については今後も引き続き積極的に発信していく。

f 産学官連携の促進

産学官連携コーディネータを中心に幅広く連携を支援している。ファルマバレーセンターをはじめとした地域の支援機関との連携も深めており、令和2年度からはマリンオープンイノベーション推進機構との新たな協働が本格的に始動している。また、令和3年度からは静岡大学に協力研究員として職員を派遣しており、引き続き産学官連携の促進を図っていく。

(ウ) 富士工業技術支援センター

a 試験研究

製紙科では、地域の製紙会社が共通して抱えている問題に対応するため、『古紙原料のリサイクル』の視点で課題設定を行っている。令和元年度からは特殊更紙の低密度化に取り組んでおり、原料の選択や加工条件の調整により、低密度化できる要因を明らかにし、地域の企業が実践して効果を上げている。また、令和2年度には家庭紙の水洗トイレでのほぐれやすさを評価するJISに準じた「ほぐれやすさ試験機」を開発し、協力企業から販売されている。CNF科では、セルロースナノファイバー(CNF)に関する新成長戦略研究に取り組んでいる。令和元年度からはCNFの樹脂への応用を進める新成長戦略研究を開始し、引き続き大学や地域企業との連携により、CNF複合材の実用化を目指して研究開発を進めている。また、令和元年度に開設した新たな産学官連携拠点「ふじのくにCNF研究開発センター」において、CNFラボに入居する企業3社と共同研究を進め、早期の事業化・実用化を目指している。機械電子科では、畜産技術研究所など関係機関と連携して、AI技術を応用した牛分娩検知システムの新たな実用化に目処をつけた他、得られた知見を「牛の疾病検知システム」の開発に発展させている。また、次世代自動車、航空・宇宙産業等の成長分野での利用が見込まれる異種材料接合部品の製造に利用できるプラズマ照射技術を開発した。最適な照射条件や材料毎の特性をまとめ、試作品開発に取り組む企業に開放している。

各科のテーマとも、地域のニーズ・産業界の要望に応える課題であり、地域振興に役立つものと考えている。

b 技術相談等

令和3年度の相談件数は4,187件で、令和2年度と比較して545件減少(約12%減)であった。遠隔技術相談システムの利用が増加しているものの、新型コロナウイルスによる不要不急の往来自粛等の影響が年間を通して見られた。技術相談の内容としては、製紙・機械金属・電子機器等の地域産業の技術的な問題に関する相談が大半であるが、全国的に希少な専門部署である製紙とCNFは県外からの相談が合わせて530件(令和3年度)であり、両分野全体の20%を占めている。また、令和4年度の相談実績(件数)は、令和3年度同時期と同水準で推移している。これは引き続き新型コロナウイルスの影響はあるものの、CNFへの関心の高まりからこの分野に関する相談件数が依然として堅調であることによる。今後も、企業の課題や技術的なニーズの把握に努め、要望に応じていきたい。

c 依頼試験・機器等使用・研修施設等使用

依頼試験については、令和3年度は6032件、収入で2,665千円であった。令和2年度と比較して、件数で371件増加したが、金額で657千円の減少であり、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が見られた。

機器等使用については、令和3年度は時間数で5,303時間、金額で9,477千円であった。令和2年度と比

較して、時間数は2,359時間、金額で1,890千円の減少であった。令和4年度は、前年の同時期とほぼ同じ水準で推移している。

研修施設等の使用実績については、令和3年度(163時間)は令和2年度(88時間)と比較して、75時間(57%)の増加であり、年間を通じて徐々に回復傾向が見られている。

d 研修生の受入れ

令和3年度は、例年実施している就業体験実習生(高校生)が、新型コロナウイルスの影響で2年連続で中止となった。製紙分野の中期技術者研修は、令和2年度は中止となったが、令和3年度から再開した。

地元高校生への職業体験や製紙業界への技術習得のための施設として、コロナ収束後は研修を再開したいと考えている。

e 技術情報提供

講習会・講演会については、令和3年度は実施回数8回、参加者数166名であった。令和2年度と比較して、実施回数4回、参加人数135名の増加となった。うち2回はオンラインでの開催であったが、オンライン開催はコロナ対応だけでなく、遠方からの参加も見込めることから今後も積極的に検討する。

講師活動は、令和3年度は令和2年度と比較して、実施回数は2回(2減)、参加人数は284名減って57名となった。

学会・専門誌・展示会における発表・投稿・展示の実績は、令和3年度は15件となり、令和2年度と比較して6件増加した。引き続き新型コロナウイルスの影響は残るものの、新成長戦略研究による研究成果の情報発信に力を入れていく。

f 産学官連携の促進

産学官連携コーディネータを中心に地域の産業支援機関や富士市・富士宮市の産業支援担当課との連携を図っている。また、沼津高専や専門家から外部研究員を招聘して指導を受け、研究員の資質向上を図るとともに、シーズ把握の場としても活用している。また、静岡県産業振興財団の新成長産業戦略的育成事業の助成案件毎の事業推進チームのメンバーとして事業化に導くための支援を行っている。今後も国立研究開発法人産業技術総合研究所との連携を強化し、産総研の高度なシーズを活用し、先端産業の育成推進を積極的に進めていく。

(エ) 浜松工業技術支援センター

a 試験研究

令和3年度に実施した研究テーマは19件のうち、11件のテーマが一般共同研究、または競争的資金以外の受託研究に属するものであり、アウトプットを見据えたテーマ設定と、企業からの要望への柔軟な対応ができていると考えている。

それ以外の県単独研究と新成長戦略研究の8件についても、地域企業・産業の発展を支援するための技術開発及びスキルアップに繋がる研究であることから、全体的に見ても地域ニーズ・産業界ニーズに応える研究が実施できたと考えている。

b 技術相談等

令和3年度の技術相談数は11,254件(そのうち現地相談は165件)であり、前年度と比較してやや増加した(前年度はそれぞれ10754件、152件)。

新型コロナウイルス感染拡大の影響は続いているが、遠隔技術相談システムによりウェブ会議システムを使用した技術相談が増えている。社会的にもWeb会議は定着しており、引き続き増加が見込まれる。

今後も県西部地域産業界を中心に、相談対応による課題・問題点の解決、新製品開発等への提案に努めることはもちろん、平行して積極的に産業界ニーズの収集と相談対応の利便性・レベルアップを図り、利用者の増加に努めていく。

c 依頼試験・機器等使用・研修施設等使用

令和3年度に実施した依頼試験の件数・金額は16,909件・16,201千円(令和2年度はそれぞれ23,206件・24,437千円)で、どちらも減少した。ただし、令和2年度は新型コロナウイルスの影響下におかれた企業の支援のため手数料の減免措置を行っており、企業がサンプル数を増やした影響があると思われる。減免分を除いた件数・収入(それぞれ14,183件・1479,6千円)はどちらも前年度より増加しており収入の面では増加している。

設備(機器・施設)使用については35,066時間・56,661千円(令和2年度は33,503時間・52,461千円)で時間数・金額共にやや増加した。依頼試験と同様にこちらも前年度は使用料減免分も含んでおり、減免分を除いた件数・収入(それぞれ25,514件・40,523千円)と比較すると大幅な増加になった。

d 研修生の受入れ

令和3年度は、前年度と同様に研修生の受入れがなかった。例年実施されている技術習得のための指導は、対面で行われることがほとんどのため、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、実施するのが難しかった。

e 技術情報提供

令和3年度に実施した講習会・講演会は19回、参加者数は462名であり、前年度に比べそれぞれ17件、125名の増加となった。講師活動は15回、参加者数は853名であり前年度よりもほぼ倍増した。今後も引き続き受講機会拡大に努めていく。

学会発表数は13件、投稿は3件であった。展示会出展は例年、一般・企業への情報提供などを目的として積極的に参加しているが、引き続き新型コロナウイルスの影響が残る中で、対面が中心の展示会の開催は少なく、実績はなかった。

f 産学官連携の促進

令和3年度も、企業が計画する公募競争型資金助成研究開発への申請支援及び研究・指導による協力を実施してきた。今後も産学官が連携した共同研究の推進、研究・開発成果発表会等を通じた研究者間の交流、さらには公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構が事務局として運営する浜松地域産業支援ネットワーク会議等に参画すること等により、地域の大学や各支援機関との連携強化を積極的に進めていく。

様式第1号-4

(3) 事業の根拠法令調

(工業技術研究所及び各工業技術支援センター共通)

事業名	根拠法令
新成長戦略研究事業	<ul style="list-style-type: none"> ・新成長戦略研究推進要綱 ・新成長戦略研究実施要領
受託研究事業	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県工業技術研究所受託研究実施要綱 ・静岡県工業技術研究所受託研究取扱要領
外部研究員招へい事業 資質向上研修事業	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県試験研究機関における研究員の資質向上プログラムの取扱い
依頼試験・研修室等使用業務	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県工業技術研究所使用料及び手数料条例 ・静岡県工業技術研究所研修施設等の使用等に関する規則
機器等使用業務	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県工業技術研究所の設置、管理及び使用料に関する条例 ・同条例施行規則
産学官連携	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県工業技術研究所産学官連携推進コーディネータ設置要領
連携大学院制度	<ul style="list-style-type: none"> ・国立大学法人静岡大学と静岡県試験研究機関との教育研究協力に関する協定 ・静岡県試験研究機関及び静岡県公立大学法人静岡県立大学の教育・研究協力に関する協定 ・静岡県と静岡理工科大学との研究分野での連携に関する協定 ・連携大学院制度における大学院生受入要領

(注)1 根拠法令は、法律、政令、規則、条例及び要綱を全て記入する。

2 法律のみ適用条項を()内に記入する。

1 職員調

(1) 工業技術研究所(静岡)

(令和4年7月31日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	所長(技)	杉山 直人	所全体総括	□□□	□年 □月	□□□□
2	次長(事)	鈴木 加江	総務総括	□□□	□年 □月	総務課長兼務、□□□□
3	研究統括官(技)	油上 保	食品科、環境科、ユニバーサルデザイン科、工芸科総括	□□□	□年 □月	
4	研究調整官(技)	中山 洋	金属材料科、化学材料科、機械電子科、照明音響科総括	□□□	□年 □月	□□□□
<総務課>						
5	総務班長(事)	糸田 昇一	総務・会計	□□□	□年 □月	□□□□ □□□□、□□□□
6	主査(事)	執行 賀名子	総務・会計	□□□	□年 □月	□□□□
7	主任(事)	川島 直人	総務・会計	□□□	□年 □月	□□□□
8	主任(技)	一瀬 将平	総務・会計	□□□	□年 □月	□□□□
<企画調整部>						
9	企画調整部長(技)	田中 伸佳	部総括	□□□	□年 □月	□□□□
10	企画調整班長(技)	小松 剛	企画調整	□□□	□年 □月	□□□□、□□□□
11	上席研究員(技)	増井 裕久	企画調整	□□□	□年 □月	
12	上席研究員(技)	浅沼 俊倫	企画調整	□□□	□年 □月	
13	主査(事)	白輪 真也	企画調整	□□□	□年 □月	
14	主任(事)	笠井 慶子	企画調整	□□□	□年 □月	□□□□、□□□□
<金属材料科>						
15	科長(技)	大竹 正寿	科総括	□□□	□年 □月	
16	上席研究員(技)	岩澤 秀	金属材料技術	□□□	□年 □月	□□□□、□□□□
17	上席研究員(技)	鈴木 洋光	金属材料技術	□□□	□年 □月	□□□□
18	主任(技)	萱沼 広行	金属材料技術	□□□	□年 □月	□□□□、□□□□
19	主任研究員(技)	田中 宏樹	金属材料技術	□□□	□年 □月	
<化学材料科>						
20	科長(技)	真野 毅	科総括	□□□	□年 □月	
21	上席研究員(技)	菅野 尚子	化学材料科技術	□□□	□年 □月	
22	主任研究員(技)	小泉 雄輔	化学材料科技術	□□□	□年 □月	
23	主任研究員(技)	望月 智文	化学材料科技術	□□□	□年 □月	
24	主任研究員(技)	野澤 遼	化学材料科技術	□□□	□年 □月	
<機械電子科>						
25	科長(技)	赤堀 篤	科総括	□□□	□年 □月	□□□□、□□□□
26	上席研究員(技)	望月 紀寿	機械電子技術	□□□	□年 □月	□□□□
27	上席研究員(技)	望月 建治	機械電子技術	□□□	□年 □月	
28	上席研究員(技)	大澤 洋文	機械電子技術	□□□	□年 □月	□□□□
29	主任研究員(技)	松下 五樹	機械電子技術	□□□	□年 □月	□□□□
30	主任研究員(技)	岩崎 清斗	機械電子技術	□□□	□年 □月	
<照明音響科>						
31	科長(技)	木野 直樹	科総括	□□□	□年 □月	
32	上席研究員(技)	豊田 敏裕	照明音響技術	□□□	□年 □月	□□□□
33	上席研究員(技)	竹居 翼	機械電子技術	□□□	□年 □月	□□□□
34	主任研究員(技)	柳原 亘	照明音響技術	□□□	□年 □月	
35	研究員(技)	田代 知範	照明音響技術	□□□	□年 □月	

＜食品科＞						
36	科長(技)	山下 里恵	科総括	□□□	□年 □月	
37	上席研究員(技)	松野 正幸	食品技術	□□□	□年 □月	
38	主任研究員(技)	袴田 雅俊	食品技術	□□□	□年 □月	
39	主任研究員(技)	長房 秀幸	食品技術	□□□	□年 □月	
40	主任研究員(技)	石橋 佳奈	食品技術	□□□	□年 □月	
41	研究員(技)	堀池 隼雄	食品技術	□□□	□年 □月	
＜環境エネルギー科＞						
42	研究統括官兼科長(技)	油上 保	科総括	□□□	□年 □月	
43	上席研究員(技)	鈴木 光彰	環境技術	□□□	□年 □月	
44	上席研究員(技)	岡本 哲志	環境技術	□□□	□年 □月	
45	上席研究員(技)	室伏 敬太	環境技術	□□□	□年 □月	
46	研究員(技)	井口 大輔	環境技術	□□□	□年 □月	
＜ユニバーサルデザイン科＞						
47	科長(技)	長澤 正	科総括	□□□	□年 □月	□□□□、□□□□
48	上席研究員(技)	易 強	ユニバーサルデザイン技術	□□□	□年 □月	
49	上席研究員(技)	及川 貴康	ユニバーサルデザイン技術	□□□	□年 □月	□□□□
50	主任(技)	多々良 哲也	ユニバーサルデザイン技術	□□□	□年 □月	
51	主任(技)	深谷 謙一	ユニバーサルデザイン技術	□□□	□年 □月	
＜工芸科＞						
52	科長(技)	田村 克浩	科総括	□□□	□年 □月	□□□□、□□□□
53	上席研究員(技)	村松 重緒	工芸技術	□□□	□年 □月	□□□□、□□□□
54	主任(技)	八木 淳一	工芸技術	□□□	□年 □月	□□□□
55	主任(技)	増田 康利	工芸技術	□□□	□年 □月	□□□□
56	主任研究員(技)	菊池 圭祐	工芸技術	□□□	□年 □月	□□□□、□□□□
＜会計年度任用職員＞						
1	会計年度任用職員	杉山 和人	総合案内	□□□	□年 □月	
2	会計年度任用職員	坂田 真弓	総合案内	□□□	□年 □月	
3	会計年度任用職員	長倉 加代子	総合案内	□□□	□年 □月	
4	会計年度任用職員	杉山 治	依頼試験等の補助	□□□	□年 □月	
5	会計年度任用職員	種茂 俊哉	依頼試験等の補助	□□□	□年 □月	
6	会計年度任用職員	羽倉 伸洋	依頼試験等の補助	□□□	□年 □月	
7	会計年度任用職員	内山 辰彦	工芸技術	□□□	□年 □月	
平均年数(会計年度任用職員を除く)					□年 □月	

(2) 沼津工業技術支援センター

(令和4年7月31日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	センター長(技)	大川 勝正	センター総括	□□□	□年 □月	□□□□
2	研究統括官(技)	鬼久保 郁雄	研究業務総括	□□□	□年 □月	□□□□、□□□□ □□□□
＜総務課沼津分室＞						
3	分室長(事)	神谷 弘樹	総務総括	□□□	□年 □月	□□□□ □□□□
4	主査(事)	小泉 由美	総務・会計	□□□	□年 □月	□□□□
＜技術支援担当＞						
5	上席研究員(技)	飯塚 千佳世	企画・情報	□□□	□年 □月	□□□□
＜バイオ科＞						
6	科長(技)	杉本 芳邦	科総括	□□□	□年 □月	□□□□
7	主任研究員(技)	勝山 聡	バイオ技術	□□□	□年 □月	□□□□
8	主任研究員(技)	高木 啓詞	バイオ技術	□□□	□年 □月	
9	主任研究員(技)	鈴木 雅博	バイオ技術	□□□	□年 □月	
10	研究員(技)	横澤 賢	バイオ技術	□□□	□年 □月	
＜機械電子科＞						
11	科長(技)	本多 正計	科総括	□□□	□年 □月	□□□□、□□□□
12	上席研究員(技)	船井 孝	機械電子技術	□□□	□年 □月	□□□□、□□□□
13	主任(技)	佐藤 廣美	機械電子技術	□□□	□年 □月	□□□□、□□□□、□□□□
14	主任研究員(技)	稲葉 綾乃	機械電子技術	□□□	□年 □月	□□□□
15	主任研究員(技)	是永 宗祐	機械電子技術	□□□	□年 □月	□□□□、□□□□
＜会計年度任用職員＞						
1	会計年度任用職員	勝間田 智美	総務事務補助	□□□	□年 □月	
2	会計年度任用職員	渡辺 力	依頼試験・技術相談等の補助	□□□	□年 □月	
平均年数（会計年度任用職員を除く）					□年 □月	

(3) 富士工業技術支援センター

(令和4年7月31日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	センター長(技)	櫻川 智史	センター総括	□□□	□年 □月	□□□□
2	研究統括官(技)	飯野 修	研究業務総括	□□□	□年 □月	
＜総務課富士分室＞						
3	分室長(事)	高松 彰	総務総括	□□□	□年 □月	□□□□
4	主査(事)	勝山 祥光	総務・会計	□□□	□年 □月	□□□□
＜技術支援担当＞						
5	上席研究員(技)	三宅 健司	企画・情報	□□□	□年 □月	
＜製紙科＞						
6	科長(技)	深沢 博之	製紙技術総括	□□□	□年 □月	□□□□
7	上席研究員(技)	伊藤 彰	製紙技術	□□□	□年 □月	
8	上席研究員(技)	河部 千香	製紙技術	□□□	□年 □月	
＜CNF科＞						
9	科長(技)	山下 昌平	CNF技術総括	□□□	□年 □月	
10	上席研究員(技)	田中 翔悟	CNF技術	□□□	□年 □月	
11	上席研究員(技)	中島 大介	CNF技術	□□□	□年 □月	
12	主任研究員(技)	前田 研司	CNF技術	□□□	□年 □月	□□□□
13	主任研究員(技)	山崎 利樹	CNF技術	□□□	□年 □月	□□□□
＜機械電子科＞						
14	科長(技)	本間 信行	機械電子技術総括	□□□	□年 □月	
15	上席研究員(技)	高木 誠	機械電子技術	□□□	□年 □月	□□□□
16	上席研究員(技)	齊藤 和明	機械電子技術	□□□	□年 □月	
17	主任研究員(技)	井出 達樹	機械電子技術	□□□	□年 □月	
＜会計年度任用職員＞						
1	会計年度任用職員	石川 真澄	総務事務補助	□□□	□年 □月	
2	会計年度任用職員	佐野 重光	製紙に関する依頼試験・研究等の補助	□□□	□年 □月	
3	会計年度任用職員	佐野 知恵	製紙に関する依頼試験・研究補助・窓口業務	□□□	□年 □月	
4	会計年度任用職員	松永 良美	製紙に関する依頼試験・研究補助・窓口業務	□□□	□年 □月	
5	会計年度任用職員	鎌田 直樹	データ入力、書類作成補助、研究補助	□□□	□年 □月	
平均年数(会計年度任用職員等を除く)					□年 □月	

(4) 浜松工業技術支援センター

(令和4年7月31日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	センター長(技)	松田 稔	センター総括	□□□	□年 □月	□□□
2	研究統括官(技)	宮原 鐘一	研究業務総括	□□□	□年 □月	□□□、□□□、□□□
＜総務課浜松分室＞						
3	分室長(事)	澤木 竜彦	総務総括	□□□	□年 □月	□□□、□□□、□□□
4	主査(事)	内藤 由衣希	総務・会計	□□□	□年 □月	□□□
5	主任(事)	増田 敏之	総務・会計	□□□	□年 □月	□□□、□□□
＜技術支援担当＞						
6	上席研究員(技)	山口 智久	企画・情報	□□□	□年 □月	
＜光科＞						
7	科長(技)	渥美 博安	科総括	□□□	□年 □月	
8	上席研究員(技)	鷺坂 芳弘	光技術	□□□	□年 □月	
9	上席研究員(技)	山下 清光	光技術	□□□	□年 □月	
10	上席研究員(技)	中野 雅晴	光技術	□□□	□年 □月	
11	上席研究員(技)	志智 亘	光技術	□□□	□年 □月	
＜機械電子科＞						
12	科長(技)	長谷川 和宏	科総括	□□□	□年 □月	
13	上席研究員(技)	山田 浩文	機械電子技術	□□□	□年 □月	□□□、□□□
14	上席研究員(技)	太田 幸宏	機械電子技術	□□□	□年 □月	
15	上席研究員(技)	長津 義之	機械電子技術	□□□	□年 □月	
16	上席研究員(技)	上野 貴康	機械電子技術	□□□	□年 □月	
17	主任(技)	三浦 清	機械電子技術	□□□	□年 □月	□□□
18	主任(技)	鈴木 一之	機械電子技術	□□□	□年 □月	□□□
19	主任研究員(技)	鈴木 悠介	機械電子技術	□□□	□年 □月	□□□、□□□、□□□、□□□
＜材料科＞						
20	科長(技)	木野 浩成	科総括	□□□	□年 □月	
21	上席研究員(技)	吉岡 正行	材料技術	□□□	□年 □月	
22	上席研究員(技)	田光 伸也	材料技術	□□□	□年 □月	□□□
23	上席研究員(技)	植松 俊明	材料技術	□□□	□年 □月	□□□
24	研究員(技)	長田 貴将	材料技術	□□□	□年 □月	
25	研究員(技)	小粥 基晴	材料技術	□□□	□年 □月	

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
＜繊維高分子材料科＞						
26	科長(技)	鈴木 重好	科総括	□□□	□年 □月	□□□
27	上席研究員(技)	針幸 達也	繊維高分子材料技術	□□□	□年 □月	□□□
28	主任(技)	植田 浩安	繊維高分子材料技術	□□□	□年 □月	□□□
29	主任研究員(技)	森田 達弥	繊維高分子材料技術	□□□	□年 □月	□□□、□□□、□□□
30	研究員(技)	大木 結以	繊維高分子材料技術	□□□	□年 □月	
＜会計年度任用職員＞						
1	会計年度任用職員	竹村 博美	総務事務補助	□□□	□年 □月	
2	会計年度任用職員	岡野 加寿代	依頼試験・技術相談等補助	□□□	□年 □月	
3	会計年度任用職員	本間 由美子	依頼試験・技術相談等補助	□□□	□年 □月	
4	会計年度任用職員	野沢 英年	依頼試験・技術相談等補助	□□□	□年 □月	
5	会計年度任用職員	鈴木 有一	依頼試験・技術相談等補助	□□□	□年 □月	
6	会計年度任用職員	平間 道弘	依頼試験・技術相談等補助	□□□	□年 □月	
7	会計年度任用職員	小野田 泰之	依頼試験・技術相談等補助	□□□	□年 □月	
8	会計年度任用職員	青島 信彦	依頼試験・技術相談等補助	□□□	□年 □月	
9	会計年度任用職員	久保田 博	依頼試験・技術相談等補助	□□□	□年 □月	
10	会計年度任用職員	山本 孝	依頼試験・技術相談等補助	□□□	□年 □月	
11	会計年度任用職員	平山 章子	依頼試験・技術相談等補助	□□□	□年 □月	
12	会計年度任用職員	吉村 吉延	依頼試験・技術相談等補助	□□□	□年 □月	
13	会計年度任用職員	石原 彰浩	依頼試験・技術相談等補助	□□□	□年 □月	
平均年数 (会計年度任用職員・臨時職員を除く)					□年 □月	

職 員 の 年 齢 調

(令和4年7月31日現在)

年 齢	工業技術研究所 (静岡)		沼津工業技術 支援センター		富士工業技術 支援センター		浜松工業技術 支援センター		合 計	
	人 員	摘 要	人 員	摘 要	人 員	摘 要	人 員	摘 要	人 員	摘 要
20歳未満	人		人		人		人		0人	
20歳以上30歳未満	1人		1人		人		3人		5人	
30歳以上40歳未満	16人		5人		6人		4人		31人	
40歳以上50歳未満	10人		1人		3人		7人		21人	
50歳以上56歳未満	13人		3人		5人		7人		28人	
56歳以上61歳未満	10人		4人		3人		6人	再任用1	23人	
61歳以上	5人	再任用5	1人	再任用1	人		3人	再任用3	9人	
計	55人	平均年齢 46.8歳	15人	平均年齢 46.8歳	17人	平均年齢 45.1歳	30人	平均年齢 48.2歳	117人	平均年齢 46.9歳

健 康 管 理

1 令和3年度受診状況

区 分		内 容				合計
		工業技術研究所(静岡)	沼津工業技術支援センター	富士工業技術支援センター	浜松工業技術支援センター	
受診状況	受診者数	57人	15人	15人	30人	117人
	職員数	57人	15人	15人	30人	117人
受診率		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
県平均受診率		100.0%				

2 令和4年度在籍者の健康管理区分結果

(令和4年7月31日現在)

健 康 管 理 区 分		人 数				合計	
		工業技術研究所(静岡)	沼津工業技術支援センター	富士工業技術支援センター	浜松工業技術支援センター		
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。	(1) 1人	() 人	(1) 1人	() 人	(2) 2人	
B1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要治療	() 人	() 人	() 人	() 人	
B2		要経過観察	() 人	() 人	() 人	() 人	
C1	勤務をほぼ平常に行っておりが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要治療	(1) 1人	() 人	() 人	(1) 1人	
C2		要経過観察	() 人	() 人	() 人	() 人	
D1	平常の勤務でよい。	要治療	(19) 19人	(3) 3人	(6) 6人	(9) 9人	(37) 37人
D2		要経過観察	(15) 15人	(8) 8人	(6) 6人	(16) 16人	(45) 45人
D3		医療不要	(17) 17人	(4) 4人	(4) 4人	(5) 5人	(30) 30人
区分者計		(53) 53人	(15) 15人	(17) 17人	(30) 30人	(115) 115人	
未区分者数		() 2人	() 0人	() 0人	() 0人	() 2人	
合 計		(53) 55人	(15) 15人	(17) 17人	(30) 30人	(115) 117人	

(1) 管理区分A～C2該当者に対する措置状況

面談等をしながらか業務調整の必要性や健康状態の確認を行っている。

(2) 未区分の理由

ア 産休・育休 人
 イ 新規採用 2人
 ウ 自己都合による未受診 人
 エ その他 人

職 員 配 置 調

(令和4年7月31日現在)

区 分	工業技術研究所										沼津工業技術支援センター				富士工業技術支援センター					浜松工業技術支援センター						合 計					
	総務課	企画調整部	金属材料科	化学材料科	機械電子科	照明音響科	食品科	環境エネルギー科	ユニバーサルデザイン科	工芸科	小 計	総務課沼津分室	技術支援担当	バイオ科	機械電子科	小 計	総務課富士分室	技術支援担当	製紙科	CNF科	機械電子科	小 計	総務課浜松分室	技術支援担当	光科		機械電子科	材料科	繊維高分子材料科	小 計	
所在地	静岡市葵区牧ヶ谷										沼津市大岡				富士市大淵					浜松市北区新都田											
担当区域																															
配置職員	職員(事)	3	2								5	2				2	2					2	2						2	11	
	職員(技)	4	4	4	5	6	5	6	4	4	3	45	2	1	5	4	12	2	1	3	5	4	15	2	1	5	6	6	4	24	96
	再任用職員(事)	1										1												1						1	2
	再任用職員(技)			1								4				1	1										2		1	3	8
	会計年度任用職員	()	(3)	(1)	()	()	()	()	(1)	()	(2)	(7)	(1)	()	()	(1)	(2)	(1)	()	(3)	(1)	()	(5)	(1)	(2)	()	(2)	(4)	(3)	(12)	(26)
	臨時的任用職員	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
計	8	6	5	5	6	5	6	4	5	5	55	4	1	5	5	15	4	1	3	5	4	17	5	1	5	8	6	5	30	117	
	()	(3)	(1)	()	()	()	()	(1)	()	(2)	(7)	(1)	()	()	(1)	(2)	(1)	()	(3)	(1)	()	(5)	(1)	(2)	()	(2)	(4)	(3)	(12)	(26)	

*所属長は総務課に、センター長は総務課分室に、研究統括官及び研究調整官は総務課、総務課分室に記載

第 2 工業技術研究所(静岡市)

[財務事務]

歳 入 予 算

一般会計

区 分	調 定 額 A 円	収 入 済 額	
		納 期 内 B 円	納 期 後 C 円
款 08使用料及び手数料	24,480	24,480	0
項 01使用料	24,480	24,480	0
目 06経済産業使用料	24,480	24,480	0
13庁舎等使用料	24,480	24,480	0
款 10財産収入	155,100	155,100	0
項 01財産運用収入	144,100	144,100	0
目 01財産貸付収入	144,100	144,100	0
03建物貸付料	144,100	144,100	0
項 02財産売払収入	11,000	11,000	0
目 02物品売払収入	11,000	11,000	0
01不用品売払収入	11,000	11,000	0
款 14諸収入	12,538,380	12,458,007	80,373
項 05受託事業収入	9,835,774	9,835,774	0
目 04経済産業受託事業収入	9,835,774	9,835,774	0
01工業技術研究受託料	9,835,774	9,835,774	0
項 08雑入	2,702,606	2,622,233	80,373
目 02雑入	2,702,606	2,622,233	80,373
76保険料負担金	1,398,302	1,398,302	0
非常勤職員	1,398,302	1,398,302	0
79雑収	1,304,304	1,223,931	80,373
雑収	1,101,275	1,101,275	0
特許実施料等収入	203,029	122,656	80,373
計	12,717,960	12,637,587	80,373

執 行 状 況 調

(令和 3年度)
(令和 4年 5月31日現在)

不 納 欠 損 額 D	収 入 未 済 額			収 入 歩 合 $\frac{B+C}{A-D-F}$	納 期 内 収 入 率 $\frac{B}{A-D-F}$
	納 期 限 経 過 E	納 期 限 未 到 来 F	計		
円	円	円	円	%	%
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	99.3
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	97.0
0	0	0	0	100.0	97.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	93.8
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	60.4
0	0	0	0	100.0	99.3

ZIB0090
ZIRB0090

歳 入 予 算

一般会計

区 分	調 定 額 A 円	収 入 済 額	
		納 期 内 B 円	納 期 後 C 円
款 08使用料及び手数料	24,450	24,450	0
項 01使用料	24,450	24,450	0
目 06経済産業使用料	24,450	24,450	0
12庁舎等使用料	24,450	24,450	0
款 10財産収入	594,000	594,000	0
項 01財産運用収入	594,000	594,000	0
目 01財産貸付収入	594,000	594,000	0
03建物貸付料	594,000	594,000	0
款 14諸収入	2,548,426	2,534,751	0
項 04受託事業収入	1,329,185	1,329,185	0
目 04経済産業受託事業収入	1,329,185	1,329,185	0
01工業技術研究受託料	1,329,185	1,329,185	0
項 07雑入	1,219,241	1,205,566	0
目 02雑入	1,219,241	1,205,566	0
81保険料負担金	373,927	373,927	0
非常勤職員	373,927	373,927	0
84雑収	845,314	831,639	0
雑収	765,855	752,180	0
特許実施料等収入	79,459	79,459	0
計	3,166,876	3,153,201	0

執行状況調

(令和4年度)
(令和4年7月31日現在)

不納欠損額 D	収入未済額			収入歩合 $\frac{B+C}{A-D-F}$	納期内収入率 $\frac{B}{A-D-F}$
	納期限経過 E	納期限未到来 F	計		
円	円	円	円	%	%
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	13,675	13,675	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	13,675	13,675	100.0	100.0
0	0	13,675	13,675	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	13,675	13,675	100.0	100.0
0	0	13,675	13,675	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	13,675	13,675	100.0	100.0
0	0	13,675	13,675	100.0	100.0
0	0	0	0	100.0	100.0
0	0	13,675	13,675	100.0	100.0

ZIB0090
ZIRB0090

様式第5号-2

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和3年度		令和4年度 (令和4年7月31日現在)	
	件 数		件 数	
分析等の依頼試験手数料	10,583 件 18,921,360 円		8,974 件 5,222,370 円	
機械器具及び装置使用料	28,885 時間 23,620,700 円		2,992 時間 6,519,070 円	
研修施設等使用料	155 時間 316,450 円		75 時間 89,550 円	

様式第7号

現 金 出 納 調

(令和3年度)
(令和4年3月31日現在)

区 分	受 入 額			払出額	残 高	出納員領収書 発行総額及び 枚数	現金払込調書兼 領収書総額及び枚 数
	越 高	受 高	計				
02 雑入	0 円	50 円	50 円	50 円	0 円	50 円 1 枚	50 円 1 枚

※令和4年度は該当なし (令和4年7月31日現在)

様式第7号-2

保 管 現 金 有 高 調

(令和4年度)
(令和4年7月31日現在)

現金保管者	区 分	金 額 円
静岡県工業技術研究所長	駐車場利用料金及び 有料道路通行料継続的資金前渡	28,400円

様式第7号-3

預 金 調

(令和4年度)
(令和4年7月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口 座 名 義 人	残高 円	摘 要
静岡銀行 安西支店	無利息型 普通預金	0560529	静岡県工業技術研究所 資金前渡者 杉山 直人	0	負担金等の支払
静岡銀行 安西支店	無利息型 普通預金	0560530	(自振口) 静岡県工業技術研究所 資金前渡者 杉山 直人	0	公共料金支払
残 高 合 計				0	

郵券等受払調

(令和4年7月31日現在)
(単位:枚、円)

区分	種類	3年度						4年度						備考			
		繰越		受入		払出		繰越		受入		払出			差引現在高		
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額		枚数	金額	
	1円券	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	書類発送用 及び返信用
	2円券	14	28	0	0	3	6	0	0	0	0	0	0	0	11	22	"
	5円券	5	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	25	"
	10円券	29	290	10	100	13	130	0	0	0	0	0	0	0	26	260	"
	63円券	1	63	0	0	1	63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	"
	84円券	16	1,344	20	1,680	7	588	0	0	0	0	0	0	3	252	2,184	"
	120円券	14	1,680	0	0	1	120	0	0	0	0	0	0	0	13	1,560	"
	140円券	13	1,820	0	0	6	840	0	0	0	0	0	0	0	7	980	"
	200円券	28	5,600	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	5,600	"
	205円券	5	1,025	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1,025	"
	ハガキ (50円)	1	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	50	通信用
	ハガキ (52円)	1	52	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	52	"
	往復ハガキ (100円)	6	600	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	600	"
	往復ハガキ (104円)	3	312	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	312	"
	計		12,890		1,780		1,748		0		12,922		0		252	12,670	
	タクシー チケット	18		0		0		0		18		0		0	18		出張用
	計	18		0		0		0		18		0		0	18		無効処理分

様式第8号

歳入歳出外現金調

(令和3年度)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
保証金	円 14,410	円 59,400	円 0	円 73,810	
計	14,410	59,400	0	73,810	

様式第8号

歳入歳出外現金調

(令和4年度)

(令和4年7月31日現在)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
保証金	円 73,810	円 0	円 14,410	円 59,400	
計	73,810	0	14,410	59,400	

歳出予算執行状況調

(令和3年度)
(令和4年5月31日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 04 経営管理費	9,063,722	9,063,722	0	
項 01 経営管理費	9,063,722	9,063,722	0	
目 01 一般総務費	2,945,247	2,945,247	0	
01 報酬	1,258,042	1,258,042	0	
03 非常勤職員報酬	1,258,042	1,258,042	0	
03 職員手当等	279,184	279,184	0	
01 その他の職員手当等	279,184	279,184	0	
04 共済費	1,354,629	1,354,629	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	1,354,629	1,354,629	0	
08 旅費	53,392	53,392	0	
01 その他の旅費	53,392	53,392	0	
目 03 行政経営費	264,400	264,400	0	
08 旅費	264,400	264,400	0	
02 普通旅費	264,400	264,400	0	
目 04 職員厚生費	7,003	7,003	0	
11 役務費	7,003	7,003	0	
目 05 資産経営費	5,847,072	5,847,072	0	
10 需用費	413,072	413,072	0	
01 その他の需用費	413,072	413,072	0	
14 工事請負費	5,434,000	5,434,000	0	
款 06 スポーツ・文化観光費	2,360	2,360	0	
項 02 スポーツ費	2,360	2,360	0	
目 01 スポーツ費	2,360	2,360	0	
08 旅費	2,360	2,360	0	
02 普通旅費	2,360	2,360	0	
款 07 健康福祉費	26,220	26,220	0	
項 06 感染症対策費	26,220	26,220	0	
目 01 感染症対策費	26,220	26,220	0	

(令和3年度)
(令和4年5月31日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
08 旅費	26,220	26,220	0	
02 普通旅費	26,220	26,220	0	
款 08 経済産業費	315,710,315	315,710,315	0	
項 01 経済産業費	716,970	716,970	0	
目 02 経済産業企画費	716,970	716,970	0	
08 旅費	10,220	10,220	0	
02 普通旅費	10,220	10,220	0	
12 委託料	706,750	706,750	0	
項 02 産業革新費	119,111,306	119,111,306	0	
目 01 産業革新費	119,111,306	119,111,306	0	
07 報償費	196,500	196,500	0	
01 その他の報償費	196,500	196,500	0	
08 旅費	283,790	283,790	0	
01 その他の旅費	22,470	22,470	0	
02 普通旅費	261,320	261,320	0	
10 需用費	20,252,407	20,252,407	0	
01 その他の需用費	20,252,407	20,252,407	0	
11 役務費	1,980,786	1,980,786	0	
12 委託料	35,679,403	35,679,403	0	
13 使用料及び賃借料	57,150	57,150	0	
14 工事請負費	4,039,090	4,039,090	0	
17 備品購入費	56,012,660	56,012,660	0	
18 負担金、補助及び交付金	609,520	609,520	0	
項 04 商工業費	195,882,039	195,882,039	0	
目 01 商工業費	195,882,039	195,882,039	0	
01 報酬	6,252,386	6,252,386	0	
03 非常勤職員報酬	6,252,386	6,252,386	0	
03 職員手当等	1,386,866	1,386,866	0	

経済産業部 工業技術研究所

ZIB0030
ZIRB0030

(令和3年度)
(令和4年5月31日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
01 その他の職員手当等	1,386,866	1,386,866	0	
04 共済費	2,414,150	2,414,150	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	2,414,150	2,414,150	0	
07 報償費	627,007	627,007	0	
01 その他の報償費	627,007	627,007	0	
08 旅費	779,957	779,957	0	
01 その他の旅費	247,177	247,177	0	
02 普通旅費	532,780	532,780	0	
10 需用費	56,084,792	56,084,792	0	
01 その他の需用費	56,084,792	56,084,792	0	
02 食糧費	0	0	0	
11 役務費	4,515,905	4,515,905	0	
12 委託料	63,812,669	63,812,669	0	
13 使用料及び賃借料	7,743,607	7,743,607	0	
14 工事請負費	3,443,000	3,443,000	0	
17 備品購入費	48,400,000	48,400,000	0	
18 負担金、補助及び交付金	411,700	411,700	0	
26 公課費	10,000	10,000	0	
計	324,802,617	324,802,617	0	

歳出予算執行状況調

(令和4年度)
(令和4年7月31日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 04 経営管理費	10,366,040	1,428,664	8,937,376	
項 01 経営管理費	10,366,040	1,428,664	8,937,376	
目 01 一般総務費	7,171,040	1,428,664	5,742,376	
01 報酬	3,731,000	678,527	3,052,473	
03 非常勤職員報酬	3,731,000	678,527	3,052,473	
03 職員手当等	707,000	170,794	536,206	
01 その他の職員手当等	707,000	170,794	536,206	
04 共済費	2,592,040	548,695	2,043,345	
01 地方公務員共済組合に 対する負担金	272,538	0	272,538	
02 報酬、給料及び賃金に 係る社会保険料	2,319,502	548,695	1,770,807	
08 旅費	141,000	30,648	110,352	
01 その他の旅費	141,000	30,648	110,352	
目 05 資産経営費	3,195,000	0	3,195,000	
10 需用費	195,000	0	195,000	
01 その他の需用費	195,000	0	195,000	
14 工事請負費	3,000,000	0	3,000,000	
款 08 経済産業費	229,166,088	29,181,534	199,984,554	
項 01 経済産業費	11,000	3,690	7,310	
目 02 経済産業企画費	11,000	3,690	7,310	
08 旅費	11,000	3,690	7,310	
02 普通旅費	11,000	3,690	7,310	
項 02 産業革新費	37,097,000	3,769,877	33,327,123	
目 01 産業革新費	37,097,000	3,769,877	33,327,123	
07 報償費	178,000	20,000	158,000	
01 その他の報償費	178,000	20,000	158,000	
08 旅費	3,351,000	130,200	3,220,800	
01 その他の旅費	138,000	0	138,000	
02 普通旅費	3,213,000	130,200	3,082,800	

経済産業部 工業技術研究所

ZIB0030
ZIRB0030

(令和4年度)
(令和4年7月31日現在)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
10 需用費	8,754,000	1,903,452	6,850,548	
01 その他の需用費	8,754,000	1,903,452	6,850,548	
11 役務費	2,144,000	39,600	2,104,400	
12 委託料	15,539,000	1,474,495	14,064,505	
13 使用料及び賃借料	114,000	0	114,000	
17 備品購入費	5,800,000	0	5,800,000	
18 負担金、補助及び交付金	1,217,000	202,130	1,014,870	
項 04 商工業費	192,058,088	25,407,967	166,650,121	
目 01 商工業費	192,058,088	25,407,967	166,650,121	
01 報酬	6,298,000	1,570,732	4,727,268	
03 非常勤職員報酬	6,298,000	1,570,732	4,727,268	
03 職員手当等	1,306,000	538,598	767,402	
01 その他の職員手当等	1,306,000	538,598	767,402	
04 共済費	2,207,000	357,654	1,849,346	
01 地方公務員共済組合に対する負担金	208,000	0	208,000	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	1,999,000	357,654	1,641,346	
07 報償費	1,873,000	20,000	1,853,000	
01 その他の報償費	1,873,000	20,000	1,853,000	
08 旅費	1,913,880	180,685	1,733,195	
01 その他の旅費	671,000	41,225	629,775	
02 普通旅費	1,242,880	139,460	1,103,420	
10 需用費	53,363,555	9,646,611	43,716,944	
01 その他の需用費	53,356,555	9,646,611	43,709,944	
02 食糧費	7,000	0	7,000	
11 役務費	5,435,653	783,045	4,652,608	
12 委託料	57,921,000	10,084,800	47,836,200	
13 使用料及び賃借料	8,383,000	1,929,272	6,453,728	
17 備品購入費	52,514,000	0	52,514,000	

一般会計 (令和4年度)
(令和4年7月31日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
18負担金、補助及び交付金	806,000	291,570	514,430	
26公課費	37,000	5,000	32,000	
計	239,532,128	30,610,198	208,921,930	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					令和2年度	令和3年度	左のうち、前年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	経済産業費	経済産業費	経済産業企画費	/	706,750	/
		経済産業費	産業革新費	産業革新費		35,679,403	
		経済産業費	商工業費	商工業費		63,812,669	
計					0	100,198,822	0
(14) 工事請負費	一般会計	経営管理費	経営管理費	資産経営費	/	5,434,000	/
		経営管理費	産業革新費	産業革新費		4,039,090	
		経済産業費	商工業費	商工業費		3,443,000	
計					0	12,916,090	0
(16) 公有財産購入費					/	0	/
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般会計	経済産業費	産業革新費	産業革新費	/	56,012,660	/
		経済産業費	商工業費	商工業費		48,400,000	
計					0	104,412,660	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	経済産業費	産業革新費	産業革新費	/	609,520	/
		経済産業費	商工業費	商工業費		411,700	
計					0	1,021,220	0
(21) 補償、補填及び賠償金					/	0	/
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和4年度)

(令和4年7月31日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
						うち、前年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	経済産業費	産業革新費	産業革新費	1,474,495	0
		経済産業費	商工業費	商工業費	10,084,800	0
						0
計					11,559,295	0
(14) 工事請負費	一般会計	経営管理費	経営管理費	資産経営費	0	0
						0
						0
計					0	0
(16) 公有財産購入費					0	0
計					0	0
(17) 備品購入費	一般会計	経済産業費	産業革新費	産業革新費	0	0
		経済産業費	商工業費	商工業費	0	0
計					0	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	経済産業費	産業革新費	産業革新費	202,130	0
		経済産業費	商工業費	商工業費	291,570	0
計					493,700	0
(21) 補償、補填及び賠償金					0	0
計					0	0

余 白

委託料に

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法
				当初額	変更増減額	計	
	(事務関係)		円	円	円	円	
1	設備総合管理業務	㈱メンテックカンザイ	14,852,200	14,410,000		14,410,000	一般
2	庁舎清掃業務	静岡ビル保善㈱	9,040,900	9,020,000		9,020,000	一般
3	排水処理施設維持管理業務	ニッケン消毒㈱	6,431,700	6,270,000		6,270,000	一般
4	空調設備等保守点検業務	㈱ユアーズ静岡	6,083,000	5,940,000		5,940,000	一般
5	自家発電設備保守点検業務	㈱明電エンジニアリング静岡支店	836,000	836,000		836,000	随契
6	庁舎警備業務	セコム㈱	1,485,000	1,485,000		1,485,000	随契

関する調

(令和3年度)

契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
R3.4.1 ~ R4.3.31	R 3/ 5/31 R 3/ 6/30 R 3/ 7/30 R 3/ 8/31 R 3/ 9/30 R 3/10/29 R 3/11/30 R 3/12/23 R 4/ 1/31 R 4/ 2/28 R 4/ 3/25 R 4/ 4/28	円 1,034,000 1,358,500 1,094,500 1,026,300 1,276,000 1,080,200 1,023,000 1,188,000 1,056,000 1,094,500 1,188,000 1,991,000 14,410,000	電気、空調、給排水衛生設備の運転管理及び環境測定等の業務	
R3.4.1 ~ R4.3.31	R 3/ 5/28 R 3/ 6/29 R 3/ 7/30 R 3/ 8/31 R 3/ 9/28 R 3/10/29 R 3/11/30 R 3/12/23 R 4/ 1/31 R 4/ 2/28 R 4/ 3/25 R 4/ 4/28	792,000 748,000 748,000 748,000 748,000 748,000 748,000 748,000 748,000 748,000 748,000 748,000 9,020,000	庁内の日常清掃及び床ワックスがけ等の定期清掃業務	
R3.4.1 ~ R4.3.31	R 3/ 5/31 R 3/ 6/30 R 3/ 7/30 R 3/ 8/31 R 3/ 9/30 R 3/10/29 R 3/11/30 R 3/12/23 R 4/ 1/31 R 4/ 2/28 R 4/ 3/25 R 4/ 4/28	522,500 522,500 522,500 522,500 522,500 522,500 522,500 522,500 522,500 522,500 522,500 522,500 6,270,000	特殊排水処理及び浄化槽維持管理業務	
R3.4.1 ~ R4.3.31	R 3/ 7/30 R 3/10/29 R 4/ 1/31 R 4/ 4/28	1,485,000 1,485,000 1,485,000 1,485,000 5,940,000	空調用冷温水発生機及び恒温恒湿室用パッケージエアコン等の保守点検業務	
R3.4.1 ~ R4.3.31	R 4/ 4/28	836,000	非常用自家発電設備の保守点検業務	随契1号 (少額)
R3.4.1 ~ R4.3.31	R 3/ 5/31 R 3/ 6/30 R 3/ 7/30 R 3/ 8/31 R 3/ 9/30 R 3/10/29 R 3/11/30 R 3/12/23 R 4/ 1/31 R 4/ 2/28 R 4/ 3/25 R 4/ 4/28	123,750 123,750 123,750 123,750 123,750 123,750 123,750 123,750 123,750 123,750 123,750 123,750 1,485,000	庁舎の警備 (機械警備) 業務	随契2号 (不適)

委託料に

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法
				当初額	変更増減額	計	
	(事務関係)		円	円	円	円	
7	エレベータ保守点検業務	東芝エレベータ(株)静岡支店	1,795,200	1,795,200		1,795,200	随契
8	消防用設備保守点検業務	鈴与技研(株)	550,000	550,000		550,000	随契
9	廃棄物運搬処理業務	(株)岩本商店	660,000	660,000		660,000	随契
10	構内電話交換設備等保守点検業務	静岡電話工業(株)	765,600	765,600		765,600	随契
11	自動扉保守点検業務	中日本オート・ドア(株)	104,500	104,500		104,500	随契
12	排煙トップライト保守点検業務	ナブコシステム(株)静岡支店	107,800	107,800		107,800	随契
13	ネットワークプリンタ保守業務	リコージャパン(株)静岡支社MA第一営業部	136,950	136,950		136,950	随契
14	しずおかデザイン情報サービス保守業務	(有)オフィスタグ	105,600	105,600		105,600	随契
15	ホームページメールマガジン機能保守業務	(有)オフィスタグ	99,000	99,000		99,000	随契

関 する 調

(令和3年度)

契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
R3.4.1 ~ R4.3.31	R 3/ 5/31	149,600	エレベータの保守及び定期点検業務	随契2号 (不適)
	R 3/ 6/30	149,600		
	R 3/ 7/30	149,600		
	R 3/ 8/31	149,600		
	R 3/ 9/30	149,600		
	R 3/10/29	149,600		
	R 3/11/30	149,600		
	R 3/12/23	149,600		
	R 4/ 1/31	149,600		
	R 4/ 2/28	149,600		
	R 4/ 3/25	149,600		
R 4/ 4/28	149,600			
		1,795,200		
R3.4.1 ~ R4.3.31	R 3/10/29	275,000	消防用設備の保守点検業務	随契1号 (少額)
	R 4/ 4/28	275,000		
		550,000		
R3.4.1 ~ R4.3.31	R 3/10/29	330,000	一般廃棄物の定期的運搬処理業務	随契1号 (少額)
	R 4/ 4/28	330,000		
		660,000		
R3.4.1 ~ R4.3.31	R 3/ 5/31	63,800	構内電話交換設備等の保守及び定期点検業務	随契1号 (少額)
	R 3/ 6/30	63,800		
	R 3/ 7/30	63,800		
	R 3/ 8/31	63,800		
	R 3/ 9/30	63,800		
	R 3/10/29	63,800		
	R 3/11/30	63,800		
	R 3/12/23	63,800		
	R 4/ 1/31	63,800		
	R 4/ 2/28	63,800		
	R 4/ 3/25	63,800		
R 4/ 4/28	63,800			
		765,600		
R3.4.1 ~ R4.3.31	R 4/ 4/28	104,500	入口自動ドアの保守点検業務	随契1号 (少額)
R3.4.1 ~ R4.3.31	R 4/ 4/28	107,800	非常用排煙トップライトの保守点検業務	随契1号 (少額)
R3.4.1 ~ R4.3.31	R 4/ 4/28	136,950	SDOその他所内リコー製ネットワークプリンタの保守点検業務	随契1号 (少額)
R3.4.1 ~ R4.3.31	R 3/ 5/28	8,800	しずおかデザイン情報サービスの保守業務	随契1号 (少額)
	R 3/ 6/30	8,800		
	R 3/ 7/30	8,800		
	R 3/ 8/30	8,800		
	R 3/ 9/30	8,800		
	R 3/10/29	8,800		
	R 3/11/30	8,800		
	R 3/12/27	8,800		
	R 4/ 1/28	8,800		
	R 4/ 2/25	8,800		
	R 4/ 3/25	8,800		
R 4/ 4/25	8,800			
		105,600		
R3.4.1 ~ R4.3.31	R 3/ 5/28	8,250	ホームページメールマガジン機能の保守業務	随契1号 (少額)
	R 3/ 6/30	8,250		
	R 3/ 7/30	8,250		
	R 3/ 8/30	8,250		
	R 3/ 9/30	8,250		
	R 3/10/29	8,250		
	R 3/11/30	8,250		
	R 3/12/27	8,250		
	R 4/ 1/28	8,250		
	R 4/ 2/25	8,250		
	R 4/ 3/25	8,250		
R 4/ 4/25	8,250			
		99,000		

整理番号	委 託 名 業 務 名	受 託 者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法
				当初額	変 更 増減額	計	
	(事務関係)		円	円	円	円	
16	機械構造解析装置保守業務	㈱日立ソリューションズ	958,320	958,320		958,320	随契
17	香気成分分析装置保守点検業務	協立電機㈱	1,188,000	1,188,000		1,188,000	随契
18	走査電子顕微鏡保守点検業務	オザワ科学㈱静岡営業所	709,060	709,060	△ 275,000	434,060	随契
19	視認性評価システムソフトウェア保守業務	㈱インテグラ	743,047	743,047		743,047	随契
20	蛍光 X 線分析装置保守点検業務	オザワ科学㈱静岡営業所	618,200	618,200		618,200	随契
21	非接触表面性状測定機保守点検業務	アメテック㈱テラーホブソン事業部	622,600	622,600		622,600	随契
22	ガスクロマトグラフ保守点検業務	協立電機㈱	1,980,000	1,980,000		1,980,000	随契
23	光学・照明設計ソフトウェア保守業務	㈱モアソンジャパン営業本部	807,345	807,345		807,345	随契
24	庁舎樹木管理業務	源平造園建設㈱	1,279,300	1,210,000		1,210,000	一般
25	微細加工試料製作業務	メガロ化工㈱	1,430,000	1,430,000		1,430,000	随契
26	化粧品等関連産業応用技術の開発業務	静岡県公立大学法人	11,198,000	11,198,000		11,198,000	随契
27	三次元データ処理・解析システム保守業務	㈱モアソンジャパンソリューション営業本部	660,000	660,000		660,000	随契
28	E P M A ・ X D - D 1 収集・運搬業務	日本産業廃棄物処理㈱	2,513,500	1,672,000		1,672,000	一般
29	E P M A ・ X D - D 1 処分業務	三和金属㈱		145,200		145,200	一般
30	E P M A ・ X D - D 2 処分業務	サンエイ㈱		264,000		264,000	一般
31	E P M A ・ X D - D 3 処分業務	㈱エコネコル		258,500		258,500	一般
32	E P M A ・ X D - D 4 処分業務	㈱関口フレーム		158,400		158,400	一般
33	X D - D 1 処分業務	j & T 環境㈱		15,400		15,400	一般
34	I o T 導入支援事業紹介動画制作業務	㈱静鉄アド・パートナーズ	957,000	706,750		706,750	随契
35	通信プラットフォーム開発業務	㈱モアソンジャパン営業本部	8,800,000	8,360,000		8,360,000	随契
36	廃薬品等収集・運搬及び処分業務	㈱マルサワ	156,718	156,718		156,718	随契
37	ビルトインチャンバー処分業務	都商事㈱	407,000	407,000		407,000	随契
38	全有機体炭素・窒素計点検業務	東海理機㈱	417,978	417,978		417,978	随契
39	不燃物収集運搬業務	㈱岩本商店	35,200	35,200		35,200	随契
40	不燃物処分業務	都商事㈱	59,400	59,400		59,400	随契
41	I C P 発光分光分析装置点検業務	㈱ヨシキ	567,380	567,380		567,380	随契
42	マイクロウェーブ試料前処理システム点検業務	㈱ヨシキ	165,000	165,000		165,000	随契
43	熱定数測定装置保守点検業務	竹田理化工業㈱三島支店	242,000	242,000		242,000	随契
44	ウェブサイト及びメールマガジン配信サービス改修業務	㈹オフィスタグ	1,298,000	1,298,000		1,298,000	随契
45	無電解ニッケル鍍金業務	神谷理研㈱	13,200	13,200		13,200	随契
46	建築基準法第 1 2 条に基づく外壁全面打診調査業務	㈱田中忠雄建築設計事務所	9,174,000	6,435,000		6,435,000	一般

関する調

(令和3年度)

契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
R3.4.1 ~ R4.3.31	R 3/ 7/30 R 3/10/29 R 4/ 1/28 R 4/ 4/25	円 239,580 239,580 239,580 239,580 958,320	機械構造解析装置の保守業務	随契1号 (少額)
R3.4.1 ~ R4.3.31	R 4/ 4/25	1,188,000	香気成分分析装置の保守点検業務	随契2号 (不適)
R3.4.1 ~ R3.9.30	R 3/10/29	434,060	走査電子顕微鏡の保守点検業務	随契1号 (少額)
R3.4.1 ~ R4.3.31	R 4/ 4/25	743,047	視認性評価システムソフトウェア保守業務	随契1号 (少額)
R3.4.1 ~ R4.3.31	R 4/ 4/25	618,200	蛍光X線分析装置保守点検業務	随契1号 (少額)
R3.4.1 ~ R4.3.31	R 4/ 4/25	622,600	非接触表面性状測定機の保守点検業務	随契1号 (少額)
R3.4.1 ~ R4.3.31	R 4/ 4/25	1,980,000	ガスクロマトグラフ保守点検業務	随契2号 (不適)
R3.4.1 ~ R4.3.31	R 3/ 4/28	807,345	光学・照明設計ソフトウェアの保守業務	随契1号 (少額)
R3.7.8 ~ R3.11.30	R 3/11/26	1,210,000	庁舎樹木の剪定及び薬剤散布業務	
R3.7.14 ~ R3.10.29	R 3/11/18	1,430,000	微細加工試料製作業務	随契2号 (不適)
R3.7.16 ~ R4.3.25	R 3/ 8/10	11,198,000	化粧品等関連産業応用技術の開発業務	随契2号 (不適)
R3.7.20 ~ R4.3.31	R 3/ 8/11	660,000	三次元データ処理・解析システム保守業務	随契1号 (少額)
R3.7.30 ~ R4.3.31	R 3/12/7	1,672,000	E PMA・XD-D 1 収集・運搬業務	
R3.7.30 ~ R4.3.31	R 3/12/7	145,200	E PMA・XD-D 1 処分業務	
R3.7.30 ~ R4.3.31	R 3/12/7	264,000	E PMA・XD-D 2 処分業務	
R3.7.30 ~ R4.3.31	R 3/12/7	258,500	E PMA・XD-D 3 処分業務	
R3.7.30 ~ R4.3.31	R 3/12/7	158,400	E PMA・XD-D 4 処分業務	
R3.7.20 ~ R4.3.31	R 3/12/27	15,400	XD-D 1 処分業務	
R3.8.5 ~ R3.10.15	R 3/ 11/8	706,750	I o T導入支援事業紹介動画制作業務	随契1号 (少額)
R3.8.30 ~ R4.1.11	R 4/ 2/14	8,360,000	通信プラットフォーム開発業務	随契2号 (不適)
R3.9.7 ~ R3.12.6	R 3/10/18	156,718	廃薬品等収集・運搬及び処分業務	随契1号 (少額)
R3.9.22 ~ R3.11.30	R 3/11/24	407,000	ビルトインチャンバー処分業務	随契1号 (少額)
R3.10.12 ~ R3.12.28	R 3/11/19	417,978	全有機体炭素・窒素計点検業務	随契1号 (少額)
R3.10.15 ~ R3.12.15	R 3/11/24	35,200	不燃物収集運搬業務	随契1号 (少額)
R3.10.15 ~ R3.12.15	R 3/12/27	59,400	不燃物処分業務	随契1号 (少額)
R3.11.1 ~ R4.1.31	R 3/12/21	567,380	I C P 発光分光分析装置点検業務	随契1号 (少額)
R3.11.1 ~ R4.1.31	R 3/12/21	165,000	マイクロウェーブ試料前処理システム点検業務	随契1号 (少額)
R3.11.5 ~ R4.2.15	R 4/ 1/11	242,000	熱定数測定装置保守点検業務	随契1号 (少額)
R3.11.10 ~ R4.3.14	R 4/ 4/15	1,298,000	ウェブサイト及びメールマガジン配信サービス改修業務	随契2号 (不適)
R3.11.12 ~ R3.12.3	R 3/12/14	13,200	無電解ニッケル鍍金業務	随契1号 (少額)
R3.11.17 ~ R4.3.15	R 4/ 4/15	6,435,000	建築基準法第12条に基づく外壁全面打診調査業務	

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法
				当初額	変更増減額	計	
	(事務関係)		円	円	円	円	
47	アルマイト処理業務	㈱ミヤキ	44,000	44,000		44,000	随契
48	マイクロプリズムアレイ製作業務	ハイデンベルグ・インストルメンツ㈱	3,300,000	3,300,000		3,300,000	随契
49	マウスの腸内細菌叢解析に係る試験業務	㈱テクノスルガ・ラボ	313,280	313,280		313,280	随契
50	クロマトグラフ点検調整業務	㈱ヨシキ	2,241,184	2,240,700		2,240,700	一般
51	供試体固定治具製作業務	メガロ化工㈱	440,000	440,000		440,000	随契
52	測定精度評価試料製作業務	メガロ化工㈱	596,200	596,200		596,200	随契
53	C r Nコーティング処理業務	ビヨンス㈱	28,160	28,160		28,160	随契
54	万能引張試験機ロードセル校正点検業務	オザワ科学㈱静岡営業所	348,700	348,700		348,700	随契
55	伊豆松崎産「オオシマザクラ葉抽出エキス」の開発業務	㈱エコライフラボ	506,000	506,000		506,000	随契
56	I o T導入バック保守・追加開発業務	㈱テクノサイト	1,672,000	1,672,000		1,672,000	随契
57	高精度自由曲面測定機点検業務	パナソニックF Sエンジニアリング㈱名古屋オフィス	577,500	577,500		577,500	随契
58	廃棄備品等処分業務	㈱静岡資源	181,060	181,060		181,060	随契
59	廃棄品等収集運搬処理業務	㈱マルサワ	175,549	175,549		175,549	随契
60	「I o T推進ラボ紹介パンフレット」制作業務	㈱エイエイピー静岡支店	429,000	429,000		429,000	随契
61	廃棄備品(重量物)処分業務	㈱山一カレット	169,125	169,125		169,125	随契
62	不燃物収集運搬業務	㈱岩本商店	58,300	58,300		58,300	随契
63	不燃物処分業務	都商事㈱	157,300	157,300		157,300	随契
	事務関係 計	63件	65,247,322	64,410,222	△ 275,000	96,749,222	
1	一級河川藁科川排水管撤去工事支援業務	(一社)ふじのくにづくり支援センター	669,900	669,900		669,900	随契
2	一級河川藁科川排水管撤去工事に伴う修正設計業務	服部エンジニア㈱	986,700	986,700		986,700	随契
3	一級河川藁科川排水管撤去工事支援業務(現場監理)	(一社)ふじのくにづくり支援センター	1,844,700	1,749,000	44,000	1,793,000	随契
	工事関係 計	3件	3,501,300	3,405,600	44,000	3,449,600	
	合計	66件	68,748,622	67,815,822	△ 231,000	100,198,822	

関する調

(令和3年度)

契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
R3.11.19 ~ R4.1.7	R 4/ 1/24	円 44,000	アルマイト処理業務	随契1号 (少額)
R3.11.19 ~ R4.3.31	R 4/ 4/22	3,300,000	マイクロプリズムアレイ製作業務	随契2号 (不適)
R3.11.22 ~ R4.2.28	R 4/ 2/25	313,280	マウスの腸内細菌叢解析に係る試験業務	随契1号 (少額)
R3.12.1 ~ R4.2.25	R 4/ 3/15	2,240,700	クロマトグラフ点検調整業務	
R3.12.15 ~ R4.1.31	R 4/ 2/ 8	440,000	供試体固定治具製作業務	随契1号 (少額)
R3.12.20 ~ R4.2.28	R 4/ 3/ 7	596,200	測定精度評価試料製作業務	随契1号 (少額)
R4.1.12 ~ R4.2.28	R 4/ 3/18	28,160	C r Nコーティング処理業務	随契1号 (少額)
R4.1.17 ~ R4.2.28	R 4/ 3/ 7	348,700	万能引張試験機ロードセル校正点検業務	随契1号 (少額)
R4.1.20 ~ R4.3.25	R 4/ 4/15	506,000	伊豆松崎産「オオシマザクラ葉抽出エキス」の開発業務	随契1号 (少額)
R4.1.25 ~ R4.3.10	R 4/ 3/29	1,672,000	I o T導入バック保守・追加開発業務	随契2号 (不適)
R4.1.25 ~ R4.3.18	R 4/ 3/25	577,500	高精度自由曲面測定機点検業務	随契1号 (少額)
R4.2.3 ~ R4.3.31	R 4/ 3/11	181,060	廃棄備品等処分業務	随契1号 (少額)
R4.2.10 ~ R4.3.31	R 4/ 3/22	175,549	廃棄品等収集運搬処理業務	随契1号 (少額)
R4.1.12 ~ R4.2.28	R 4/ 3/25	429,000	「I o T推進ラボ紹介パンフレット」制作業務	随契1号 (少額)
R4.2.25 ~ R4.3.31	R 4/ 4/12	169,125	廃棄備品(重量物)処分業務	随契1号 (少額)
R4.3.11 ~ R4.3.31	R 4/ 4/ 4	58,300	不燃物収集運搬業務	随契1号 (少額)
R4.3.11 ~ R4.3.31	R 4/ 4/18	157,300	不燃物処分業務	随契1号 (少額)
		96,749,222		
R3.5.27 ~ R3.12.17	R 3/12/24	669,900	一級河川藁科川排水管撤去工事支援業務(アドバイザリー)	随契2号 (不適)
R3.7.21 ~ R3.12.15	R 4/ 1/ 7	986,700	一級河川藁科川排水管撤去工事に伴う修正設計業務	随契2号 (不適)
R3.10.14 ~ R4.3.25	R 4/ 4/28	1,793,000	一級河川藁科川排水管撤去工事支援業務(現場監理)	随契2号 (不適)
		3,449,600		
		100,198,822		

委託料に

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法
				当初額	変更増減額	計	
	(事務関係)		円	円	円	円	
1	設備総合管理業務	㈱メンテックカンザイ	15,235,000	15,147,000		15,147,000	一般
2	庁舎清掃業務	静岡ビル保善㈱	9,040,900	9,020,000		9,020,000	一般
3	排水処理施設維持管理業務	ニッケン消毒㈱	6,731,780	6,600,000		6,600,000	一般
4	空調設備等保守点検業務	㈱ユアーズ静岡	6,094,000	6,050,000		6,050,000	不随
5	自家発電設備保守点検業務	㈱明電エンジニアリング静岡支店	847,000	847,000		847,000	随契
6	庁舎警備業務	セコム㈱	1,485,000	1,485,000		1,485,000	随契

関 する 調

(令和4年度)
(令和4年7月31日現在)

契 約 期 間	支 出 年 月 日	金 額	委 託 業 務 の 内 容	摘 要
R4.4.1 ~ R5.3.31	R 4/ 5/31 R 4/ 6/30 R 4/ 7/29	円 1,056,000 1,375,000 1,111,000 3,542,000	電気、空調、給排水衛生設備の運転 管理及び環境測定等の業務	
R4.4.1 ~ R5.3.31	R 4/ 5/31 R 4/ 6/30 R 4/ 7/29	792,000 748,000 748,000 2,288,000	庁内の日常清掃及び床ワックスがけ 等の定期清掃業務	
R4.4.1 ~ R5.3.31	R 4/ 5/31 R 4/ 6/30 R 4/ 7/29	550,000 550,000 550,000 1,650,000	特殊排水処理及び浄化槽維持管理業 務	
R4.4.1 ~ R5.3.31	R 4/ 7/29	1,512,500 1,512,500	空調用冷温水発生機及び恒温恒湿室 用パッケージエアコン等の保守点検 業務	
R4.4.1 ~ R5.3.31			非常用自家発電設備の保守点検業務	随契1号（少額）
R4.4.1 ~ R5.3.31	R 4/ 5/31 R 4/ 6/30 R 4/ 7/29	123,750 123,750 123,750 371,250	庁舎の警備（機械警備）業務	随契2号（不適）

委 託 料 に

整理 番号	委 託 業 務 名	受 託 者	当初設計 金 額	契約金額			契約締 結方法
				当初額	変 更 増減額	計	
	(事務関係)		円	円	円	円	
7	エレベータ保守点検業務	東芝エレベータ(株)静岡 支店	1,795,200	1,795,200		1,795,200	随契
8	消防用設備保守点検業務	鈴与技研(株)	550,000	550,000		550,000	随契
9	廃棄物運搬処理業務	(株)岩本商店	660,000	660,000		660,000	随契
10	構内電話交換設備等保守点検業務	静岡電話工業(株)	765,600	765,600		765,600	随契
11	自動扉保守点検業務	中日本オート・ドア(株)	104,500	104,500		104,500	随契
12	排煙トップライト保守点検業務	ナブコシステム(株)静岡 支店	107,800	107,800		107,800	随契
13	ネットワークプリンタ保守業務	リコージャパン(株)静岡 支社MA第一営業部	114,180	114,180		114,180	随契
14	ウェブサイト(しずおかデザイン 情報サービス含む)・メールマガ ジン機能保守業務	(有)オフィスタグ	323,400	323,400		323,400	随契
15	光学・照明設計ソフトウェア保守 業務	(株)モアソンジャパン営 業本部	807,345	807,345		807,345	随契
16	視認性評価システムソフトウェア 保守業務	(株)インテグラ	743,047	743,047		743,047	随契
17	蛍光X線分析装置保守点検業務	オザワ科学(株)静岡営業 所	618,200	618,200		618,200	随契
18	非接触表面性状測定機保守点検業 務	アメテック(株)テーラー ホブソン事業部	666,600	666,600		666,600	随契
19	フーリエ変換赤外分光分析装置保 守点検業務	アドバンテック東洋(株) 静岡営業所	732,600	732,600		732,600	随契
20	マイクロプリズムアレイ設計ソフ トウェア保守業務	(株)ティー・イー・エム	667,150	667,150		667,150	随契
21	三次元データ処理・解析システム ソフトウェア保守業務	(株)モアソンジャパン営 業本部	660,000	660,000		660,000	随契

関 する 調

(令和4年度)
(令和4年7月31日現在)

契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
R4.4.1 ~ R5.3.31	R 4/ 5/31 R 4/ 6/30 R 4/ 7/29	円 149,600 149,600 149,600 448,800	エレベータの保守及び定期点検業務	随契2号 (不適)
R4.4.1 ~ R5.3.31			消防用設備の保守点検業務	随契1号 (少額)
R4.4.1 ~ R5.3.31			一般廃棄物の定期的運搬処理業務	随契1号 (少額)
R4.4.1 ~ R5.3.31	R 4/ 5/31 R 4/ 6/30 R 4/ 7/29	63,800 63,800 63,800 191,400	構内電話交換設備等の保守及び定期点検業務	随契1号 (少額)
R4.4.1 ~ R5.3.31			入口自動ドアの保守点検業務	随契1号 (少額)
R4.4.1 ~ R5.3.31			非常用排煙トップライトの保守点検業務	随契1号 (少額)
R4.4.1 ~ R5.3.31			SDOその他所内リコー製ネットワークプリンタの保守点検業務	随契1号 (少額)
R4.4.1 ~ R5.3.31	R 4/ 5/30 R 4/ 6/30 R 4/ 7/29	26,950 26,950 26,950 80,850	ウェブサイト(しずおかデザイン情報サービス含む)・メールマガジン機能保守業務	随契1号 (少額)
R4.4.1 ~ R5.3.31	R 4/ 4/28	807,345	光学・照明設計ソフトウェアの保守業務	随契1号 (少額)
R4.4.1 ~ R5.3.31			視認性評価システムソフトウェア保守業務	随契1号 (少額)
R4.4.1 ~ R5.3.31			蛍光X線分析装置保守点検業務	随契1号 (少額)
R4.4.1 ~ R5.3.31			非接触表面性状測定機の保守点検業務	随契1号 (少額)
R4.4.1 ~ R5.3.31			フーリエ変換赤外分光分析装置保守点検業務	随契1号 (少額)
R4.5.18 ~ R5.3.31	R 4/ 7/29	667,150	マイクロプリズムアレイ設計ソフトウェア保守業務	随契1号 (少額)
R4.7.15 ~ R5.3.31			三次元データ処理・解析システムソフトウェア保守業務	随契1号 (少額)

委託料に

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法
				当初額	変更増減額	計	
	(事務関係)		円	円	円	円	
22	庁舎樹木管理業務	駿河緑地造成㈱	1,322,200	1,210,000		1,210,000	一般
	事務関係 計	22件	50,071,502	49,674,622	0	49,674,622	
	工事関係 計	0件	0	0	0	0	
	合 計	22件	50,071,502	49,674,622	0	49,674,622	

関 する 調

(令和4年度)
(令和4年7月31日現在)

契 約 期 間	支出年月日	金 額	委 託 業 務 の 内 容	摘 要
		円		
R4.7.19 ~ R4.11.30			庁舎樹木の剪定及び薬剤散布業務	
		11,559,295		
		0		
		11,559,295		

負担金支出調

(令和3年度)

	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額(円)	支出年月日
1	静岡中央地区安全運転管理協会費	静岡中央地区安全運転管理協会	通知	会費	18,000	令和3年4月20日
2	第51回接着技術学校建設接着コース	日本接着剤工業会	開催通知	受講料	25,000	令和3年5月13日
3	日本人間工学会第62回大会参加費	(一社)日本人間工学会	開催通知	参加費	17,000	令和3年5月18日
4	食品の加熱殺菌技術の特徴と実務ポイント	(株)テックデザイン	開催通知	受講料	22,000	令和3年6月9日
5	プラスチック成形加工学会第32回年次大会参加費	(一社)プラスチック成形加工学会	開催通知	参加費	11,000	令和3年6月9日
6	ポリ乳酸の基礎及び材料・製品設計指針	(株)情報機構	開催通知	受講料	55,000	令和3年6月11日
7	日持向上剤の使用法と賞味期限設定と試験の進め方	(株)技術情報協会	開催通知	受講料	33,000	令和3年6月18日
8	発泡成形の基礎と応用	(株)R&D支援センター	開催通知	受講料	55,000	令和3年6月28日
9	食品微生物検査協議会2021年度講習会	(特非)食の安全を確保するための微生物検査協議会	開催通知	受講料	5,000	令和3年6月30日
10	数値限定発明・選択発明・パラメータ発明に係る判例に基づく特許出願実務	(株)テックデザイン	開催通知	受講料	22,000	令和3年7月6日
11	電気化学の基礎から学ぶ燃料電池電極触媒の速習セミナー	(株)シーエムシー・リサーチ	開催通知	受講料	44,000	令和3年7月7日
12	表面技術協会中部支部講演会	(一社)表面技術協会中部支部	開催通知	参加費	10,000	令和3年7月9日
13	乳酸菌の機能解析と食品開発・産業への効果的な活用法	(株)テックデザイン	開催通知	受講料	22,000	令和3年7月16日
14	原子力学会2021秋の大会参加費	(一社)日本原子力学会	開催通知	参加費	16,000	令和3年7月27日
15	結像光学系設計初級1、初級2、初級3	(株)ティー・イー・エム	開催通知	受講料	77,000	令和3年7月29日
16	科研費獲得セミナー	(株)羊土社	開催通知	受講料	10,000	令和3年8月11日
17	全国食品関係研究場所長会費	全国食品関係研究場所長会	開催通知	会費	30,000	令和3年8月24日
18	これから始めるグラフニューラルネットワーク(GNN)入門	サイエンス&テクノロジー(株)	開催通知	受講料	33,440	令和3年9月7日
19	表面技術協会第144回講演大会参加費	(一社)表面技術協会	開催通知	参加費	14,700	令和3年9月15日
20	第32回廃棄物資源環境学会研究発表会参加費	(一社)廃棄物資源環境学会	開催通知	参加費	12,000	令和3年10月12日
21	プラスチック加飾技術の新展開と最新動向	サイエンス&テクノロジー(株)	開催通知	受講料	49,500	令和3年9月16日
22	光ナノプリンティング技術の研究最前線	サイエンス&テクノロジー(株)	開催通知	受講料	33,440	令和3年9月28日
23	2021年度日本茶業学会研究発表会参加費	日本茶業学会	開催通知	参加費	3,000	令和3年10月12日
24	2021年自動車照明市場の最新動向・新技術トレンド	サイエンス&テクノロジー(株)	開催通知	受講料	33,440	令和3年10月29日
25	産業技術連携会議ライフサイエンス部会参加費	産業技術連携協議会	開催通知	参加費	2,000	令和3年11月10日

26	プラスチック成形加工学会第29回秋季大会参加費	(一社)プラスチック成形加工学会	開催通知	参加費	11,000	令和3年11月15日
27	Microsoft Power Bi実践ハズル応用編	アイティエス・プラザ(合同)	開催通知	受講料	38,500	令和3年11月30日
28	照明工学系初級1～3	(株)ティー・イー・エム	開催通知	受講料	77,000	令和3年12月2日
29	食品工学・単位操作勉強会	(一社)日本食品工学会	開催通知	受講料	24,000	令和3年12月7日
30	乳酸菌の機能解析方法・注目される最新アプリケーションと今後の展望	(株)テックデザイン	開催通知	受講料	22,000	令和3年12月24日
31	第17回バイオマスの化学会議参加費	(一社)日本エネルギー学会	開催通知	参加費	20,000	令和3年12月24日
32	食品ハイドロコロイドセミナー及びシンポジウム参加費	食品ハイドロコロイド研究会	開催通知	参加費	9,000	令和3年12月24日
33	安全運転管理者講習受講費	東京貿易テクノシステム(株)	開催通知	受講料	4,500	令和4年1月17日
34	第45回木材の実用知識講習会	(公社)日本木材加工技術協会	開催通知	受講料	10,000	令和4年1月26日
35	タンパク質の熱分析/熱測定の基本と測定データの解釈	(株)技術情報協会	開催通知	参加費	33,000	令和4年2月28日
36	ぬれの基礎と実用的な撥水・撥油/親水処理	(株)R&D支援センター	開催通知	受講料	55,000	令和4年3月2日
37	自動車のEV化で期待されるプラスチックの電磁波シールドメッキ	(株)R&D支援センター	開催通知	受講料	38,500	令和4年3月7日
38	第34回軽金属セミナー「アルミニウム合金の組織－応用編」(第8回)	(一社)軽金属学会	開催通知	受講料	8,500	令和4年3月10日
39	第119回シンポジウム「マルチマテリアル接合」参加費	(一社)軽金属学会	開催通知	参加費	2,000	令和4年3月17日
40	表面技術協会第145回講演大会 参加費	(一社)表面技術協会	開催通知	参加費	14,700	令和4年3月22日
計					1,021,220	

負担金支出調

(令和4年7月31日)

	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額(円)	支出年月日
1	静岡中央地区安全運転管理協会費	静岡中央地区安全運転管理協会	通知	会費	18,000	令和4年4月21日
2	プラスチック基礎セミナー(ブロー成形技術)	(一社)日本合成樹脂技術協会	開催通知	受講料	33,000	令和4年5月17日
3	第52回接着技術学校 紙・包装接着コース	接着技術学校	開催通知	受講料	25,000	令和4年5月20日
4	2022第2回食品工学応用技術勉強会参加費	(一社)日本食品工学会	開催通知	参加費	5,000	令和4年5月20日
5	プラスチック成形加工学会第33回年次大会参加費	(一社)プラスチック成形加工学会	開催通知	参加費	13,000	令和4年5月25日
6	樹脂成型の知識	㈱R&D支援センター	開催通知	受講料	55,000	令和4年5月26日
7	プラスチックの資源循環とリサイクル	㈱日本テクノセンター	開催通知	受講料	49,500	令和4年5月31日
8	においの図示化・数値化	㈱テックデザイン	開催通知	受講料	22,000	令和4年6月6日
9	プラスチックリサイクルの国内状況と事業動向	サイエンス&テクノロジー(株)	開催通知	受講料	26,070	令和4年6月9日
10	第29回セルロース学会年次大会参加費	第29回セルロース学会年次大会運営委員長	開催通知	参加費	10,000	令和4年6月10日
11	プラスチック加工の基礎と成型不良対策	㈱新技術開発センター	開催通知	受講料	33,000	令和4年6月14日
12	中国EV市場の最新動向	㈱R&D支援センター	開催通知	受講料	16,500	令和4年6月15日
13	食品製造における細菌の基礎と検査の実務ノウハウ	㈱テックデザイン	開催通知	受講料	22,000	令和4年6月16日
14	培養肉の最前線!培養肉製品化のポイントと最新動向	㈱R&D支援センター	開催通知	受講料	11,000	令和4年6月20日
15	3Dプリンタの基礎と最新動向	㈱R&D支援センター	開催通知	受講料	44,000	令和4年6月21日
16	偏光・複屈折・光回折	㈱R&D支援センター	開催通知	受講料	49,500	令和4年6月27日
17	食品のおいしさを引き出すコクの科学	㈱テックデザイン	開催通知	受講料	22,000	令和4年6月30日
18	事例に学ぶ金属材料の疲労破壊と対策	(独行)高齢・障害・求職者雇用支援機構 高度訓練センター	開催通知	受講料	30,000	令和4年7月15日
19	2022年度照明学会全国大会講演	一般社団法人 照明学会	開催通知	参加費	9,130	令和4年7月20日
計					493,700	

余 白

土 木 工

整理 番号	予算科目	工 事 名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
				円	円	円
1	商工業費	令和3年度一級河川藁科川排水管撤去工事	静岡市葵区牧ヶ谷地先	3,300,000	3,300,000	143,000
		小 計	1 件			
		計	1 件			
		合 計	1 件			

- (注) 1 本表は、土木工事を執行する本庁所管課・出先機関等において調製する。
 2 契約件数が、10件程度以上の場合は、別冊とすることができる。
 3 補助工事は、本表から除き「様式第21号」へ記載する。
 4 各事業を連記して「目」ごとに小計を、最下段に合計を付す。
 5 「整理番号」欄には、調書記載の順序（発注件数毎）により一連番号を付し、小計、計及び合計の「工事名」欄には、発注済み工事件数を表示する。
 6 「契約締結方法」欄には、制限付き一般競争入札は「一般」、公募型指名競争入札は「公募」、指名競争入札は「指名」、不調随意契約は「不随」、随意契約は「随契」の区分を記載する。
 なお、随意契約については、摘要欄に地方自治法施行令第167条の2による該当号等を記載する。 * 記載方法…随契1号(少額)、随契2号(不適)、随契5号(緊急)、随契6号(不利)、随契7号(有利)
 7 「工事概要」欄には、工種、数量、単位等を具体的に記載する。（「一式」表示は避ける）
 * 数量の記号表記…N:工事施工個数、A:工事施工面積、L:工事施工延長、V:工事施工体積等を使用する。

(令和3年度)

事 調

(令和4年7月31日現在)

額	契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	摘要
計						
円				円		
3,443,000	指名	伸栄建設(株)	令和3年12月28日 令和4年3月23日	3,443,000	施工延長右岸L=28m	

- 8 債務・繰越工事については、「契約金額」欄に全体契約分を記載し、「支出済額」欄の上段に全体契約分の前年度までの支出済累計額を()書きし、下段には当該年度支出済額を記載する。
合併工事については、「契約金額」欄に全体契約分を記載し、「支出済額」欄の上段に全体契約分の当該年度全体の支出済累計額を、下段には当該年度・当該事業の支出済額を記載する。
なお、「摘要」欄には、債務工事は〇〇債務(〇〇は債務負担行為開始年度)、繰越工事は△△繰越(△△は繰越事由の発生年度)及び繰越工事調の「頁/整理番号」を併記する。
- 9 合併工事は合併先の「頁/整理番号」を記載する。(部局独自のコード番号も可)
- 10 未着手分についても各該当欄に記入し、未着手理由を「摘要」欄に記載する。
- 11 着手年月日は契約書に記載されたものとし、**完成年月日は完成届受理年月日を記載する。**
- 12 変更増減額が500万円を超えるものは、「摘要」欄に主たる変更理由を記載する。

建 築 工

整理 番号	予算科目	工 事 名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
1	資産経営費	令和3年度工業技術研究所排水 処理場空調更新工事	静岡市葵区 牧ヶ谷地内	円 940,500	円 940,500	円
2	資産経営費	令和3年度工業技術研究所正面 玄関天井張替・照明器具取替工 事	静岡市葵区 牧ヶ谷地内	円 1,639,000	円 1,573,000	円
3	産業革新費	令和3年度工業技術研究所研究 所研究棟金属資料調整室空調工 事	静岡市葵区 牧ヶ谷地内	円 2,499,090	円 2,499,090	円
4	産業革新費	令和3年度工業技術研究所研究 所研究棟金属資料調整室内装工 事	静岡市葵区 牧ヶ谷地内	円 1,949,999	円 1,364,000	円 176,000
5	資産経営費	令和3年度工業技術研究所設備 棟機械室吸収冷温水機冷暖切替 弁更新工事	静岡市葵区 牧ヶ谷地内	円 990,000	円 990,000	円
6	資産経営費	令和3年度工業技術研究所研究 棟精密測定室系統PAC-2加湿器 更新工事	静岡市葵区 牧ヶ谷地内	円 940,500	円 940,500	円
7	資産経営費	令和3年度工業技術研究所研究 棟強度試験室系統PAC-7加湿器 更新工事	静岡市葵区 牧ヶ谷地内	円 990,000	円 990,000	円
		合 計	7 件	円 9,949,089	円 9,297,090	円 176,000

事 調

(令和3年度)

額	契約締結方法	受注者	着手 完 成 年 月 日	支出済額	工事概要	公有財産 台帳	摘 要
計							
円				円			
940,500	随契	株ユアーズ静岡	令和3年6月25日 令和3年8月23日	940,500	排水処理場空調 更新工事	—	(令達年月日) 令和3年4月22日 (最終支払年月日) 令和3年9月9日 随契1号(少額)
円				円			
1,573,000	随契	株遠藤建設	令和3年9月2日 令和3年10月20日	1,573,000	正面玄関天井張 替・照明器具取 替工事	—	(令達年月日) 令和3年4月22日 (最終支払年月日) 令和3年11月9日 随契1号(少額)
円				円			
2,499,090	随契	清水水道設備株	令和3年9月1日 令和3年12月22日	2,499,090	研究棟金属資料 調整室空調工事	—	(令達年月日) 令和3年4月1日 (最終支払年月日) 令和4年1月31日 随契1号(少額)
円				円			
1,540,000	随契	株野崎工務店	令和3年9月1日 令和3年12月22日	1,540,000	研究棟金属資料 調整室内装工事	—	(令達年月日) 令和3年4月1日 (最終支払年月日) 令和4年1月31日 随契1号(少額)
円				円			
990,000	随契	株ユアーズ静岡	令和3年10月20日 令和3年12月22日	990,000	設備棟機械室吸 収冷温水機冷暖 切替弁更新工事	—	(令達年月日) 令和3年9月15日 (最終支払年月日) 令和4年1月7日 随契1号(少額)
円				円			
940,500	随契	株ユアーズ静岡	令和3年11月5日 令和4年1月28日	940,500	研究棟精密測定 室系統PAC-2加湿 器更新工事	—	(令達年月日) 令和3年8月6日 (最終支払年月日) 令和4年2月16日 随契1号(少額)
円				円			
990,000	随契	株ユアーズ静岡	令和3年11月19日 令和4年2月16日	990,000	研究棟強度試験 室系統PAC-7加湿 器更新工事	—	(令達年月日) 令和3年8月6日 (最終支払年月日) 令和4年3月14日 随契1号(少額)
円				円			
9,473,090				9,473,090			

建 築 工

整理 番号	予算科目	工 事 名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当 初 額	変更増減額
1	資産経営 費	令和4年度工業技術研究所実験 棟長期性能試験室空調設備更新 工事	静岡市葵区 牧ヶ谷地内	円 2,145,000	円 2,024,000	円
		合 計	1 件	2,145,000	2,024,000	

事 調

(令和4年度)
(令和4年7月31日現在)

額	契約 締結 方法	受 注 者	着 手 完成(予定) 年 月 日	支出済額	工事概要	公有財産 台帳	摘 要
計							
円 2,024,000	随契	株メンテックカ ンザイ	令和4年7月30日 令和4年12月26日	円	実験棟長期性能 試験室空調設備 更新工事	—	(令達年月日) 令和4年4月19日 (最終支払年月日) 令和 年 月 日 随契1号(少額)
2,024,000							

公 有 財 産 調

(令和3年度)

区分	令和3年3月31日 現 在		増		減		令和4年3月31日 現 在		摘 要
	数量又 は面積	台帳 価格	数量又 は面積	台帳 価格	数量又 は面積	台帳 価格	数量又 は面積	台帳 価格	
行 政 財 産		千円 2,936,451		千円		千円		千円 2,846,808	
土 地	m ² 23,157.43	1,591,114					m ² 23,157.43	1,591,114	
立 木 竹	本 1,631	3,831					本 1,631	3,831	
建 物	m ² 7,658.64 13,090.98	1,341,506		484		90,709	m ² 7,658.64 13,090.98	1,251,281	
工 作 物	個 46	582					個 46	582	
普 通 財 産		5		0		3		2	
特 許 権 等	件 22	5	件 3	0	件 2	3	件 23	2	
公有財産に準ずる もの		264						264	
電話加入権	件 11	264					件 11	264	
上記の財産に属さ ないもの		65		0		40		25	
準特許権等	件 11	65	2	0	3	40	件 10	25	

公 有 財 産 調

(令和4年度)

区分	令和4年3月31日 現 在		増		減		令和4年7月31日 現 在		摘 要
	数量又 は面積	台帳 価格	数量又 は面積	台帳 価格	数量又 は面積	台帳 価格	数量又 は面積	台帳 価格	
行 政 財 産		千円 2,846,808		千円		千円		千円 2,846,808	
土 地	m ² 23,157.43	1,591,114					m ² 23,157.43	1,591,114	
立 木 竹	本 1,631	3,831					本 1,631	3,831	
建 物	m ² 7,658.64 13,090.98	1,251,281					m ² 7,658.64 13,090.98	1,251,281	
工 作 物	個 46	582					個 46	582	
普 通 財 産		2						2	
特 許 権 等	件 23	2	件 1	0	件		件 24	2	
公有財産に準ずる もの		264						264	
電話加入権	件 11	264					件 11	264	
上記の財産に属さ ないもの		25						25	
準特許権等	件 10	25			1	0	件 9	25	

借地

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量又は面積	借料	
				台帳	現況		単価	年額
1	土地	その他の公共 用施設敷地	静岡市葵区牧ヶ谷 2040	雑種地	歩道	1.00 m ²	無償	無償
2	土地	その他の公共 用施設敷地	静岡市葵区牧ヶ谷 2078～2134	雑種地	市道	222.43 m	無償	無償
合計								

借家等調

(令和4年7月31日現在)

契約期間	所有者又は契約者氏名	用途
30. 4. 1～5. 3. 31	静岡市葵区追手町5-1 静岡市	カーブミラーの設置
3. 3. 26～7. 3. 31	静岡市葵区追手町5-1 静岡市	工業技術研究所からの排水管設置

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和4年度)

(令和4年7月31日現在)

区分	事業名又は契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)												
				27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度		
長期継続契約	デザイン開発総合支援システムデジタル複写機	デザイン開発総合支援システムデジタル複写機 (契約日)平成31年2月5日	3,547,653	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
	電子複写機賃借契約	電子複写機 (2台) (契約日)平成31年4月1日	2,286,036	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円
	デザイン開発総合支援システム賃借契約	デザイン開発総合支援システム (契約日)令和2年7月15日	22,987,800	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円	円

余 白

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量又は面積	貸付料又は使用料	
				台帳	現況		単価	年額(10円 未満切捨)
1	建物	事務所建	静岡市葵区 牧ヶ谷	鉄筋コンクリート 4階建	同左	47.52 m ²	— 円	免除 円
2	土地	敷地	"	宅地	"	0.1 m ² (1基)	—	"
3						4.98 m ²		
4	建物	事務所建	"	"	"	1.00 m ²	594,000	594,000
5	土地	敷地	"	宅地	"	8.40 m ²	—	免除
6	"	"	"	"	"	7本	1,500	10,500
7	"	"	"	"	"	1本	1,500	1,500
8	"	"	"	"	"	1本	1,500	1,500
9	建物	雑屋建	"	コンクリートブロック造 1階建	"	3 m ²	9,329	10,950
	土地	敷地	"	宅地	"	0.25 m ²	362	
	"	"	"	"	"	8 m	544	
	"	"	"	"	"	8 m	720	
合計								618,450

使用許可調

(令和4年7月31日現在)

貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の住所氏名	貸付・使用許可目的
4.4.1～5.3.31	静岡市葵区牧ヶ谷2078番地 (一社) 静岡県計量協会	事務室 (管理棟2階)
〃		看板設置 (正門横)
		駐車場
4.4.1～7.3.31	静岡市清水区長崎86 コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 ベンディング中部日本地区統括部 ベンディング静岡支店	自動販売機 (清涼飲料水) の設置 (研修棟1階講堂前)
4.4.1～5.3.31	静岡市駿河区有明町2番20号 静岡県職員組合静岡支部	物置の設置
2.4.1～7.3.31	静岡市駿河区曲金6丁目3番38号 中部電力(株)静岡営業所	電柱1本、支線柱1本及び支線5条 (敷地内)
〃	静岡市葵区城東町5番1号 西日本電信電話(株)静岡支店	支線1条(敷地内)
〃		支線柱1条(敷地内)
4.4.1～5.3.31	静岡市駿河区池田28番地 静岡ガス(株)静岡支社導管ネットワーク事業部 静岡導管ネットワークセンター	地下埋設物 (ガス管)

備品・図書調

(令和 3年度)

所属 0000105622 経済産業部 工業技術研究所

区分	令和 3年 3月31日 現在	増		減		令和 4年 3月31日 現在
		数量	購入 価 格 (円)	数量	売却 価 格 (円)	
01-01 机類	13	(0) 0	0	(0) 0	0	13
01-02 台類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
01-03 いす類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-04 収納保管庫類	31	(0) 0	0	(0) 0	0	31
01-05 印刷機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-07 書類整理器具類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-10 印判類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-12 寝具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-13 厨房器具類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-14 冷暖房器具類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-18 パーティション	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-99 その他の庁用器具類	5	(0) 0	0	(0) 1	0	4
02-01 情報処理機器類	212	(18) 38	10,290,060	(0) 16	0	234
02-02 情報伝達機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
02-03 再生機器類	1	(0) 1	121,000	(1) 1	0	1
03-01 撮影機器類	8	(0) 0	0	(0) 0	0	8
03-02 観察・観測用光学機器類	15	(2) 6	29,700,000	(1) 3	11,000	18
03-03 視覚用再生等機器類	7	(1) 1	0	(0) 0	0	8
03-04 媒体関連機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1

備品・図書調

(令和 3年度)

所属 0000105622 経済産業部 工業技術研究所

区分	令和 3年 3月31日 現在	増		減		令和 4年 3月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
03-99 その他の写真光学視覚機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
04-01 診療・診断用機器類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
04-02 衛生検査用機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
04-05 機能回復訓練機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
04-99 その他の医療衛生機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-01 強度(物性)試験計測機器類	59	(0) 0	0	(0) 0	0	59
05-02 波動・熱試験計測機器類	35	(0) 2	44,000,000	(0) 1	0	36
05-03 電気試験計測機器類	32	(0) 0	0	(0) 1	0	31
05-04 分析化学機器類	145	(2) 3	0	(0) 7	0	141
05-05 生物化学機器類	11	(0) 1	545,600	(0) 0	0	12
05-06 環境化学機器類	11	(0) 0	0	(0) 0	0	11
05-07 測量機器類	17	(0) 0	0	(0) 0	0	17
05-08 度量衡測定機器類	18	(0) 1	572,000	(0) 1	0	18
05-09 天体気象観測機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-10 身体測定用機器類	13	(0) 0	0	(0) 0	0	13
05-99 その他の試験計測機器類	214	(0) 3	18,700,000	(0) 8	0	209
06-02 金属加工用機器類	10	(0) 0	0	(0) 0	0	10
06-04 電気電子機器類	14	(0) 0	0	(0) 0	0	14
06-06 炉・ボイラー加熱装置類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7

備品・図書調

(令和 4年度)

所属 0000105622 経済産業部 工業技術研究所

区分	令和 4年 3月31日 現在	増		減		令和 4年 7月31日 現在
		数量	購入 価 格 (円)	数量	売却 価 格 (円)	
01-01 机類	13	(0) 0	0	(0) 0	0	13
01-02 台類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
01-03 いす類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-04 収納保管庫類	31	(0) 0	0	(0) 0	0	31
01-05 印刷機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-07 書類整理器具類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-10 印判類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-12 寝具類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-13 厨房器具類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-14 冷暖房器具類	5	(0) 0	0	(0) 1	0	4
01-18 パーティション	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
01-99 その他の庁用器具類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
02-01 情報処理機器類	234	(0) 0	0	(0) 1	0	233
02-02 情報伝達機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
02-03 再生機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
03-01 撮影機器類	8	(0) 1	0	(0) 1	0	8
03-02 観察・観測用光学機器類	18	(0) 0	0	(0) 0	0	18
03-03 視覚用再生等機器類	8	(0) 0	0	(0) 0	0	8
03-04 媒体関連機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1

備品・図書調

(令和 4年度)

所属 0000105622 経済産業部 工業技術研究所

区分	令和 4年 3月31日 現在	増		減		令和 4年 7月31日 現在
		数量	購入 価 格 (円)	数量	売却 価 格 (円)	
03-99 その他の写真光学視覚機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
04-01 診療・診断用機器類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
04-02 衛生検査用機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
04-05 機能回復訓練機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
04-99 その他の医療衛生機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-01 強度(物性)試験計測機器類	59	(1) 2	0	(1) 1	0	60
05-02 波動・熱試験計測機器類	36	(1) 1	0	(0) 2	0	35
05-03 電気試験計測機器類	31	(0) 0	0	(0) 0	0	31
05-04 分析化学機器類	141	(0) 0	0	(0) 0	0	141
05-05 生物化学機器類	12	(0) 0	0	(0) 0	0	12
05-06 環境化学機器類	11	(0) 0	0	(0) 0	0	11
05-07 測量機器類	17	(0) 0	0	(0) 0	0	17
05-08 度量衡測定機器類	18	(0) 0	0	(0) 0	0	18
05-09 天体気象観測機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
05-10 身体測定用機器類	13	(0) 0	0	(0) 0	0	13
05-99 その他の試験計測機器類	209	(0) 2	0	(1) 2	0	209
06-02 金属加工用機器類	10	(0) 0	0	(0) 0	0	10
06-04 電気電子機器類	14	(0) 0	0	(0) 0	0	14
06-06 炉・ボイラー加熱装置類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7

主要備品調

整理 番号	区 分		品 名	利 用 状 況	購入年月	購入金額	担当
	大・中	小					
1	5-99	計測機器	車載用次世代照明用 光学部品形状評価試 験機	次世代照明用光学部品における非球 面形状測定 稼53日 依9時間	R2.12	82,390,000	照明 音響
2	5-99	計測機器	三次元測定機	機械建造物の強度シミュレーション 稼20日 依3件	H11.3	64,186,500	機械 電子
3	5-4	X線分析機 器	蛍光X線分析装置 (炭素硫黄分析計 付)	金属・セラミックス等の材料元素分 析 稼68日 依16件、機器使用83時間	H31.1	62,640,000	金属 材料
4	5-2	光試験計測 機器	次世代車載照明及び光 センサー用配光性評価 試験機	車載用微小光源のニアフィールド配 光特性及び全光束のデータ化 稼77日 依23時間	R4.2	44,000,000	照明 音響
5	5-4	X線分析機 器	蛍光X線分析装置	金属・セラミックス等の材料元素分 析 稼0日 依0件	H3.1	35,999,998	金属 材料
6	5-99	試験実験機 器	ドライエッチング装 置	シリコンウェハ・金属等の微細加工 稼0日 依0件	H11.3	30,660,000	化学 材料
7	3-2	顕微鏡	走査型電子顕微鏡	微小部品の形状観察・表面処理品形 状の確認等 稼68日 依16件、機器使用49時間	R1.9	29,700,000	金属 材料
8	5-4	クロマトグ ラフ	1次元・2次元ガスク ロマトグラフ質量分 析・嗅覚アッセイシ ステム	食品、材料等の成分分析 稼120日 依133時間	R1.9	26,946,000	食品
9	5-99	計測機器	非接触表面性状測定 機	金属・樹脂製品等の表面性状測定 稼89日 依84時間	R2.11	26,838,000	照明 音響
10	5-4	X線分析機 器	微小部蛍光X線分析 装置	材料表面の微小領域の元素分析 稼95日 依63件、機器使用55件	R2.11	25,300,000	化学 材料
11	5-2	音試験計測 機器	音響透過損失・残響 室法吸音率測定シス テム	自動車内外装材料及び建設構造体の 吸音と遮音性能の測定 稼49日 依244件	H28.12	24,300,000	照明 音響

(令和4年度)
(令和4年7月31日現在)

整理 番号	区 分		品 名	利 用 状 況	購入年月	購入金額	担当
	大・中	小					
12	5-99	試験実験機器	動的粘弾性測定装置	食品等の流動性や弾性を一定の振幅変位を加えて測定 稼3日 依0時間	H10.11	22,995,000	食品
13	5-99	試験実験機器	メタン発酵パイロットプラント	食品廃棄物等のメタン発酵の現場で運用、性能実証データの取得 稼365日 依0件（研究業務で連続稼働中）	H29.2	22,479,120	環境 エネルギー
14	5-99	試験実験機器	複合環境試験機	金属・樹脂製品等の形状・寸法測定 稼30日 依18件	S61.12	22,297,950	機械 電子
15	2-1	電算組織用媒体	機械構造解析ソフトウェア	各種部品・製品等の信頼性試験（振動・熱衝撃及び複合試験） 稼5日 依2件	H16.12	21,325,454	機械 電子
16	5-2	光試験計測機器	ヘッドランプ用配光測定装置	ヘッドランプ等の照明製品の配光測定 稼6日 依6時間	R2.2	20,380,680	照明 音響
17	5-1	強度試験・計測機器	電気油圧式疲労試験機	材料・部品等の強度試験 稼37日 依436件	R2.10	19,800,000	金属 材料
18	5-4	分光分析機器	ICP発光分光分析装置	工業製品（材料）中の元素の精密定量分析 稼42日 依44件	R2.10	19,470,000	環境 エネルギー
19	5-1	強度試験・計測機器	塩乾湿浸漬複合サイクル試験機	金属・表面処理品等の耐食性試験 稼294日 依6631件	H14.11	18,984,000	金属 材料
20	5-99	恒温（湿）維持器（槽）	恒温恒湿室（2室）	設定した温湿度環境における試験体の劣化状況等の確認 稼208日 依約5000時間（2室合計）	R3.12	18,700,000	工芸

(注) 「稼」は稼働日数、「依」は依頼試験及び設備使用件数で、それぞれ過去1年間の実績。

ただし件数により難しい場合は一部時間により記載。

生 産 物

品名 (単位)	微生物株 KOG-0145				微生物株 KOG-0152				微生物株 KOG-0156				微生物株 KOG-0161				微生物株 KOG-0166				
	前々年度 a	前年度 b	監査調 査作成 日現在	差 b-a	前々年度 a	前年度 b	監査調 査作成 日現在	差 b-a	前々年度 a	前年度 b	監査調 査作成 日現在	差 b-a	前々年度 a	前年度 b	監査調 査作成 日現在	差 b-a	前々年度 a	前年度 b	監査調 査作成 日現在	差 b-a	
全体の生産母体の単位を次の中から選択又は適宜記入する。 (ア)																					
面積 (ha、a、㎡、反、等) 数量 (個、鉢、本、頭、匹、羽、ハツ、等) 長さ (m、等) 重さ (t、kg、等) 等	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	
受高	前年度繰越高																				
	本年度生産高 (イ)							0				0				0				0	
	計				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
単位数量 (イ/ア)																					
同前年比 (%)																					
(b-a) / a × 100																					
払高	売 払 数 量							0				0				0				0	
	売 払 金 額							0				0				0				0	
	非売 品数量	分 類 換																			
		管 理 換																			
		そ の 他																			
計				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
残高又は繰越数量				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
摘 要																					

受 払 調

(令和4年7月31日現在)

微生物株 KOG-0167				微生物株 KOG-0173				微生物株 KOG-0183				微生物株 KOG-0192				計			
前々年度	前年度	監査調 査作成 日現在	差 b-a	前々年度	前年度	監査調 査作成 日現在	差 b-a	前々年度	前年度	監査調 査作成 日現在	差 b-a	前々年度	前年度	監査調 査作成 日現在	差 b-a	前々年度	前年度	監査調 査作成 日現在	差 b-a
本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
																0	0	0	0
			0				0				0				0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0				0				0				0	0	0	0	0
			0				0				0				0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第 3 試驗研究成果一覽表

[研究所全体]

県単独研究	農業実践例の大規模類似ネットワークに基づくナレッジベースの構築	継続	単独	R1 ～ R3	農業の現場において、ビニールハウス内を遠隔監視したいという要望は非常に高く、特に多数の生育環境の管理が必要なビニールハウス栽培では、IoT導入による作業者の負担軽減や病害予防が期待できる。	安価なデバイスを用い、バラ園のビニールハウス内の環境情報収集や遠隔モニタリングを実現した。また、収集したデータから熟練農家の暗黙知を形式知化するための技術を蓄積した。	低コストなIoTシステムの開発により、これまで普及が進まなかった農業や工場への展開が期待できる。また、データ変化点検出技術、写真自動判別技術の蓄積により、収集したデータの解析や知見の獲得が期待できる。	千円 (320) 200	千円 (580) 260	静岡県立大学 東京工科大学 神奈川大学 理化学研究所
県単独研究	セルロースナノファイバーによる機能性成分の徐放化と挙動解明	継続	単独	R2 ～ R4	セルロースナノファイバーの化粧品への添加によって付与される「香りの徐放性」の発現メカニズムを解明し、その制御技術を確認する。	・CNF添加による水/香り乳化について、ピッカリングエマルジョンの形成が確認された。 ・CNFの種類と香りの組合せによって、放散挙動が変化し、CNF乳化形態の違いが示唆された。	県内企業と共同で、県産の香りを活用した製品（雑貨や化粧品・食品等）や徐放性の技術を提案し、県内外に発信することで、研究成果の普及を図る。	千円 (1,800) 1,800	千円 (3,300) 1,500	
県単独研究	スキンケア素材の探索と機能性向上を目指した乳酸菌発酵	継続	単独	R2 ～ R3	静岡県の豊富な農林水産品から抽出されるエキス、種子油、香り等について、化粧品として有用な機能性素材を探索し、機能性発現の作用機序を明らかにする。さらに乳酸菌発酵により機能性強化を試みる。	数種の県産品に、肌の弾力維持や美白に対する機能性を見出した。白びわ葉乳酸菌発酵エキスに光に対する皮膚保護効果があることがわかった。抗炎症効果のある素材を見出し化合物を特定し、作用機序解明に取り組んだ。	得られた知見を県内事業者と提供することで、化粧品・スキンケア商品への製品開発に取り組む予定。	千円 (5,972) 5,972	千円 (11,944) 5,972	静岡県立大学
県単独研究	豆乳タンパク質の新たな視点による挙動解析と濃縮技術開発	新規	単独	R3 ～ R5	植物性タンパク質源として注目されている豆乳は、加熱濃縮により凝集・固化しやすい問題点がある。このメカニズムを「液-液槽分離」の視点で解析することで、豆乳タンパク質が凝集しにくい濃縮技術を開発する。	非加熱生豆乳のpH及びNaCl添加条件を変化させた上で凍結融解させ、タンパク質成分を二相に分画できる条件を調べた結果、pH 5.8～6.7、NaCl添加濃度 0～0.22 Mの範囲で分画可能であった。	得られた知見を県内事業者と共有し、新たな食品開発に取り組む予定。	千円 (-) -	千円 (1,600) 1,600	

一般共同研究	静岡県地域企業等へのIoT導入強化に関する研究	継続	共同	R2 ～ R4	現在取り組んでいる県内中小企業へのIoT技術の導入支援をさらに強化するため、産総研との共同研究を行う。	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□	千円 (-) -	千円 (-) -	産業技術総合研究所
一般共同研究	駿河湾由来カロテノイド生産微生物ライブラリーの構築とサプリメント開発への応用	継続	共同	R2 ～ R3	海洋微生物を活用したマリンバイオ産業創出と県内食品製造工場で発生する糖質系固体バイオマスの高付加価値利用技術の開発を目的として、カロテノイド生産海洋微生物の分離及び育種を行う。	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□	千円 (803) 803	千円 (1,606) 803	□□□□□□ □□□□□□ 静岡県立大学
一般共同研究	アルミニウム鋳造品用異種素材の固相接合技術の研究開発	新規	共同	R3 ～ R4	自動車産業では、EV化に伴う構造部材の大変革から、マルチマテリアル化による軽量化が要求されている。本研究では、アルミニウム鋳造品を用いた摩擦攪拌接合技術によりPCUカバーケースの実用化研究を行う。	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□	千円 (-) -	千円 (506) 506	□□□□□□ □
一般共同研究	バイオマスプラスチックへのめっき技術の開発	新規	共同	R3 ～ R4	CO2排出量削減等に対応するため、ポリ乳酸等のバイオマスプラスチックが採用されている。自動車部品等で利用するためには耐食性等の付与が必要となるため、ポリ乳酸等へのめっき技術を開発する。	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□	千円 (-) -	千円 (760) 760	□□□□□□ □

一般共同研究	介護サービスの質の向上を目指したトイレ介助機器の開発	新規	共同	R3 ~ R4	被介護者の自尊自立支援、介護者の負担軽減、安全性と作業効率化の両立を最大限に考慮しながら「介護サービスの質の向上を目指したトイレ介助機器」を新たに開発する。	□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□	千円 (-) -	千円 (1,688) 1,688	□□□□□□ □□ 常葉大学
一般共同研究	手術用頭部固定枕の開発	新規	共同	R3 ~ R4	手術中の体位変換や医療行為の際に、頭部を適切に保持して頸部損傷を予防する手術用頭部固定枕の製品化に向けて、製造面や衛生面に考慮した手術用頭部固定枕を開発する。	□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□	千円 (-) -	千円 (1,688) 1,688	□□□□□□ □□□□ 静岡がんセンター
一般共同研究	居住空間における木材・木製品等の変色に関する研究	新規	共同	R3 ~ R5	木材、木製品や建材などの変色に関するトラブルは多く、原因究明への相談が多い。除菌剤などを含め、屋内で考えられる汚染要因と変色の発生について考察し、トラブルの対策法、防止策について明らかにする。	□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□	千円 (-) -	千円 (1,920) 1,920	
受託研究(競争的資金による研究)	複数場の同時制御プロセスによるリサイクル可能な超軽量マルチ部材の開発	継続	受託	R2 ~ R4		□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□	千円 (400) 400	千円 (800) 400	□□□□□□□□ □□□□□□□□
受託研究(競争的資金による研究)	国際標準化事業(経産省)	継続	受託	R2 ~ R4		□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□	千円 (811) 811	千円 (3,293) 2,388	山形大学

宛相手名を記載する。

6 試験研究機関が単独で行う研究を「単独」、他の研究機関等と共同で行う研究を「共同」とする。後者の場合は、備考欄に共同研究相手名を記載する。

富士工業技術支援センター

区分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用 及び 普及等の状況	事業費		備考
								(R2年度まで) R2年度	(全体) R3年度	
新成長戦略研究	次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発	継続	単独	R1 ～ R3	自動車用部材等の成形に必要なマスターバッチを開発し、県内企業にマスターバッチの提供と製造技術の普及を行うことにより、企業のCNF関連産業への参入を推進する。	リファイナーにより安価で樹脂との複合化に適したCNFを作製した。このCNFから、ポリプロピレン/CNF複合材のマスターバッチを作製し、これを原料に大型・複雑形状の自動車部材2種類を試作できた。	企業訪問、技術相談などを通して成果の普及を進めている。	千円 (23,164) 4,452	千円 (32,173) 8,989	静岡大学
県単独研究	段ボール古紙を使用した「茶色いトイレットペーパー」の開発	新規	単独	R3 ～ R4	再生トイレット紙の原料である上質古紙の確保が困難となる。環境面からリサイクルできないトイレット紙を古紙から安定して作ることは重要で、安価・豊富な段ボール古紙をトイレット紙の原料として使用するための技術開発等を行う。	県内製紙会社2社の協力工場での古紙処理方法に準じて、古紙処理・手すき実験を行った。実験の結果、段ボール古紙を使用するとゴミが多いもののトイレットペーパーの製品品質上は問題無いことが分かった。	段ボール古紙を原料としたときの課題と解決策について検討し、協力工場実機でのテスト抄造に向けて提案し、普及に繋げる。	千円 (-) -	千円 (435) 435	
一般共同研究	□□□□□□□□□□ に含まれる微小な植物繊維の定量評価法検討	継続	共同	R1 ～ R3	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□	千円 (1,077) 567	千円 (725) 725	□□□□□□□□ □□□□□□□□
一般共同研究	CNF製造に関する解繊エネルギーの低減	継続	共同	R1 ～ R3	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□	千円 (1,077) 567	千円 (1,947) 870	□□□□□□□□ □

浜松工業技術支援センター

区分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用 及び 普及等の状況	事業費		備 考
								(R2年度まで) R2年度	(全体) R3年度	
新成長戦略研究	新成長分野発展に貢献する軽量高強度材料(CFRP)の高効率成形加工技術の確立	継続	単独	R2 ～ R4	炭素繊維強化複合材料は短時間で成形が課題となっており利用・普及が進んでいない。そこで、大量生産に対応した成形加工技術を確立し、軽量素材としての利活用の促進を図る。	CFRPの中間基材を高効率で製造する条件を確立した。中間基材を細断して圧縮成形したテストピースの曲げ強度について、目標の500MPa以上を達成した。	協力機関である浜松地域CFRP事業化研究会を通して会員企業等に技術普及を進める。	千円 (24,264) 24,264	千円 (52,506) 28,242	
新成長戦略研究	人とコミュニケーションを図る次世代車載装置用樹脂レンズの開発	新規	単独	R3 ～ R5	路面に図形を描画することで歩行者にメッセージを伝える「コミュニケーションライティングシステム」の実現に必要な、超小型で超微細な樹脂レンズの製品化技術を構築する。	80μm角の異なる傾斜角と回転角を持つプリズムを100x100個の2次元アレイ状に配置し、1m後方のスクリーンに複数の図形像を投影する光学素子を設計し、光造形技術で実際に作製した。	開発した技術を活用して、高品質・高付加価値の車載光学製品を創出する県内企業を支援する。	千円 (-) -	千円 (1,425) 1,425	
県単独研究	ダイヤモンド焼結体(PCD)工具のレーザー加工技術の開発	継続	単独	R2 ～ R3	超短パルスレーザーによるPCD加工について、ダイヤモンド層とグラファイトなど変質層の割合等の表面性状及び刃先丸み等の外観形状と、工具寿命との相関を調べ、PCD工具のレーザーによる加工手法を確立する。	寿命試験の結果、レーザー加工法で刃先を形成した工具の方が従来の油放電加工法のそれと比べて、摩耗量が少ないことがわかった。従来より長寿命の刃を形成するレーザー加工技術の開発に成功した。	刃先の形成手法と工具寿命の相関について、学会発表、論文投稿、展示会出展などで普及を図っていく。また、事業化に向けて、技術調査を継続する。	千円 (-) -	千円 (-) -	科学研究費助成事業
県単独研究	3D熱変形計測技術を応用した次世代自動車用部品の開発プロセスの効率化	継続	単独	R2 ～ R3	3D熱変形計測・評価技術、熱変形予測シミュレーション技術を活用して、企業が取り組む次世代自動車部品の開発プロセスの効率化を支援する。	自動車用樹脂部品の熱変形の経時変化を恒温槽の観察窓から3D計測装置を活用して測定した。測定結果はシミュレーションの予測精度向上に利用された。	次世代自動車用部品を開発する企業に対して、3D計測装置による試験データの提供し、製品開発プロセスの効率化を支援している。	千円 (2,203) 2,203	千円 (4,072) 1869	

一般共同研究	眼鏡レンズのレーザー染色におけるスマート加熱	継続	共同	R2 ～ R3	眼鏡レンズのレーザー染色において、均一な染色を実現するためには、レンズ表面の加熱制御が重要である。そこでレンズ表面を均一に加熱できるレーザー出力の制御方法を提案・検証し、有効性を示す。	□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□	千円 (2,600) 2,600	千円 (3,000) 400	□□□□□□□□ □
一般共同研究	高周波焼入ロボットの研究開発	継続	受託	R1 ～ R3	□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□	千円 (-) -	千円 (-) -	□□□□□□□□ □□	
受託研究(競争的資金以外の研究)	生分解性プラスチックの紡糸に関する研究	新規	受託	R3 ～ R4	□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□	千円 (230) 230	千円 (527) 297	□□□□□□□□ □	
受託研究(競争的資金以外の研究)	母材表面の外観を維持したレーザー溶着技術の研究	新規	受託	R3	□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□	□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□	千円 (-) -	千円 (99) 99	□□□□□□□□ □□□□	
受託研究(競争的資金以外の研究)	高粘性液剤混入微小物のフィルトレーション	新規	受託	R3	□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□	□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□ □□	千円 (-) -	千円 (400) 400	□□□□□□□□	

受託研究（競争的資金以外の研究）	画像判定AIによる各種異物の判定・分類等に関する研究	新規	受託	R3	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□	千円 (-) -	千円 (500) 500	□□□□□□□□
受託研究（競争的資金以外の研究）	コイル圧縮成形による絶縁皮膜への影響	新規	受託	R3	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□	千円 (-) -	千円 (500) 500	□□□□□□□□ □□
受託研究（競争的資金以外の研究）	環境対応型クロムめっきの特性評価	新規	受託	R3	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□	千円 (-) -	千円 (500) 50	□□□□□□□□ □
受託研究（競争的資金以外の研究）	熱による多層めっきの拡散挙動の検証	新規	受託	R3	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□	千円 (-) -	千円 (500) 500	□□□□□□□□ □□□
受託研究（競争的資金以外の研究）	高比重成形材を用いた成形品の高弾性率化	新規	受託	R3	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□	千円 (-) -	千円 (298) 298	□□□□□□□□

(注)1 本表は試験研究機関において調製する。
2 研究テーマは事業ごとにまとめ、終了、継続、新規、廃止の順に記載すること。「継続」・「新規」の判別は監査年度を基準とし、「終了」・「廃止」は、その前年度において終了、廃止したものとする。

- 3 継続及び新規の研究の成果、成果の活用、普及等の状況については、調書調製日現在での成果又は記載される成果及びその活用等を「研究成果」欄、「研究成果の活用及び普及」欄にそれぞれ記載する。
- 4 廃止の研究テーマは、その理由を「研究成果」欄に記載する。
- 5 国庫補助事業及び国の委託事業を「国庫」とし、民間等の委託による研究を「受託」とする。
- 6 試験研究機関が単独で行う研究を「単独」、他の研究機関等と共同で行う研究を「共同」とする。後者の場合は、備考欄に共同研究相手名を記載する。

新成長戦略研究	静岡発ドライマンナンを用いた培養肉の開発	新規	単独	R4	代替肉の需要が今後増加する見込みであるため、県産新規食材「ドライマンナン」を基材とした培養肉を開発する。	畜産動物からの細胞の採取、及び基材とするドライマンナンの調製に成功し、基材上での細胞培養評価系の構築を進めている。	実用化に向け詳細な検討を進める。	千円 (-) -	千円 (1,000) 1,000	
県単独研究	セルロースナノファイバーによる香り成分の徐放機構の解明及び放散制御技術の開発	継続	単独	R2 ~ R4	セルロースナノファイバーの化粧品への添加によって付与される「香りの徐放性」の発現メカニズムを解明し、その制御技術を確立する。	・CNFの繊維長を変更することで、香りの放散挙動が変化することが明らかとなった。 ・CNFの繊維長による香り放散挙動変化は、ミセルの水/油界面に吸着するCNFの吸着形態に因ることが示唆された。	県内企業と共同で、県産の香りを活用した製品（雑貨や化粧品・食品等）や徐放性の技術を提案し、県内外に発信することで、研究成果の普及を図る。	千円 (3,300) 1,500	千円 (4,828) 1,528	県単独研究
県単独研究	バイオプラスチックへのめっき技術の開発	新規	単独	R3 ~ R4	CO2排出量削減等に対応するため、ポリ乳酸等のバイオマスプラスチックが採用されている。自動車部品等で利用するためには耐食性等の付与が必要となるため、ポリ乳酸等へのめっき技術を開発する。	高密度なめっき作製条件を確立するために、めっき前処理等のめっき条件を検討した結果、ポリ乳酸について2.4N/cm、ポリ乳酸複合材について0.9N/cmの密着強度が得られた。	独自技術として開発後、静岡県鍍金工業組合（65社）より県内企業に技術提供を目指す。	千円 (674) 674	千円 (1,522) 848	
県単独研究	豆乳タンパク質の新たな視点による挙動解析と濃縮技術開発	継続	単独	R3 ~ R5	植物性タンパク質源として注目されている豆乳は、加熱濃縮により凝集・固化しやすい問題点がある。このメカニズムを「液-液槽分離」の視点で解析することで、豆乳タンパク質が凝集しにくい濃縮技術を開発する。	生豆乳のpH及びNaCl濃度条件を変化させた上で凍結融解し、分画可能条件を見いだした。豆乳（凍結前）のゼータ電位を測定した結果、分画可能なサンプルは、共通のゼータ電位領域内におさまることが分かった。	得られた知見を論文投稿する他、県内事業者と共有して新たな食品開発に取り組む予定。	千円 (1,600) 1,600	千円 (2,643) 1,043	静岡県立大学
県単独研究	微細気泡散気方式を利用した省スペース型排水処理装置の開発	継続	単独	R3 ~ R4	本研究では、排水処理の低コスト化・装置のコンパクト化を実現するために、県内企業に設置したパイロットプラントでの処理実験を通じ、微細気泡散気方式で間欠曝気を行う新たな処理装置を開発する。	今年度は、高負荷条件で新たな処理装置を評価し、所定の水質の処理水を得るのに必要な曝気量が従来方式を下回ることを確認した。活性汚泥の遺伝子解析については現在解析を行っている。	県内排水処理設備メーカーを通じて新たな処理装置の普及を目指す。	千円 (1,499) 1,499	千円 (1,970) 471	

県単独研究	介護サービスの質の向上を目指したトイレ介助機器の開発	継続	単独	R3 ～ R4	介護施設において要介護のトイレ介助は時間と労力の大きい作業の一つである。人間工学の計測・評価技術を用いて作業時間分析・筋負担評価を行い、作業者・利用者双方に効果をもたらすトイレ介助機器を開発する。	4施設73人のアンケート実施に加え、トイレ介助の現場調査、ビデオ撮影による作業時間分析・課題抽出を2箇所実施した。要介助者のレベルによらず、移乗作業に改善要素があることが確かめられた。	トイレ介助に掛かる正味時間の5割低減を目指し、介護人材不足の軽減へ貢献する予定である。	千円 (1,499) 1,499	千円 (2,441) 942	(有)京和工業 常葉大学
県単独研究	居住空間における木材・木製品等の変色に関する研究	継続	単独	R3 ～ R5	木製品や建材などの変色に関するトラブルは多く、原因究明への相談が多い。このため、除菌剤などを含め、屋内で考えられる汚染要因と変色の発生について考察し、トラブルの対策法、防止策について明らかにする。	変色事例の収集と、原因物質を探索可能な分析方法の検討を行った。具体的には、各樹種とアルカリ性溶液、消毒液等による変色の検討・鉄汚染の考察を行った。	研究発表会、事例紹介等研究で得た知見の普及を図る。また、変色事例および分析による変色原因の解析手法をまとめた資料を作成し、変色に関する相談にいち早く対応する体制を整える。	千円 (1,649) 1,649	千円 (3,569) 1,920	
県単独研究	県産材の屋外使用に向けた防腐・防蟻処理技術の開発	継続	単独	R3 ～ R4	県産材の需要拡大に向けて、屋外で使用可能な木材の処理方法を開発する。薬剤処理木材の屋外環境での耐久性把握と、耐久性を向上させる技術を開発することにより、地域資源である県産材の活用拡大を図る。	スギ、ヒノキなどの県産材に薬剤（拡散型木材保存剤）を注入し、薬剤の浸透状況の確認（重量変化、呈色試験等）の実験を行った。その結果、拡散型保存剤は水で完全に溶脱するが、固着型のナフテン酸銅系薬品の併用を行うことで溶脱が抑制できることを見いだした。	県産材を使用する地域で薬剤処理する技術のたため、地産地消が促進され、また、木材使用率の向上により脱炭素化社会・森林循環へ貢献できる。	千円 (899) 899	千円 (1,894) 995	エイ・エフ・エム・ジャパン株
県単独研究	摩擦攪拌接合を適用した半溶融成形鋳物継手の技術開発	新規	単独	R4 ～ R5	アルミニウム合金鋳物の接合技術により、構造部材の複雑形状化・高機能化が期待される。本研究では、摩擦攪拌接合と半溶融成形法を組合せた信頼性の高い高性能な接合継手を開発する。	半溶融成形材の成形及び摩擦攪拌接合を研究協力機関と実施し、特性の評価を行っている。	学会発表による技術情報を発信するとともに、自動車部品製造メーカーとの技術提携を図る。	千円 (-) -	千円 (-) -	

県単独研究	カーボンニュートラルに貢献するリサイクル樹脂複合材の開発	新規	単独	R4 ～ R5	プラスチックの循環利用が注目されているが、リサイクルされたプラスチックは物性が向上せず普及しにくい。本研究では自然由来の繊維状物質を配合し、物性値を向上させたリサイクル樹脂複合材の普及を目指す。	事前調査研究により、リサイクル樹脂には少量の異材を含み、回収物由来の無機系微粉末が存在することが明らかとなった。今後、繊維状物質による補強効果確認のため、モデル樹脂を用いて検討する。	リサイクル樹脂複合材の曲げ強度を強化前の1.5倍とし、物性値を上昇させたリサイクル樹脂複合材の事業化と普及を図る。	千円 (-) -	千円 (706) 706	
県単独研究	自動車用途向けCNFオレフィン系樹脂の機械的物性向上及び成形性の安定化	新規	単独	R4 ～ R6	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□	千円 (-) -	千円 (424) 454	
県単独研究	機械学習によるBRDFの高分解能化手法の開発	新規	単独	R4 ～ R6	高分解能な反射特性の測定には、時間がかかると共に膨大なデータ容量を作り出すという課題がある。そこで、機械学習を用いて高分解能な双方向性反射率分布関数 (BRDF) を推定する方法を確立する。	機械学習で使用する反射特性学習データベースを構築するために、反射特性の異なるサンプルを選定し、基礎的な反射特性データを取得した。	高精度な光学シミュレーションを実現することで、照明や車載光学機器などの光環境開発支援に貢献する。	千円 (-) -	千円 (1,900) 1,900	
県単独研究	抗炎症効果のある伊豆特産サクラ葉抽出物の素材化と作用機序解析	新規	単独	R4 ～ R5	伊豆特産のオオシマザクラの葉に抗炎症活性を見出したことから、サクラ葉抽出物の素材化条件を検討し素材を商品化するとともに抗炎症作用機序の解明に取り組む。	化粧品素材として抽出したサクラ葉エキスの抗炎症機能を確認した。また、その作用経路 (機序) について、培養細胞を用い、細胞内情報伝達経路を標的とした、分子生物学的な探索試験系を構築した。	(株) エコライフラボでサクラ葉エキスを製造する。また、エコライフラボにおいてサクラ葉エキスをを用いた商品の開発および、ブルネエズ(株)においてウェットティッシュなどを商品化する。	千円 (-) -	千円 (706) 706	

一般共同研究	静岡県地域企業へのIoT導入強化に関する研究	継続	共同	R2 ～ R4	現在取り組んでいる県内中小企業へのIoT技術の導入支援をさらに強化するため、産総研との共同研究を行う。	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□	千円 (-) -	千円 (-) -	産業技術総合研究所
一般共同研究	アルミニウム鋳造品用異種素材の固相接合技術の研究開発	継続	共同	R3 ～ R4	アルミ合金鋳造材とダイカスト材に摩擦溶接 (FSW) を適用した接合技術の確立及び実用化を目指す。	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□	千円 (-) -	千円 (-) -	□□□□□□□□
一般共同研究	資源循環型システムを志向した樹脂複合材のテラヘルツ波による非破壊検査手法の開発	新規	共同	R4 ～ R5	再生樹脂の利活用において、製品の品質を左右する繊維の分散性や異材混入を非破壊で測定するのは容易ではない。そこでテラヘルツ (THz) 波を活用し、樹脂複合材の材料特性を非破壊で検査する手法を開発する。	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□	千円 (-) -	千円 (1,413) 1,413	□□□□□□□□ □□□□
受託研究 (競争的資金による研究)	複数場の同時制御プロセスによるリサイクル可能な超軽量マルチ部材の開発	継続	受託	R2 ～ R4		□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□	千円 (800) 400	千円 (1,200) 400	□□□□□□□□ □□□□□□□□
受託研究 (競争的資金による研究)	国際標準化事業 (経産省)	継続	受託	R2 ～ R4	フレキシブル面光源の性能評価のための光学特性測定に関する国際標準化	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□	千円 (3,211) 2,400	千円 (5,923) 2,712	山形大学

受託研究（競争的資金以外の研究）	国産高麗人参エキスの微生物発酵による有効成分変換機構の解明	新規	受託	R4	□□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□	千円 (-) -	千円 (1,000) 1,000	□□□□□□□□
					□□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□			□□□□
					□□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□			
					□□□□□□□□□□□□□□	□□□□	□□□□□□			
					□□□□□□□□□□□□□□					
					□□□□□□□□					

- (注)1 本表は試験研究機関において調製する。
2 研究テーマは事業ごとにまとめ、終了、継続、新規、廃止の順に記載すること。「継続」・「新規」の判別は監査年度を基準とし、「終了」・「廃止」は、その前年度において終了、廃止したものとする。
3 継続及び新規の研究の成果、成果の活用、普及等の状況については、調書調製日現在での成果又は記載される成果及びその活用等を「研究成果」欄、「研究成果の活用及び普及」欄にそれぞれ記載する。
4 廃止の研究テーマは、その理由を「研究成果」欄に記載する。
5 国庫補助事業及び国の委託事業を「国庫」とし、民間等の委託による研究を「受託」とする。
6 試験研究機関が単独で行う研究を「単独」、他の研究機関等と共同で行う研究を「共同」とする。後者の場合は、備考欄に共同研究相手名を記載する。

一般共同研究	マイクロ波減圧乾燥によるCNF濃縮技術の開発	新規	共同	R4 ～ R5	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□	千円 (-) —	千円 (706) 706	□□□□□□□□ □□□□□□□□
一般共同研究	リファイナーを用いた低コストCNF製造技術の開発	新規	共同	R4 ～ R6	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□	千円 (-) —	千円 (848) 848	□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□
一般共同研究	自動車用途向けCNFオレフィン系樹脂の機械的物性向上及び成形性の安定化	新規	共同	R4 ～ R6	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□	千円 (-) —	千円 (706) 706	□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□
一般共同研究	廃棄衣料をリサイクルするための製紙技術の開発	新規	共同	R4 ～ R5	ファッション業界ではサステナブルな取り組みが求められており、廃棄衣類を原料とした紙製造の相談が県内製紙会社で増えている。本研究では廃棄衣類から安定した品質でリサイクル紙を製造する技術開発を行う。	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□	千円 (-) —	千円 (424) 424	□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□

- (注)1 本表は試験研究機関において調製する。
- 2 研究テーマは事業ごとにまとめ、終了、継続、新規、廃止の順に記載すること。「継続」・「新規」の判別は監査年度を基準とし、「終了」・「廃止」は、その前年度において終了、廃止したものとする。
- 3 継続及び新規の研究の成果、成果の活用、普及等の状況については、調書調製日現在での成果又は記載される成果及びその活用等を「研究成果」欄、「研究成果の活用及び普及」欄にそれぞれ記載する。
- 4 廃止の研究テーマは、その理由を「研究成果」欄に記載する。
- 5 国庫補助事業及び国の委託事業を「国庫」とし、民間等の委託による研究を「受託」とする。
- 6 試験研究機関が単独で行う研究を「単独」、他の研究機関等と共同で行う研究を「共同」とする。後者の場合は、備考欄に共同研究相手名を記載する。

浜松工業技術支援センター

区分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究 期間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用 及び 普及等の状況	事業費		備 考
								(R3年度まで) R3年度	(全体) R4年度	
新成長戦略研究	新成長分野発展に貢献する軽量高強度材料(CFRP)の高効率成形加工技術の確立	継続	単独	R2 ~ R4	炭素繊維強化複合材料は短時間成形が課題となっており利用・普及が進んでいない。そこで、大量生産に対応した成形加工技術を確立し、軽量素材としての利活用の促進を図る。	アルミニウムダイカストと同程度の強度で5分程度の生産サイクルに対応した加工技術を確立することで、地域企業が開発する自動車やロボット等の部品への採用を目指す。	協力機関である浜松地域CFRP事業化研究会を通して会員企業等に技術普及を進める。	千円 (52,506) 28,242	千円 (80,748) 28,242	
新成長戦略研究	人とコミュニケーションを図る次世代車載装置用樹脂レンズの開発	継続	単独	R3 ~ R5	路面に図形を投影することで歩行者にメッセージを伝える「コミュニケーションライティングシステム」の実現に必要な、超小型で超微細な樹脂レンズの製品化技術を構築する。	前年度に設計し、微細光造形技術で作製した図形を投影する光学素子であるマイクロリズムアレイの投影性能および加工精度を明らかにした。	開発した技術を活用して、高品質・高付加価値の車載光学製品を創出する県内企業を支援する。	千円 (1,425) 1,425	千円 (1,425) -	
新成長戦略研究	積層造形を活用した新たなものづくり技術の開発に向けた調査研究	新規	単独	R4	自動車産業は大きな変革期を迎えて、迅速な部品開発が求められている。3Dプリンタは、複雑形状部品の設計・試作期間を大幅に短縮できる。県内企業では、3Dプリンタの知見が少ないため活用が進んでいない。	3Dプリンタに関する情報の収集・整理、部品サンプル造形による設計・造形課題の検討、金属3Dプリンタの活用のための協議会や相談窓口を設置について検討した。	得られた樹脂・金属3Dプリンタの情報を県内企業に提供する。企業から集めた要望・意見等の情報を、今後の金属3Dプリンタの利用や研究開発に活かすことができる。	千円 (-) -	千円 (1,500) 1,500	
県単独研究	車載機器EMC試験における測定値のサイト間比較による測定信頼性の向上	継続	単独	R2 ~ R4	平成30年度に車載機器用のEMC試験を行う試験施設を開所した。本施設で得られる試験データの信頼性を保証するため、他の試験サイトと同条件の試験を行い、サイト間の「測定値のずれ」を比較する。	KEC関西電子工業振興センターのアンテナ照射コミュニティ試験の計測プロジェクトに参画し、全国の著名なメーカーや民間の試験サイトと比較することにより、当サイトの取得データの傾向が把握できた。	利用者に対して当サイトで得られるデータの信頼性を担保するとともに、その試験データの傾向について情報提供を行う。	千円 (3,414) 1,652	千円 (4,544) 1,130	

受託研究(競争的資金以外の研究)	輸送機器用部品向け結晶加飾処理技術の開発	新規	受託	R4	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□	千円 (-) -	千円 (400) 400	□□□□□□□□ □
受託研究(競争的資金以外の研究)	蓄熱材の物性評価	新規	受託	R4	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□	□□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□ □□□□□□□□	千円 (-) -	千円 (500) 500	□□□□□□□□ □□

- (注)1 本表は試験研究機関において調製する。
- 2 研究テーマは事業ごとにまとめ、終了、継続、新規、廃止の順に記載すること。「継続」・「新規」の判別は監査年度を基準とし、「終了」・「廃止」は、その前年度において終了、廃止したものとする。
- 3 継続及び新規の研究の成果、成果の活用、普及等の状況については、調書調製日現在での成果又は記載される成果及びその活用等を「研究成果」欄、「研究成果の活用及び普及」欄にそれぞれ記載する。
- 4 廃止の研究テーマは、その理由を「研究成果」欄に記載する。
- 5 国庫補助事業及び国の委託事業を「国庫」とし、民間等の委託による研究を「受託」とする。
- 6 試験研究機関が単独で行う研究を「単独」、他の研究機関等と共同で行う研究を「共同」とする。後者の場合は、備考欄に共同研究相手名を記載する。